

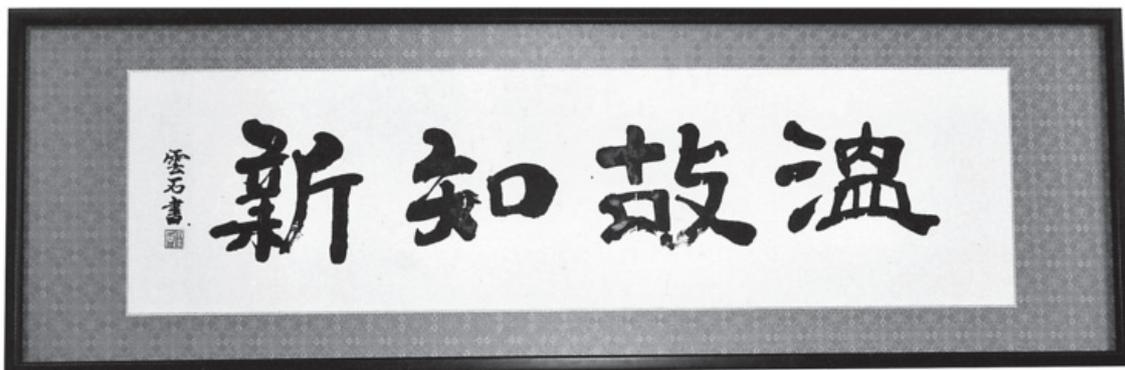


# 報 會 師 劑 藥 沖 繩

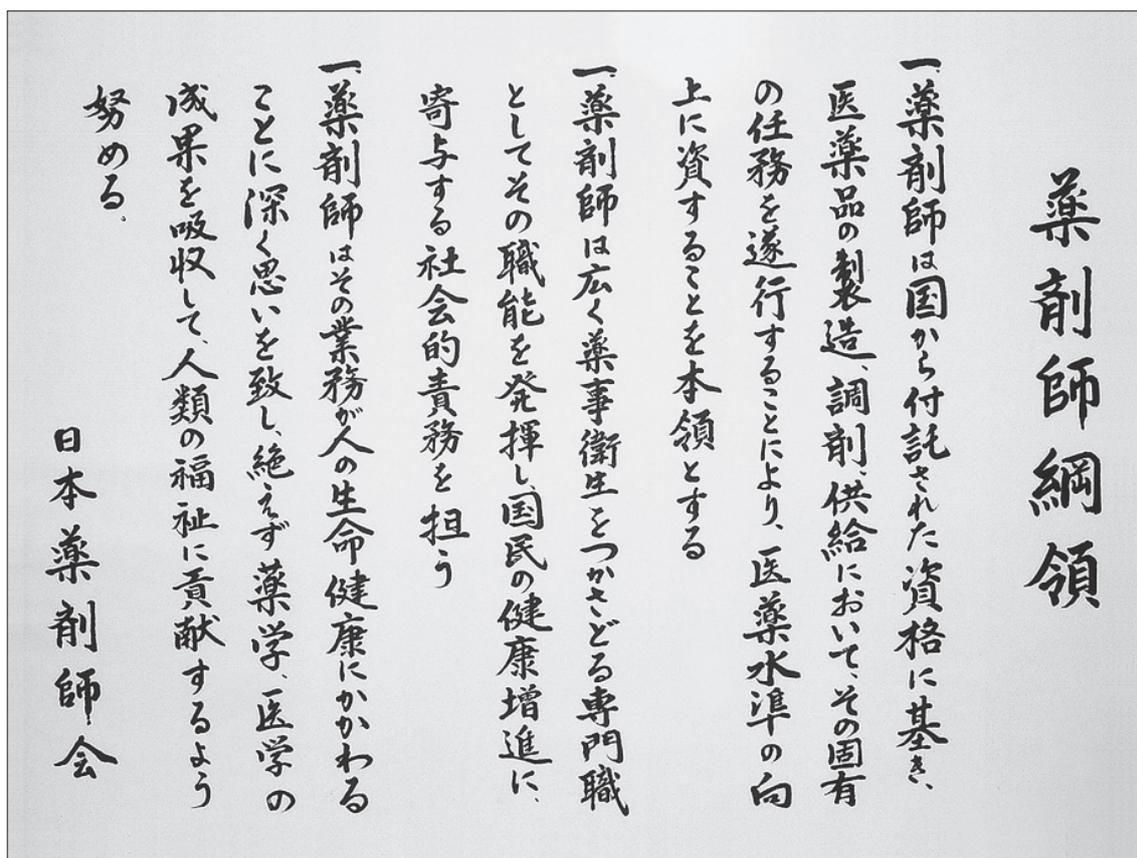
No.280. 2016(平成28年) 1・2月号



沖 繩 県 薬 劑 師 会



書家 謝花雲石書



会員 太田節子書

日本薬剤師会

昭和48年10月10日制定

・表紙

「ヴェネチアの薬局」 photo by 山里 美恵子 (那覇市) 撮影地：イタリア

ヴェネチア観光の際に通りがかったショールームがオシャレでモダンな薬局！中に入るとお客さんで溢れていました。入り口のドアのノブが乳房・乳鉢でデザインされているのが粋な感じ。しかも、薬局の柱には創業1537年と記されている老舗だった！

題字：豊平峰雲

# 目次

<b>薬剤師綱領</b>		
<b>トピックス</b>	「のあちゃんを救う会」の募金活動お礼……………	亀谷 浩昌… (2)
<b>年頭挨拶</b>	新年のご挨拶……………	亀谷 浩昌… (3)
	新年ご挨拶……………	山本 信夫… (4)
	新年のあいさつ……………	仲本 朝久… (6)
	年頭にあたって……………	藤井もとゆき… (7)
	新年ご挨拶……………	松本 純… (8)
	年頭ご挨拶……………	國場幸之助… (10)
	祝辞……………	宮崎 政久… (11)
	年頭のご挨拶……………	比嘉奈津美… (12)
	年頭ご挨拶……………	西銘恒三郎… (13)
	新年のご挨拶……………	島尻安伊子… (14)
	年頭のご挨拶……………	逢坂 誠二… (15)
<b>慰 労 会</b>	神村武之先生 沖縄県薬剤師会会長退任慰労会……………	前濱 朋子… (17)
	…退任慰労会スナップ写真……………	(18)
<b>祝 賀 会</b>	平成27年度薬事功労受賞者合同祝賀会開催……………	大城 喜仁… (20)
	…受賞者プロフィール……………	(22)
	…合同祝賀会スナップ写真……………	(27)
<b>在 宅 医 療</b>	第1回無菌調製実践講座 (TPN編) 報告……………	伊敷松太郎… (30)
	第2回無菌調製実践講座 (麻薬編) 報告……………	比嘉 仁… (31)
	第3回無菌調製実践講座 (抗がん剤編) 報告……………	屋嘉比康作… (32)
<b>医 薬 分 業</b>	平成27年度医薬分業対策会議報告……………	川上雄一朗… (34)
	…各地区薬剤師会&病院向けアンケート回答結果……………	(36)
<b>啓蒙・普及活動</b>	沖縄県Uターン・Iターンガイダンス参加報告……………	津波 昭史… (45)
	薬学部で沖縄県へのU・Iターン希望者へ就職ガイダンスを開催……………	富永 武志… (46)
	北陸大学で沖縄県U・Iターンガイダンスを開催……………	山澤 千尋… (47)
	九州保健福祉大学での沖縄県U・Iターンガイダンス報告……………	大城なつき… (47)
<b>女性薬部会</b>	女性薬剤師部会主催漢方セミナー開催 漢方セミナー開催にあたって……………	村田美智子… (48)
	漢方セミナー参加報告……………	池間加津美… (48)
	「翼」に乗って未来に馳せる……………	村田美智子… (50)
<b>卸 薬 部 会</b>	平成27年度日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部会報告……………	森下 彰久… (51)
	平成27年度日本薬剤師会卸薬師部会研修会報告……………	城村 幹彦… (52)
	日本医薬品勤務薬剤師会福岡県支部平成27年度(第34回)継続研修会報告 (その①)……………	森下 彰久… (54)
<b>日 薬 大 会</b>	第48回日本薬剤師会学術大会参加報告……………	城村 幹彦… (57)
<b>月例相談会</b>	第128回健康とおくすり相談会報告 (中部地区薬剤師会)……………	瑞慶山 正代… (63)
<b>地区だより</b>	石垣市健康福祉まつりに参加して……………	坪 徳子… (64)
<b>投 稿</b>	ツール・ド・おきなわでのシャペロン体験……………	笠原 大吾… (65)
	粟国島に初めてできた薬局で勤務してみても……………	笠原 大吾… (66)
<b>D I</b>	薬事情報おきなわ No.237……………	薬事情報センター… (67)
<b>県民の皆様へ</b>	あまくま薬立つ情報……………	(77)
<b>薬 草 学</b>	身近な薬草を知ろう 第25回 田イモ：ターナム：ターム……………	狩俣 イソ… (78)
<b>リレー随筆</b>	旅行って素敵!! (その2)……………	廣川 直子… (80)
<b>薬連だより</b>	平成27年度組織強化に関する担当者全国会議報告……………	石川 恵市… (82)
	国会レポート～平成28年度予算案～……………	藤井もとゆき… (83)
<b>転 載 記 事</b>	のあちゃんに心臓移植を 県薬剤師会が144万円寄付……………	(2)
	平成27年秋の叙勲 (学校保健功労) 受章報告会……………	(29)
	日本医師会会報「インタビューコーナー」に亀谷会長……………	(84)
	県女性の翼 マレーシア・シンガポール研修報告「沖縄観光ハラルに可能性」……………	村田美智子… (86)
	琉球新報連載コーナー「南風」執筆連載……………	吉田 洋史… (87)
<b>日 薬 通 達</b>	正会員向け保険制度のご案内 (賠償責任保険・個人情報漏えい保険)……………	(88)
	会員向け見舞金制度について……………	(105)
<b>国保・社保通達</b>	平成28年度受付相談・協力日及び受付締切日……………	(90)
<b>理 事 会</b>	平成27年度第1回定例理事会議事概要……………	(91)
	平成27年度第2回定例理事会議事概要……………	(99)
	平成27年度第3回定例理事会議事概要……………	(106)
	平成27年度第4回臨時理事会議事概要……………	(114)
	平成27年度第5回定例理事会議事概要……………	(115)
<b>会 務 報 告</b>	平成28年12月・平成28年1月末日分 (沖縄県薬剤師連盟会務報告)……………	(122)
<b>一 包 一 話</b>	忙中閑有の一日……………	橋 の 下… (132)
<b>会 員 作 品</b>	誌上ギャラリー (裏表紙) について…平成27年誌上ギャラリー大賞決定!……………	(134)
<b>編 集 後 記</b>		(134)
<b>お し ら せ</b>	地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい!……………	(53)
	県薬が会員に販売している印刷物等……………	(56)
	会報原稿募集のご案内……………	(62)
	会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について……………	(121)
	おきなわ津梁ネットワークのご案内 (参加・利用申請書)……………	沖縄県医師会… (126)

## トピックス

### 「のあちゃんを救う会」の募金活動御礼

会長 亀谷 浩昌

会員の皆様におかれましては、「のあちゃんを救う会」の募金活動にご協力いただき、心より深く感謝申し上げます。短期間にもかかわらず、総額1,445,369円もの募金が集まり大変感激しております。

早速、1月12日に「のあちゃんを救う会」に贈呈致しました。あらためまして、募金箱の配布にご協力いただきました沖縄県医薬品卸業協会様、店頭設置協力いただいた薬局様ならびにご芳志いただいた患者様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

渡米に向けて闘病生活を続けている「のあちゃん」が無事手術を受けられ、一日も早く元気になることを心よりお祈り致します。

平成28年1月13日(水) 琉球新報

**のあちゃんに  
心臓移植を**

**県薬剤師会が  
144万円寄付**

県薬剤師会(亀谷浩昌会長)は12日、重い心臓病で米国での心臓移植を必要とする翁長希羽ちゃん(1)を支援する「のあちゃんを救う会」に、144万5369円を寄付した。写真。同会は医薬品卸売業者の協力を得て離島を含めた県内543カ所の薬局に募金箱を配布し、寄付を募った。



平成28年1月13日(水) 沖縄タイムス

## 希羽ちゃん19日渡米

### HP発信へ 臓器提供待つ



**のあちゃんに  
心臓移植を**

重い心臓病で米国での移植手術を目指す翁長希羽ちゃん(1)の渡米が19日に決まった。入院する大阪府内の病院から現地に向かう。

「救う会」は12日、目標額を上回る3億5513万4120円の募金が集まったとして、那覇市内の事務所を開めた。

希羽ちゃんは19日朝、契約した医療用ジェットで両親や医療スタッフとともに関西空港を出発する。約15時間かけ、米ニューヨーク郊外の空港に到着後、手術を受けるコロンビア大学病院で適合検査を受け、臓器提供者を待つ。

年末に募金終了を報告した「救う会」には、12日も寄付が相次いだ。144万5369円を贈った県薬剤師会の亀谷浩昌会長は「各薬局などで多くの人が賛同してくれた。有効に使っていただけたら」とエールを送った。

同会の喜瀬真勝共同代表は「皆さんのおかげで目標額に達し、本当に感謝している。大手術に臨む希羽ちゃんを、これからも見守ってほしい」と話した。

今後は同会のホームページやフェイスブックなどで、希羽ちゃんや昨年12月に生まれた妹の花ちゃんら家族の近況を発信していく。

心臓移植手術に向け、19日に渡米する翁長希羽ちゃん(右)。左は昨年12月に生まれた妹の花ちゃん＝「救う会」提供



## 新年のご挨拶

沖縄県薬剤師会  
会長 亀谷浩昌



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては2016年の新春を健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。平素より会運営にご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年は大手調剤薬局チェーンの薬歴未記載問題や、無資格者の調剤などに端を発した、薬局バッシング・薬剤師バッシングが吹き荒れ、薬剤師を取り巻く環境には厳しいものがありました。平成28年度診療報酬改定はどうなることやらと心配しましたが、関係方面の方々と協力して頑張って、一先ず安心する結果となりました。この後、細部の決着まで注目していきたいと思えます。

1974年（昭和49年）の「医薬分業元年」から昨年までおよそ40年が経過しています。バッシングの裏には意図的な面もあったかと思われませんが、大きな理由としては、この40年の間に国民から求められた分業の体制を構築し得なかったということだと思えます。私達の努力が不十分だったと言われてもしかたありません。私達にも言い分はありますが、評価は自分でするものではなく第三者がすることですから、バッシングを真摯に反省し、望ましい薬剤師像に向かって自己変革をしなければならぬと思えます。

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年の少子高齢社会を想定した社会保障制度改革の議論において、薬物療法の高度化や、在宅医療を含む地域医療の推進等、薬剤師が多職種と連携しながら専門職能を発揮することへの国民の期待が増しています。昨年、閣

議決定された日本再興戦略においては、薬局・薬剤師を活用したセルフメディケーションの推進が盛り込まれました。ここには患者様のニーズに応じて充実・強化すべき2つの機能として、①健康サポート機能、②高度薬学管理機能が記されています。これは、薬剤師法第1条に「薬剤師は、調剤、医薬品の供給その他薬事衛生をつかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする。」とあるように、本来、薬剤師が果たす役割なのです。

沖縄県民はかつての長寿日本一の座から滑り落ちてショックを受けました。長寿の島沖縄県を復活すべく、行政は医療者に協力を要請しています。私達は薬剤師職能をもって協働して役割を果たしていきたいと思えます。

私は会長に就任して以来、大きく2つの方針を持って会務を進めています。一つは薬剤師職能を県民の皆様にも正しく認識してもらえよう活動すること。あと一つは基本中の基本ですが、かかりつけ薬剤師や健康サポート薬局として活躍するためには身につけておくべき分野の生涯学習が必要です。会員の皆様に効果的に学習機会を提供することを考えています。このふたつを推し進めることであるバッシングをプライジングに変えたいと思っています。

今年が会員の皆様にとりまして、より良い年となります様に、益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



## 新年ご挨拶

公益社団法人 日本薬剤師会  
会長 山本 信夫



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。また、平素より日本薬剤師会の諸事業に格別のご理解とご協力を賜っておりますことに、心より厚く御礼申し上げます。

さて、少子化と高齢化の一層の進展が見込まれる中、持続可能な社会保障制度の実現と、次世代への責任の視点に立った改革に向けた取組が本格化しています。医療及び介護においては、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取組が進み、医療保険制度については、財政基盤の安定化、負担に関する公平性の確保、給付対象の適正化等、給付と負担の均衡が取れた制度構築のための施策が講じられています。

こうした中、昨年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2015」では、薬剤師による効果的な投薬・残薬管理や医師との連携によるかかりつけ薬局の推進と、診療報酬における調剤業務の妥当性と保険薬局の貢献度による評価や適正化の方向性が明確にされました。一方、薬剤師と薬局のあり方に変革を求める方針が相次いで示されています。9月には、かかりつけ薬剤師が常駐することを基本的機能とし、医薬品等の安全・適正な使用と専門職種等と連携した地域住民の健康維持・増進を支援する機能を有する「健康サポート薬局」のあり方が厚生労働省の検討会より公表され、併せて、10月には、薬局

を患者本位のかかりつけ薬局に再編するための「患者のための薬局ビジョン」が厚生労働省より公表されました。健康サポート薬局は、かかりつけ薬剤師・薬局として機能することに加えて、医薬品等の安全・適正な使用に関する助言と健康の維持・増進に関する相談を受け付け、かかりつけ医等の専門職種や関係機関と連携して地域住民の健康サポートを実施する一方で、地域への情報発信等に取り組むことも求められます。薬局ビジョンには、薬局を患者本位のかかりつけ薬局に再編するための薬剤師と薬局の姿とともに、「門前からかかりつけ、そして地域へ」と目指すべき医薬分業の方向性が明確に示されました。厚生労働省は、ビジョンの実現に向けて、24時間対応や在宅対応等における地域の薬局間での連携体制構築のための取組や、健康サポート機能の更なる強化に向けた地域の先進的な取組など、薬局のかかりつけ機能の強化のためのモデル事業に関する予算を要求しています。

本年4月の診療報酬・調剤報酬の改定に向けた議論が進められていますが、その方向性もこれらの国が進める施策を反映したものとなることが想定されます。医薬分業については、今年の規制改革会議等における一連の議論において、費用や質的な問題が指摘されましたが、患者・住民が医薬品、薬物療法等に関して安心して相談でき、最適な薬物療法を受けられるような医薬分業を目指していくことが明確にされました。医薬分業制度は、薬

物療法における安全性・有効性の確保と医療保険財政の効率化に貢献するシステムです。住民・患者から信頼されて選ばれた「かかりつけ薬剤師」、「かかりつけ薬局」が、地域包括ケアシステムの中で多職種と連携して患者の安全確保と医療の質の向上を図り、患者本位の医薬分業を一層普及させていくとともに、地域住民の健康をサポートしていくことは、超高齢社会において私たち薬剤師が担う重要な使命です。

皆様におかれましては、薬剤師の原点に立ち戻って、かかりつけ薬剤師・薬局としての

役割を十分に発揮し、患者が使用する医薬品の一元的・継続的な薬学管理指導を担い、薬と健康等に関する多様な相談に対応するとともに、必要な医薬品等の供給体制の確保についてご尽力いただきますようお願い申し上げます。

結びにあたり、皆様方のますますのご健勝とご発展を祈念申し上げますとともに、本会事業に今後もかわらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年の挨拶といたします。





## 新年のあいさつ

沖縄県保健医療部長  
仲本朝久



平成28年の新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。

沖縄県薬剤師会の皆様には、日頃から本県の薬務行政の推進に格別の御支援と御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

近年、健康に対する意識の高まりを背景に、国民の医薬品等に対する関心はますます高くなっております。同時に、急速な少子高齢化の進行、医療技術の高度化等、薬剤師を取り巻く環境が変化している中で、最適な薬物療法の提供や医療安全対策等、幅広い分野において、医療の担い手としての役割を果たすことが、薬剤師に対してより一層求められております。

さて、近年、一般用医薬品のインターネット販売が可能となったことをはじめ、一般用医薬品の販売制度の大幅な改正が行われているところですが、本県においては、厚生労働省、他都道府県及び保健所設置市と連携し、医薬品の監視及び正しい知識の普及啓発に取り組んでおります。薬剤師会会員の皆様におかれましても、インターネット販売での適切な取扱いのみならず、医薬品の適正な使用を推進することにより、地域保健の向上に貢献されることを期待いたします。

また、県内に勤務する薬剤師が慢性的に不足していることから、沖縄県薬剤師会においては、平成26年度より沖縄県地域医療介護総合確保基金事業補助金を活用して、「薬剤師確保対策事業」を実施していただいております。県としましても、今後も、沖縄県薬剤師会と連携しながら、薬剤師の確保に取り組んでいきたいと考えておりますので、皆

様方におかれましても引き続き御協力を賜りますようお願い申し上げます。

薬物乱用防止対策につきましては、本県の薬物事犯による検挙人員は増加傾向にあり、予断を許さない状況が続いております。近年社会問題となっている危険ドラッグについては、県警等関係機関と連携し危険ドラッグ販売店舗への合同立入検査の実施等を行い、県内の危険ドラッグ販売店舗数は0（ゼロ）となりましたが、依然として、麻薬、覚せい剤、大麻等の薬物の乱用が大きな問題となっております。県では、引き続き、薬物乱用防止対策に努めてまいりますので、皆様におかれましても、薬の専門家である薬剤師として、医薬品の適正使用と併せて、今後とも、薬物乱用防止対策に一層の御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

皆様には、県民の意識や生活スタイル、医療の要請が絶えず変化していることを踏まえつつ、自らも時代に即して、県民が期待する社会的使命を果たされますよう、今後とも、地域住民あるいは医療関係者から信頼され、保健医療に貢献できる薬剤師を目指し、不断の研鑽に努めていただきたいと思います。

医薬品の安定供給や適正使用の推進等を通じ、県民の健康増進に御尽力を賜りますとともに、薬務行政の円滑な推進につきましては、今後とも変わらぬ御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、新春の門出にあたり、沖縄県薬剤師会の限りない御発展と会員の皆様の御健勝と御活躍を祈念申し上げ、新年のあいさついたします。



## 年頭にあたって

参議院議員・薬学博士  
藤井 もとゆき



新年明けましておめでとうございます。薬剤師会の会員の皆様には、お健やかに輝かしい新たな年をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年秋に行われました安倍内閣改造並びに自民党役員人事により、約1年にわたる文部科学副大臣の任務を解かれ、新たに自民党の政務調査会副会長並びに参議院自民党政策審議会副会長の職務を命じられ、党務に従事することとなりました。文部科学副大臣在任中は公務のため、皆様方には種々ご迷惑をお掛けしたかと思いますが、これからは皆様方に直接お目にかかり、ご意見やご要望などお聴きする機会を出来る限り多く設けて参りたいと思いますので、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年は医薬分業に対して世の中の関心を集める年となりました。我が国の医薬分業は、1974年の診療報酬改定により処方箋料が大幅に引き上げられたのをきっかけに、院外処方箋の発行枚数が着実に伸びはじめ、医療法や薬剤師法などの制度整備、行政施策の後押しや病院薬剤師による病棟業務の必要性とも相俟って、院外処方箋の応需率は70%に達するまでに至りました。その一方で、受診した医療機関ごとに近くの薬局で調剤を受けるなど、医薬分業における薬局の役割が十分に発揮されていないとの指摘も見られるところとなりました。政府の規制改革会議においても医薬分業を議題に取り上げ、地域包括ケアの推進において、薬局、薬剤師が薬学的管理・指導を適切に実施する観点から、かかり

つけ薬局の要件を明確化するなど、薬局全体の改革の方向性について検討すること、調剤報酬のあり方について門前薬局の評価など抜本的な見直しを行い、努力した薬局、薬剤師が評価される仕組みとすること、などが示されました。

こうした状況を受け、厚生労働省は「医薬分業の原点に立ち返り、57,000の薬局を患者本位のかかりつけ薬局に再編する」とした大臣表明を受け、昨年10月「患者のための薬局ビジョン」を公表しました。また、薬局ビジョンの実現に向けて、それぞれの地域における薬局間での連携体制構築への取り組みや健康サポート機能の一層の強化に向けた先進的な取り組みなど、かかりつけ薬剤師・薬局の機能を強化するためのモデル事業が来年度から予定されているところです。

更に、本年4月の診療報酬改定に向けて、残薬や多剤・重複投薬の削減など医薬品適正使用の推進、かかりつけ薬剤師・薬局の貢献度による評価の適正化、いわゆる門前薬局の評価見直しなどについて、中央社会保険医療協議会等での議論が行われてきています。年明けからは通常国会も始まります、薬剤師の業務に対する適正・公平な評価がなされるよう、政治の場でもしっかりと議論していきたいと思ひます。

貴薬剤師会のご隆盛と薬剤師の先生方の益々の活躍をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



## 新年ご挨拶

自民党筆頭副幹事長 政調会長代理  
衆議院議員 松本 純



新年明けましておめでとうございます。亀谷浩昌会長はじめ一般社団法人沖縄県薬剤師会および沖縄県薬剤師連盟の役員並びに会員の皆様方には、お健やかに平成28年の初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。昨年10月7日の第3次安倍晋三改造内閣発足に伴い、自民党では、筆頭副幹事長、政調会長代理、衆議院では、厚生労働委員会委員という役割を頂き、幅広い課題に取り組んでおります。

一億総活躍という輝かしい未来を切り開くため、少子高齢化に歯止めをかけ、50年後も人口1億人を維持し、高齢者も若者も、女性も男性も、難病や障害のある方も、誰もが今よりも、もう一歩前へ踏み出すことができる社会をつくるための新しい挑戦を始めました。

それは、戦後最大のGDP600兆円、希望出生率1.8、そして、介護離職ゼロ。この3つの大きな目標に向かって、新しい三本の矢を力強く放つ。そのための強固な体制を整える実施に移すことを目指し、自民党として一億総活躍推進本部を設置し、その筆頭副本部長として、緊急提言を取りまとめました。

1月4日に召集される第190通常国会において平成27年度補正予算案並びに平成28年度予算案の早期成立を通じてデフレからの脱却による確実な景気回復を通じ安心・信頼できる社会保障制度の堅持、安全な社会づくりのために引き続き全力で取り組んで参ります。

平成28年度予算編成においては、厚労担当

政調会長代理として、診療・調剤報酬の決定にも係わらせて頂きました。薬剤師は期待されている社会的使命を全うし、国民・患者さんに身近な立場で、健康の維持・増進を図り、安全・安心を提供できる、「かかりつけ薬剤師」「かかりつけ薬局」としてその職能を発揮していかなければなりません。

社会の高齢化が進むなかで、お年寄りが複数の慢性疾患を抱えて複数の医療機関に通院している場合などには、重複投薬などが増える傾向にあります。まさに、「お薬手帳」の有効活用をとおして、こうしたケースの解消に役立つことが求められています。

また、医薬分業制度が薬物療法における安全性・有効性を確保するためのシステムであることを踏まえると、特に地域包括ケアシステムの中で、安全確保と医療の質の向上を図るためには、患者さんから選ばれた「かかりつけ薬剤師」「かかりつけ薬局」が、かかりつけ医を中心とする多職種と連携しながら、その責務を果たしていくことが必要です。

「かかりつけ薬剤師」とは患者が使用する医薬品について一元的かつ継続的な薬学管理指導を担い、医薬品、薬物治療、健康等に関する多様な相談に対応できる資質を有すると共に地域に密着し地域の住民から信頼される薬剤師であり「かかりつけ薬局」とは地域に必要な医薬品等の供給体制を確保しその施設に従事する「かかりつけ薬剤師」が患者の使用する医薬品の一元的かつ継続的な薬学管理指導を行っている薬局であると「患者のため

の薬局ビジョン」にも示されました。顔なじみの「かかりつけ薬剤師」がいる「かかりつけ薬局」として国民・患者さんの健康維持・増進という目的達成の為共に頑張りましょう。

私は野党を経験し、政治の安定が経済再生に不可欠であることを学びました。まずは、政治を安定させること、そして経済を引き上

げること、その経済成長の上で社会保障制度が堅持されなければならないことを胸に本年も全力で頑張っ

て参ります。引き続き皆様からの変わらぬご指導、ご鞭撻の程何卒宜しくお願





## 年頭ご挨拶

衆議院議員（沖縄1区）  
國場 幸之助



新たな年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

沖縄県薬剤師会の皆様には、日頃よりご支援ご協力をいただきありがとうございます。国会での活動に専念できますことは、会の皆様をはじめ薬業関係者の皆様のご理解の賜であり御礼申し上げます。

薬剤師の先生方におかれましては、薬学の専門家として、調剤および医薬品の供給などを通じて、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって県民・国民が健康な生活を送る事が出来るように支えて下さっている事に敬意を表します。

さて、皆様ご承知の通り、超高齢化社会の進展は、国の財政を圧迫しております。我が国の医療体制を持続可能なものとするため、平成28年度の診療報酬は、本体部分はプラスながら、薬価部分の引き下げの影響を受け、ネットで0.84%のマイナスとなりました。皆様にはご負担をお掛けする形になりますが、診療報酬本体の医科：歯科：調剤の配分比率の見直しで薬剤師会の皆様のみ負担感が突出する、という事の無いよう、引き続き薬剤師会の皆様からのご意見に耳を傾け、ご要望に取り組んで参りたく存じます。

また、医療の現場においては、はしご受診の問題があります。患者側の不安感の問題かもしれませんが、制度的には、かかりつけ医や、かかりつけ薬剤師・薬局の更なる活用が必要です。最近の調剤薬局さんでは、お薬手

帳を基に、丁寧な薬服用の指導と食事等のアドバイスもあり、安心が高まってきた感がでてきました。

うれしいニュースもありました。大村智先生のノーベル賞受賞です。受賞の対象となりました特効薬は、沖縄の風土病でありました、糞線虫症にも大きな治療効果をもたらしました。沖縄県民に取りましては、大恩人であります。薬剤師会、県医師会は、我が事のように歓喜に満ちたことであらうでしょう。

結びになりますが、医療政策については、今後の国会活動において、精力的に取り組んでいきたいと考えています。現場でご苦労されている皆様方の声を、是非、國場幸之助にお届けください。

新春に当たり、貴会並びに薬剤師の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念し、新年のご挨拶と致します。

平成28年1月吉日





## 祝 辞

衆議院議員（沖縄2区）  
宮崎 政久



新年あけましておめでとうございます。  
亀谷会長をはじめとする沖縄県薬剤師会の皆様、ご関係のすべての皆様にはお健やかに新たな年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。

平素は、皆様から格別なるご指導、ご支援を賜り衷心より御礼を申し上げます。旧年中は、貴会ならびに会員の皆様からひとかたならぬご支援ご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。こうして貴会からのご支援を賜りまして、私は衆議院議員として2期目の活動に専念させていただくことができます。2015年末には、沖縄関連税制改正や次年度予算編成に向けて、沖縄のため日本のため、職務に取り組んでおります。

改めまして、沖縄県薬剤師会の会員の皆様におかれましては、日頃より私たちの健康を維持するためのお仕事にご尽力頂き、心より感謝申し上げます。本日お集まりの皆様お一人、お一人が私たち県民の健康を支えてくださっています。

お年寄りから小さなお子さんまで、薬を服用したことのない方はおそらくまれでしょう。その薬が開発・製造され、病院や薬局を通じて生活者の手に届くまで、すべての段階において薬学の専門家として薬の安全性に責任を負っているのが薬剤師です。また、薬剤師に求められている社会的役割ははるかに広く、薬剤師法の第1条には次のようになります。

「薬剤師は、調剤、医薬品の供給その他薬事衛生をつかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保するものとする。」

医療法という法律では、薬剤師が医師、歯

科医師とともに「医療の担い手」とされています。具体的には、調剤や医薬品の供給、在宅医療への貢献などを通じて、薬剤師は医療人としての存在感を高めつつあります。

薬剤師には、街の薬局を訪ねれば、いつでも会うことができます。薬学は薬という化学物質を扱うため、かつての薬剤師は「街の科学者」と呼ばれましたが、薬剤師は気軽に相談できる身近な「街の医療人」でもあります。

しかしながら、医薬業界を取り巻く環境には厳しいものがあります。消費税が増税となり、薬価改定の問題も含め、薬剤師の皆様の生活安定のため、政治の役割をしっかりと果たさねばならないと考えております。

昨年10月には政府が「患者のための薬局ビジョン」を策定し、かかりつけ薬局・薬剤師機能の強化をはかり、またこのビジョンにもとづき地域の医療機関と連携しつつ、患者が服用する薬を一元的・継続的に管理し、休日夜間・在宅の対応を行うかかりつけ薬局を推進するための予算も来年度予算に盛り込んだところでもあります。

私も、現場のご意見や皆様のご要望をしっかりと受け止め、薬剤師会の皆様のご意思に沿うよう全力を尽くして職務にあたる所存です。

今後とも変わらぬ御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、沖縄県薬剤師会の益々のご発展と、亀谷会長はじめとする役員の皆様、そして会員の皆様の一層のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくようお願い申し上げます。

平成28年1月吉日



## 年頭のご挨拶

衆議院議員（沖縄3区）  
比嘉 奈津美



謹んで初春のお慶びを申し上げます。沖縄県薬剤師会の皆様におかれましては、平素より暖かいご支援・ご指導を賜りまして、篤く御礼申し上げます。また、薬の専門家である皆様におかれましては、服薬に係る相談等を通じ、県民の健康増進に多大なご貢献をいただいておりますことに、深く敬意を表します。

さて、我が国におきましては、超高齢社会の到来を間近に控え、地域の実情に応じた、切れ目のない医療・介護サービスの提供体制を構築することが求められております。特に、住み慣れた地域におきまして、必要なサービスが一体的に提供される地域包括ケアの確立は、喫緊の課題となっております。

沖縄県には大小49の有人島があり、特に離島においては地域包括ケアを十分に整えることには様々な課題もございます。薬剤師の皆様が、地域住民からの相談、服薬指導、かかりつけ医との連携・協力などに取り組まれることにより、住民が地域で安心して暮らしていくことができるものと期待されているところであります。

このような状況の中、皆様ご承知の通り、国は、昨年10月に「患者のための薬局ビジョン」を策定しました。同ビジョンでは、かかりつけ薬剤師・薬局に係る取組を一層推進することとしております。具体的には、かかりつけ薬剤師・薬局が持つべき機能といたしまして、①服薬情報の一元的・継続的把握、②24時間対応・在宅対応、③医療機関等との連携を掲げております。

薬剤師の皆様におかれましては、これまでも住民に一番身近な医療人といたしまして、薬が必要な方からの相談に大変親身になって

対応いただいているところでございますが、今後も、県民の皆様が安全に、安心して薬を服用していくことができますよう、健康状態や服薬状況等について、これまで以上のお心配りやお声掛けをいただければ幸いに存じます。私といたしましても、皆様が活躍しやすい環境づくりに努めてまいります所存です。

また、高齢化で膨らむ医療費に歯止めをかけ、社会保障の持続可能性を高める取組が重要となっております。後発医薬品は、服薬される方の自己負担の軽減にもつながりますので、より一層の利用が期待されます。

さらに、今回、セルフメディケーション推進のためのスイッチOTC薬控除が創設されることとなりました。スイッチOTC薬を安全に利用できる環境が、県民お一人お一人の健康管理に対する意識を醸成し、長寿につながるものと大いに期待しているところであります。

それらの取組を進めていく上でも、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私は、皆様と同じく医療人としての歩みを基に、衆議院議員としての務めを果たしているところでございますが、かかりつけ薬剤師・薬局、また、セルフメディケーションの推進といった取組を円滑に進めていくことが、今後の医療界にとっても重要課題であると認識しております。

そのためには、薬の専門家である皆様のお力が不可欠でございますので、今後とも皆様のご意見を賜りながら、国政活動に邁進してまいります所存でございます。

最後になりましたが、沖縄県薬剤師会の益々のご発展、皆様のご健勝をお祈り申し上げまして、私からの年頭のご挨拶といたします。



## 年頭ご挨拶

衆議院議員（沖縄4区）  
西銘恒三郎



沖縄県薬剤師会のみな様におかれましては、日頃より暖かいご支援・ご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。薬に関するプロフェSSIONナルとして、日夜、薬を通じ、県民の健康の維持・管理にご尽力いただき深く感謝申し上げます。

さて、みな様ご承知のとおり、我が国では少子高齢化が進展しております。住み慣れた地域での医療、介護サービス等を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築が急がれるところであります。併せまして、健康長寿社会に向けて、県民自らが健康づくりに取り組むことがとても重要となっております。現在、「長寿県」沖縄の復活を目指し、医療関係団体が協力して県民の健康づくりに取り組んでいると承知しております。そのような中、住民からの相談や服薬指導など、薬剤師の皆様が果たす役割は益々高まってきております。

政府は、昨年9月関係者が連携して地域住民による主体的な健康の維持・増進を支援する「健康サポート薬局」のあり方を示したほか、10月には、薬局を患者本位のかかりつけ薬局に再編するための「患者のための薬局ビジョン」を取りまとめております。

薬を通じた健康管理は、薬剤師のみな様があって初めて成り立つものです。みな様が、地域の薬剤師として、更にご活躍なされることを期待しております。

何にも増して、人生は健康が一番！！何事を為すにも私が強く感じる所です。セルフメディケーション、薬剤師みな様の役割は極めて重要だと認識しています。

現在、沖縄県内には、薬科大学、薬学部がございません。みな様から、琉球大への薬学部設置に関する要望をいただいておりますが、沖縄の資源を活用し創薬研究者の人材育成ができる薬学部の必要性につきましては、私も同じ思いであります。みな様のご要望にお応えする為にも鋭意努力してまいります。

本年は、1月4日より通常国会が開会されており、既に活発な議論が開始されており、医療分野の安定・充実のためにも、確実な年度内の予算成立に向けて、全力を尽くしてまいります。

最後になりましたが、沖縄県薬剤師会の益々のご発展と、みな様のご健勝を心お祈り申し上げます。私からのご挨拶といたします。

平成二十八年正月





## 新年のご挨拶

国務大臣  
島尻安伊子



平成28年の新春を寿ぎ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

沖縄県薬剤師会会長の亀谷浩昌先生はじめ会員の皆様方には、平素よりあたたかいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。新しい「申年」が皆様にとって平穏で実り多き一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。亀谷先生におかれましては、昨年伝統ある沖縄県薬剤師会の会長にご就任されました。誠にありがとうございます。貴会が県民の健康と福祉をリードし、県民の暮らしに一層身近な存在となりますようご期待申し上げます。

さて、私も昨年10月の第3次安倍内閣改造に伴い、国務大臣を拝命致しました。これも偏に、苦しいときも叱咤激励してお支えいただいた皆様方のご支援ご指導の賜と、心から感謝御礼申し上げる次第です。私の役職は内閣府特命担当大臣で、沖縄及び北方対策、海洋政策、領土問題、科学技術政策、宇宙政策、IT政策、クールジャパン戦略など広範囲な政策を担当しています。

その中でも沖縄振興を推進する大臣として、「薬草の宝庫」といわれる沖縄県を世界屈指の健康・医療のメッカにして、県民生活の向上と健康の増進につなげていくことが、私に課せられた大きな使命だと思っています。そのため、昨年3月に返還された西普天

間住宅地区における跡地利用計画で“国際医療拠点化”の実現を進めると共に、臨床研究ビッグデータを活用した新薬の研究開発や医薬分野における国際標準の人材育成などを目的としたOHMIC（沖縄ヘルス・メディカル・イノベーション・センター）構想も検討しているところです。本計画は今後予定される米軍基地返還及び跡地利用の先行モデルとなることから、国家戦略としても重要な位置付けであると認識しています。

さらに、琉大病院や医学部の移転、琉大薬学部の新たな設置などが実施されれば、沖縄県の疫学データベースの構築を通じて、研究開発成果を沖縄県の薬学・医療・福祉政策に反映させることができ、地方創生・長寿社会へ貢献することが期待されます。

結びに、未来に向けて県民の皆様と沖縄の新しい1ページを開くため、日米同盟の在り方を考えるとき、「軍事」としての基地が、返還後には「健康・医療・長寿・人材育成」という沖縄のソフトパワーによる“抑止力”となり、さらにそれが日米同盟の新しいシンボルとなる、そんな日がきっと来ると私は信じています。

沖縄県薬剤師会の更なるご発展と、薬剤師の先生方のますますのご活躍を心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



## 年頭のご挨拶

衆議院議員  
逢坂 誠二



明けましておめでとうございます。

亀谷浩昌一会長をはじめ、沖縄県薬剤師会会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えることと心からお慶び申し上げます。日本薬剤師会の会員の皆様には、日頃から、逢坂誠二の議員活動に対しまして、格別のご支援を賜わり、衷心より感謝、お礼申し上げます。

現在、民主党の総務・地域主権部門座長、社会保障と税の一体改革総合調査会顧問、税制調査会顧問、地域主権調査会会長などの役割をいただき、皆様方のお声を政府、国会に届けるべく、一生懸命努めています。野党の立場ではありますが、日本薬剤師会及び日本薬剤師連盟が与党野党の双方に睨みのきく政治力を持つことに少しでもお役にたてればと思ひ、全力で活動しています。

薬は単なる商品ではなく、それを扱う薬剤師の役割も国民の健康や命のためにとっても大切なものです。かつての調剤・製剤等を主たる業務とした、「モノ」を中心とした薬剤師業務から、「ヒト」を対象とした新たな展開の中、調剤業務も多様化し、最新かつ的確な医薬品情報の提供、医療の安全確保、薬物療法における副作用の防止や個別最適化といった業務も加わっています。薬剤師には、個々の患者の方々に、最適な薬物療法を提供するプロフェッショナルとしての重責が求められます。高い職業意識を持って働く皆様ために

も、何ができるか、何をすべきかといった役割と課題について常に考え、新しい展開への取組みを模索していきたいと思ひます。

本年は二年に一度の診療報酬の改定の年にあたります。現在、平成28年度予算案の閣議決定を受け、厚生労働大臣が中医協に薬価改定を含む診療報酬の改定を諮問しているところです。具体的な議論は昨年から続いており、この作業が最終局面を迎えています。この動きもしっかりと注視し、国民の健康や命をどのように守っていくのかの観点で議論が進められているのか、日本の医療全体がおかしな方向に進んでいないのかをチェックしていかなくてはなりません。

このような薬剤師を取りまく状況を少しでも改善していくために、薬剤師の一人として、国政の中でしっかりと働いていく所存です。皆様の強い思いが政府、国会に届けられるように、引き続き全力で取り組ませていただきます。

本年も微力ではございますが、薬剤師の地位向上、医療安全の向上をはじめとする諸問題について、全力でサポートさせていただきます。

最後にこの一年が沖縄県薬剤師会の皆様にとりまして良い年となりますように心からご祈念し、年頭のご挨拶といたします。

# 謹賀新年

昨年では会運営にご理解ご協力を賜わりお礼申し上げます。  
皆様のご健康とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

法社一  
人団般

## 沖縄県薬剤師会

相談役 金城保景 新垣正次

我喜屋 宏 友利弘一

監事 大城桂子 友利弘一

会長 亀谷浩昌 前濱朋子

副会長 江夏京子

外間惟夫 宮城敦子

常務理事 山里 勇 我喜屋美香

村田美智子

川満直紀 佐藤雅美

理事 成川賢一 新垣秀幸

姫野耕一 幸地良信

下地 仁 荒井千春

笠原大吾 吉田洋史

吉富弓江

石川恵市

仲真良重

島袋陽子

城間盛光

吉田典子

小泉宝之 他職員一同

## 沖縄県薬剤師連盟 沖縄県藤井もとゆき薬剤師後援会

会長 亀谷浩昌

幹事長 吉田久子 他幹事一同

# 神村 武之 先生

## 沖縄県薬剤師会会長退任慰労会

日時：平成27年12月13日(日) 13:00～15:30

会場：沖縄都ホテル 綾羽の間

平成28年12月13日(日)午後1時より、沖縄都ホテル綾羽の間において「神村武之先生沖縄県薬剤師会会長退任慰労会」が開催された。

祝賀会には神村前会長の労をねぎらおうと、多数の関係者が出席され、100余名の盛大な宴となった。会は2部制で行われ、本会広報委員会の池間記世氏により司会進行がなされた。

I部では、神村氏による退任記念の講演が行われた。

講演では、自身の柔道や造詣の深い沖縄の陶器の話のほか、初代事務局長、理事を皮切りに、副会長、会長と県薬の要職を長年務めるかたわら、外部での要職も数多く兼任されてこられた、氏ならではの、県薬の歴史をコンパクトにまとめられた講演であった。

5期10年間の会長職の集大成というべき、自前の沖縄県薬剤師会会館の完成までの、会館の変遷のスライドには、会場内の先輩方からは、懐かしいという声が聞こえた。

今では当たり前になっている医薬分業。その創生期から関わってこられた氏から語られる、沖縄県における分業の長い道のりは、分業バッシングの昨今、身を引き締めていかなければと感じた。

また、講演終了後には、行政から参加の薬剤師から、「沖縄の薬業界の歴史が聞けて良かった」という声もあった。

II部の慰労会は、本会会員の西登貴世氏による日本舞踊「鶴の寿(花柳流)」で開宴した。日本舞踊の師範でもある西氏の見事な舞踊、

特に鶴の羽ばたく姿は、前会長をねぎらうとともに、本会のさらなる発展を思わせ、会場を華やかな雰囲気にした。

神村前会長を育て、支えた2名の元会長、新垣正次氏の発起人代表挨拶、大城桂子氏による乾杯の音頭の後、会は懇親の場へと進んだ。

会場の参加者が懇談する中、舞台では、専務理事として神村氏を支えた田場英治氏によるオカリナ演奏、会員の属するバンドINFREEによる演奏が、会場に花を添えた。

引き続き行われた花束・記念品の贈呈では、神村前会長を5期10年にわたり支えた、奥様の神村康江氏も壇上へ。会から亀谷会長と共に私前濱が、南部地区から宮城敦子氏、名城大学薬学部同窓会からは宮城幸枝氏が花束を贈った。

花束贈呈に続き、亀谷会長より記念品として琉球ガラスの盾が贈られた。記念品として実行委員会準備したのは、神村氏が会長表彰の際に贈呈していたブルーの琉球ガラスの盾に、本会館と豊平峰雲書「薬学益世」が金泊で描かれている、氏ゆかりの品が詰まったものであった。

神村前会長からの謝辞の後、江夏京子副会長の閉会のあいさつで幕を閉じた。

その後、場所を変え、カラオケへ。石原裕次郎の「わが人生に悔いなし」を歌う神村氏であった。まだまだ勇退とはいかないのでは…と前会長の歌声を聞いていたのは私だけではないはず。(文:副会長 前濱朋子)

発起人 ○金城 保景   ○新垣 正次   ○大城 桂子   ○松山 朝雄   ○城間 盛光  
           ○我喜屋 宏   ○池間 記世   ○仲真 良重   ○江夏 京子   ○山里 勇  
           ○山城 志津   ○神谷 朝雄   ○吉田 久子  
 実行委員 ○亀谷 浩昌   ○江夏 京子   ○前濱 朋子   ○吉田 洋史   ほか

＜神村武之先生 沖縄県薬剤師会会長退任慰労会 式次第＞

○退任講演 「思い出を巡りて」	司会 広報委員会 池 間 記 世
○退任慰労会	第18代会長 神 村 武 之
1. 幕開け 日本舞踊 鶴の寿（花柳流）	西 登貴世
2. 実行委員長挨拶	現会長 亀 谷 浩 昌
3. 発起人代表挨拶	第15代会長 新 垣 正 次
4. 乾杯の音頭	第17代会長 大 城 桂 子
5. 懇談	前専務理事 田 場 英 治
余興 ○オカリナ演奏	I N F R E E
○バンド演奏	
6. 花束・記念品贈呈	
7. 謝辞	第18代会長 神 村 武 之
8. 閉会のことば	現副会長 江 夏 京 子



神村武之先生 沖縄県薬剤師会会長退任講演「思い出を巡りて」



初代事務局長、理事、副会長、会長と要職を務めた氏だけに、写真を多く用いたその発表スライドは、県薬の歴史そのものであった。



退任慰労会の幕開け 西 登貴世 氏による日本舞踊「鶴の寿」



実行委員長挨拶  
亀谷 浩昌 会長



発起人代表挨拶  
新垣 正次 第15代会長



乾杯の音頭  
大城 桂子 第17代会長



閉会のことば  
江夏 京子 副会長



司会を務めた  
池間 記世 広報委員



余興 オカリナ演奏  
田場 英治 前専務理事



余興 INFREEによるバンド演奏



亀谷会長から記念品として琉球ガラスの盾が贈られた



神村武之・康子夫妻から謝辞をいただいた

平成27年度

# 薬事功労受賞者



(後列) 左より 神山えり子氏、喜舎場綾子氏、沖山勝彦氏、普天間公子氏、川満正啓氏、城間盛伸氏  
(前列) 左より 戸田澄之氏、外間惟夫氏、今井忠子氏、浜元朝孝氏、佐久間長昭氏、日高佳子氏、親泊康行氏

平成28年1月17日(日) 午後6時より、沖縄都ホテル綾羽の間において、沖縄県薬業連合会主催の平成27年度薬事功労受賞者合同祝賀会・新年会(以下、祝賀会)が開催された。

祝賀会には多数の関係者および招待者が出席され、180余名の盛大な宴となった。薬事功労表彰の栄に浴されたのは、瑞宝双光章受章の浜元朝孝氏をはじめとする22名の先生方である。

祝賀会のオープニングセレモニーでは、本会会員の我喜屋啓、美香ご夫妻が所属する那覇市民吹奏楽団金管アンサンブルによる演奏(曲: ムーンリバー)が披露された。その見事な演奏は会場を華やかな雰囲気にした。一旦、幕が閉じ、本会広報委員会の砂川智子氏により司会進行がなされた。壇上には受賞者が着席され、大きな拍手のもと、再び幕が上がった。

稲嶺侃沖縄県薬業連合会副会長による開会のことばの後、主催者の亀谷浩昌沖縄県薬業連合会会長が、受賞者のこれまでの労をねぎらうと共に今回の栄誉を祝福。その挨拶の中で、「冒頭で、新年おめでとうございまして申し上げますが、実は手放しでおめでとう

ございましてと言いたい心境です。昨年は大手調剤薬局チェーンの薬歴未記載問題や、無資格者の調剤などに端を発した、薬局バッシング・薬剤師バッシングが吹き荒れました。平成28年度診療報酬改定を心配しましたが、関係方面の方々と協力して頑張った結果、ひと安心する結果となりました。しかしながら、報酬改定の財源を薬価切り下げに頼る方法は限界に近づいており、薬品卸様関係を含めて、安定的な医薬品供給に関わっている部門にも適正な利潤を確保する必要があります。医療財政はますます窮屈なものになっていくようですので、この難しい課題の実現には政治・行政の方々の手腕が期待されます。新しい年を迎えて、われわれ薬業界は一致協力して国民の皆様の健康な生活の確保に頑張っていくつもりです。2025年問題への対処及び沖縄県の長寿日本一の復活を目指し、国が推進している地域医療の充実、一次予防の推進に協力していきます。」と、医療・薬業界にとって課題も山積しているが、これらの諸課題は薬業連合会関係各位のご支援、ご協力、そして政治力も必要であり、一丸となって諸事業を積極的に取り組んでいきたいと述べられた。

# 合同祝賀会開催

## 祝賀式典

会期：平成28年1月17日(日) 午後6時～

会場：沖縄都ホテル 綾羽の間 (2階)

司会 沖縄県薬剤師会広報委員

砂川 智子

- ～受賞者登壇～
1. 幕開け
  2. 開会のことば 沖縄県薬業連合会副会長 稲嶺 侃
  3. 主催者あいさつ 沖縄県薬業連合会会長 亀谷 浩昌
  4. 受賞者紹介
  5. 来賓あいさつ 沖縄県副知事 浦崎 唯昭  
沖縄県医師会会長 宮城 信雄
  6. 花束贈呈
  7. 受賞者代表挨拶 浜元 朝孝
  8. 乾杯 沖縄県歯科医師会副会長 真境名 勉

## 懇談

1. 余興
2. 閉会のことば 沖縄県薬業連合会理事 長浜 眞球

## ◆◆受賞者◆◆

【瑞宝双光章】

浜元 朝孝

【学校保健及び学校安全文部科学大臣表彰】

佐久間 長昭

【日本薬剤師会有功賞】

今井 忠子 大城 清吉

嘉陽 美津子 桜川 浩太郎

【沖縄県薬事功労者知事表彰】

外間 惟夫 川満 正啓

【沖縄県医薬品登録販売者協会会長表彰】

日高 佳子 親泊 康行

【沖縄県薬剤師会長表彰】

神山 えり子 沖山 勝彦 普天間 公子

戸田 澄之 城間 盛伸

比嘉 佳穂子 笠原 大吾

【沖縄県学校保健会長表彰】

高良 弘子 喜舎場 綾子 伊集 俊雄

【沖縄県公衆衛生大会長表彰】

佐次田 正

【那覇市政功労賞】

西 登貴世

司会より受賞者一人一人が紹介された後、翁長雄志沖縄県知事の祝辞が浦崎唯昭沖縄県副知事により代読され、続いて宮城信雄沖縄県医師会長からもご挨拶をいただいた。ご臨席いただいている来賓の方々が紹介された後、受賞者が舞台壇上一列に並ばれ花束の贈呈がなされた。会場からのカメラのフラッシュと拍手で一層華やかになった。

受賞者を代表して、浜元朝孝氏より、「ここに登壇している受賞者は各々立場が違いますが、このように受賞できたのは個々の職域で精励されたことによるものであり、ここにご参加の関係各位や家族、地域の皆様方の温かいご指導、ご支援があったからこそその荣誉であります。今後とも微力ではありますが、この荣誉に恥じぬよう薬業界発展のため、広くは国民保健の向上のため精進して参ります。」と、謝辞と共に今後の抱負も語られた。

沖縄県歯科医師会副会長の真境名勉氏の乾杯のご発声にて祝宴に入った。盛り上がる歓談のひとつとき、お祝いに駆けつけた方々が受賞者と握手を交わす姿や写真撮影を行なう姿も多く見られ、会場は和やかな雰囲気にも包まれた。会場には受賞者の賞状と記念品が展示され、大勢の方が鑑賞された。

会も半ば、司会より多数の祝電が入っていることが告げられ、続けてご臨席いただいている来賓の方々より挨拶を賜った。賑わいを見せる中、幕開けを演じた那覇市民吹奏楽団金管アンサンブルが、見事な演奏で魅了し、祝宴に花を添えた。再び受賞者が登壇し、記念撮影が行われ、会場から一斉にフラッシュが焚かれた。

和やか歓談の一時も過ぎ、沖縄県薬業連合会理事の長濱眞球氏の挨拶で幕となった。

(文：沖縄県薬剤師会事務局 大城 喜仁)

祝賀会

受賞者プロフィール

〔瑞宝双光章〕

はまもと ちょうこう  
浜元朝孝

宜野湾市で昭和42年に浜元薬局を開局。昭和47年浦添薬局の開局を経て、平成6年から会  
営薬局の薬局長として勤務した。現在に至るまでの50年余り、薬局における健康相談、処方  
薬調剤、一般薬の販売を通して、地域へ安心・安全な医療を提供すると共に、一般市民向け  
の薬に関する講話を行うなど、地域住民の健康保持増進に寄与している。昭和47年から平成  
2年まで浦添小学校の学校薬剤師を務め、43年以上活動してきた。学校薬剤師のなり手の少  
ない中、薬剤師を発掘し、学校へ配置するなど学校薬剤師活動の普及に尽力した。学校にお  
いては学校環境衛生検査を実施し、学校側に適切な指導助言をするなど学校保健・衛生の向  
上に努めた。また、昭和58年より、学校薬剤師会副会長として、会長を補佐し、学校薬剤師  
活動が円滑に行えるように県、市町村教育委員会との連絡を密にした。特に離島県であるた  
め、本州での研修会への参加が厳しい中、日本学校薬剤師会主催「健康学校環境衛生講習会」  
の沖縄県開催を実現した。また、昭和54年沖縄県薬剤師会理事に就任以来、医薬分業推進委  
員として医薬分業の推進を図るべく、医師会、歯科医師会、薬剤師会の三者間の相互理解と専  
門技術の尊重が必要であることを訴えるとともに、会員へ医薬分業の重要性を積極的に説いた。

〔学校保健及び学校安全文部科学大臣表彰〕

さくまなが あき  
佐久間長昭

昭和51年より学校薬剤師に委嘱されて以来、複数校を担当し石垣島本島のみならず、交通  
不便な遠隔地・離島での学校薬剤師として献身的に活動を行っている。又、学校環境衛生検  
査等の実施を通して学校長及び養護教諭との連携を密にして学校環境衛生の改善、健康教育  
等に関する資料提供や指導助言を行い、常に学校保健活動の向上に努め、児童生徒の健康増  
進に貢献している。

過去には沖縄県薬剤師会八重山地区会長及び地区学薬会長として活動され、支部組織の強  
化、地区研修会を開催し会員の資質の向上、八重山地区の新人学校薬剤師の発掘、遠隔地・  
離島への学校薬剤師の配置などに貢献した。

〔沖縄県公衆衛生大会長表彰〕

さしだ まさし  
佐次田正

石川市立（現うるま市立）伊波中学校の学校薬剤師として委嘱され、20年間にわたり、専  
門的立場から学校環境衛生検査を通して、学校長及び養護教諭と連携し関係職員に指導助言  
を行った。また学校環境衛生、特に日常点検の重要性を説き、公衆衛生的見地から指導助言  
を行い、学校保健の発展に寄与した。

## 受賞者プロフィール

### 〔日本薬剤師会有功賞〕

いま い ただ こ  
今 井 忠 子

長年にわたり沖縄県女性薬剤師会（現在女性薬剤師部会へ変更）の役員として会の発展に努めた。那覇市内にて薬局を経営し地域の健康相談薬局として健康面のみならず生活全般の相談にもあずかり、近隣住民の信望も厚く、地域医療に大きく貢献した。

おお しろ せい きち  
大 城 清 吉

若年にして琉球政府立那覇病院薬局長、薬務課長を歴任、その後、医事課長、土木建築次長、生活福祉部長を努め、巡回診療船やヘリコプターの建造、僻地診療の実施、ハブ血清製造研究所の建設などに貢献した。

か よう みつこ  
嘉 陽 美津子

長年にわたり薬局を経営し、かかりつけ薬局として、医薬品の安定供給と地域住民の保健福祉、公衆衛生に尽力するとともに、医薬品の安全な使用、医薬品の正しい情報提供に努めている。

さくら がわ こうたろう  
桜 川 浩太郎

平成元年から平成3年の間、沖縄県薬剤師会八重山地区担当理事として離島である八重山地区薬剤師会と県薬剤師会とのパイプ役として重責を全うし、県薬剤師会と地区薬剤師会の運営発展に多大に貢献した。

### 〔那覇市政功労賞〕

にし と きよ  
西 登貴世

平成5年より平成19年まで、沖縄県学校薬剤師会の副会長を務めた。また、平成10年より平成14年まで那覇市学校薬剤師会会長を務め、平成9年より平成14年まで那覇市学校保健会理事を務めた。この間、平成13年5月には那覇市学校保健主事研修会の講師を務めるなど、学校保健の向上に関わるとともに学校薬剤師の資質の向上を推進し、各学校の学校保健安全計画、学校環境衛生の維持・向上に努めた。また学校薬剤師として、那覇市においては、曙小学校（平成8年～23年）天久小学校（平成24年～26年）を委嘱され、各学校での環境衛生の維持・向上に大いなる寄与をした。

## 受賞者プロフィール

### 〔沖縄県薬事功労者知事表彰〕

ほか ま のぶ お  
外 間 惟 夫

昭和60年より琉球大学附属病院薬剤部に勤務し、製剤、調剤主任等を歴任、またTDM、感染制御チーム、リスクマネージャーなども担当し患者に対する薬物療法支援や薬物安全使用に貢献、現在は副薬剤部長として指導者的立場で活躍している。研究面では勤務の傍ら薬物動態の研究に取り組み平成14年に医学博士を取得、病院薬剤師の学術的な向上、発展にも寄与した。病院薬剤師会の活動では平成20年に監事、平成24年常任理事、平成26年から会長就任、また県薬剤師会においても理事・学術研修委員長、今年から副会長として病院・保険調剤薬局を合わせた薬剤師全体の地位向上、学術的発展に貢献している。

かわ みつ まさ ひろ  
川 満 正 啓

川満薬局東店の管理薬剤師として、地域住民へ医薬品の供給、健康情報の提供に努める。平成11年、県立宮古病院の院外処方箋発行にあたっては、実行委員として県、市への要望、医薬品情報の収集、県立病院との折衝、地域住民への啓蒙活動など宮古地区での医薬分業推進に大きく貢献した。また、院外処方箋発行と同時に県立宮古病院前へ薬局を開設。会営薬局のない宮古地区にあつて会営薬局的役割を担い、宮古地区の医薬分業のスムーズな移行に貢献した。平成15年からは県薬理事として地区薬剤師会と県薬とのパイプ役を果たした。平成19年より宮古地区薬剤師会会長へ就任し会運営に貢献している。

### 〔沖縄県薬剤師会長表彰〕

ひ が か ほ こ  
比 嘉 佳穂子

病院薬剤師会監事、精神科分科会世話役として会運営にも大きく貢献している。平成21年に日本病院薬剤師会精神科薬物療法認定薬剤師を取得し、県内の精神科領域の指導者的役割も果たしており、薬学生実務実習にも積極的に取り組んでいる。沖縄県薬剤師会においては、平成23年から精神科認定薬剤師の立場から自殺対策委員会委員として努めた。現在は地域保健開局委員会委員に就任して活動している。

かさ はら だい ご  
笠 原 大 吾

平成17年に学校薬剤師として委嘱され以来、交通不便な離島の学校も複数校を受け持ち、学校環境衛生検査や薬物乱用防止の講話等の実施、指導助言を行い児童生徒の健康増進に貢献した。学校薬剤師部会副部会長として部会の組織強化と会員の資質の向上に努めている。沖縄県薬剤師会理事、各種委員会委員として会の組織強化と会員の資質向上にも積極的に取り組んでいる。

## 受賞者プロフィール

### 〔沖縄県薬剤師会長表彰〕

かみ やま こ  
神 山 えり子

平成7年、県立北部病院から県内初の広域病院院外処方箋が発行される事を受けて、研修会や事務運営に携わり尽力された。北部地区薬剤師会理事、副会長、会長、監事、現在は顧問を努め組織運営、発展に尽力されている。会長に就任し、若い執行部を育てながら各種委員会に権限を持たず委員会制に組織改革を行った。また不動態ネットワーク事業等の会員が求める事業を展開し地区の活性化に貢献した。

おき やま かつ ひこ  
沖 山 勝 彦

中部地区薬剤師会の医薬分業にあたって、地区会員を激励し、自らも陣頭指揮をとり、中部地区医薬分業に貢献した。また中部地区薬剤師会の副会長として地域医療に力を注ぎ、会員の資質向上に尽力した。会営薬局の開局にあたって行政の立場から助言等を行い会運営に尽力した。平成3年には沖縄県薬剤師会理事に就任し会全体の組織運営にも尽力した。

ふてんま きみ こ  
普 天 間 公 子

那覇市内で薬局を経営する傍ら、那覇地区薬剤師会設立当初の監事を2期務め、組織の強化と事業の円滑な運営発展に貢献した。また、かかりつけ薬局及び面分業の推進にも尽力し、地域医療の質の向上に取り組んだ。平成15、16年度は、古波蔵支部長を務め支部の活性化にも尽力した。平成17年度より沖縄県薬剤師会代議員を2期務め会の発展に寄与した。

と だ すみ ゆき  
戸 田 澄 之

那覇市内で薬局を経営し、地域に根差した身近な「かかりつけ薬局」として地域医療に寄与している。また、地域医療の資質向上のため、人材育成にも力を入れている。那覇地区薬剤師会では、理事、副会長、支部長を歴任し、事業の円滑な運営、組織の強化、支部の活性化に尽力してきた。沖縄県薬剤師会においては、平成19年度から3期にわたり代議員を務め会の発展に寄与するとともに、各種委員会委員としても貢献した。

しろ ま せい しん  
城 間 盛 伸

薬学部を卒業後は他県で薬剤師の技能を磨くべく研鑽に努め、平成14年より南部地区薬剤師会で活躍されている。平成19年より南部地区薬剤師会役員を務め、組織の強化、運営、資質向上に努めている。平成17年より沖縄県薬剤師会開局委員会をはじめ複数の委員会委員として貢献した。開局委員会では、副委員長、書記を務め、若い薬剤師の先頭に立って活躍している。

## 受賞者プロフィール

### 〔沖縄県学校保健会長表彰〕

たか ら ひろ こ  
高 良 弘 子

昭和58年から名護商業高校、北部工業高校の学校薬剤師に委嘱され、現在は名護幼、小、中、真喜屋小、名護商工高校を担当している。薬剤師という専門的な立場から、学校環境衛生の検査等を通して、学校長、養護教諭との連携を密にして、学校環境衛生の改善、健康教育に関する指導助言等を行って学校保健活動の向上に貢献している。

きしゃば あや こ  
喜舎場 綾 子

昭和61年に安慶田中学校の学校薬剤師として委嘱され、現在は沖縄ろう学校、美咲特別支援学校はなさき分校を担当している。学校薬剤師として専門的な立場から学校環境衛生検査を通して学校長及び養護教諭との連携を密にして、学校環境衛生の改善、健康教育等に関する指導助言、資料提供を行い、学校保健活動の向上に貢献した。また、学校保健委員会を通して学校環境衛生の重要性を説き、特に日常検査が大切であることを指導助言し、学校保健の発展に寄与した。

い じゅ とし お  
伊 集 俊 雄

昭和52年から寄宮中学校の学校薬剤師として委嘱され、現在は知念幼稚園、知念小学校、知念中学校、久高幼稚園、久高小学校、久高中学校を担当している。専門的な立場から、学校環境衛生の検査等を通して、学校長、養護教諭との連携を密にして、学校環境衛生の改善につなげ、健康教育に関する指導助言、資料提供等を行い、快適な学校環境づくり、学校保健活動の向上に貢献した。

### 〔沖縄県医薬品登録販売者協会会長賞〕

ひ だか けい こ  
日 高 佳 子

昭和57年薬種商合格、平成23年より協会理事就任、平成25年会計担当理事として会のために尽力している。

おや どもり やす ゆき  
親 泊 康 行

平成9年薬種商合格、平成10年協会の理事就任、平成13年から協会副会長、平成23年生涯学習委員長兼任して会のために尽力している。

祝賀会スナップ写真



オープニングセレモニーは、会員の我喜屋啓・美香夫妻が所属する那覇市民吹奏楽団金管アンサンブルによる演奏



開会のことば  
稲嶺 侃氏



主催者あいさつ  
亀谷 浩昌 会長



来賓あいさつ  
浦崎 唯昭氏



来賓あいさつ  
宮城 信雄氏



司会  
砂川 智子氏



花束贈呈後、受賞者代表謝辞をする 浜元 朝孝氏



素晴らしい演奏をされた我喜屋夫妻



乾杯  
真境名 勉氏



閉会のことば  
長浜 眞球氏

祝賀会スナップ写真



北部地区関係者



南部地区関係者



中部地区関係者



那覇地区関係者



宮古地区関係者



医薬品登録販売者協会関係者



八重山地区関係者



浜本氏の息子さんと、遠方からご参加されたご友人



笠原大吾氏の奥様も  
遠方からご参加された

\*\*\*\*\* 祝賀会スナップ写真 \*\*\*\*\*



学校薬剤師部会関係



病院薬剤師部会関係

転載記事

平成27年 秋の叙勲（学校保健功労）受章報告会

平成28年1月15日  
沖縄県教育委員会  
ホームページより



前列左から  
諸見里 明 教育長  
浜元 朝孝 様  
（受章者：学校薬剤師）  
亀谷 浩昌 様  
（沖縄県薬剤師会会長）  
吉田 久子 様  
（県薬剤師会学校薬剤師会顧問）

このたび、平成27年11月3日付けで秋の叙勲が発令され、11月10日に国立劇場大劇場（東京都）での、伝達式に出席されました、浜元朝孝様（学校保健功労部門：瑞宝双光章）の受章報告会を行いました。

「学校保健功労」は、学校薬剤師においては、年齢70歳以上で業務歴が40年以上の者が対象になります。

浜元朝孝様は、43年余の永きに亘り、学校の環境衛生の維持及び改善等に関し、適切な指導助言していただき、学校保健の向上に御尽力されております。

今回の浜元様の受章は、本県学校薬剤師として、初めての受章となります。誠にありがとうございます。

※沖縄県教育庁保健体育課より許可を得て転載しています

## 在宅医療

# 平成27年度 在宅医療支援薬局限定 無菌調製の実践講座 (TPN編) 報告

日時：平成27年11月19日(木) 19:00～22:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール



在宅医療委員会  
伊敷 松太郎

昨年の11月19日、26日、12月6日と3回にわたり行われた講習会の第1回、無菌調製の実践講座 (TPN編) についてご報告いたします。

今現在、私が勤務している薬局でも、在宅訪問を行っています。昨今の法改正により、無菌調剤室の共同利用が可能となり、無菌調剤など、今まで以上にこれからの業務に関わってくるであろうという認識はありましたが、いかんせん無菌調剤に対する知識や手技が乏しく、どうすれば良いかと手をこまねく状態でしたが、本講習会は一つの自信へとつながるものでした。

はじめに、日科ミクロン株式会社様よりクリーンルーム・クリーンベンチに関する説明をしていただきました。「無菌調剤室とは」という基本から始まり、清浄度、クリーンベンチ、身支度方法、施設基準に係る手続きなどを説明していただきました。現在は、クリーンベンチについての設置基準も以前より緩和され、メーカーからもそれぞれ、新商品が発売されているとのこと。本商品について一度説明を、と思われた方は是非、お問い合わせ下さい。

そのあとは、在宅医療委員会委員長の荒井千春先生より、TPN無菌調製の実践講座と題して、TPNや輸液などに対する基礎知識の講義と、輸液調製を実際に行いました。

基礎知識に関しては、施設基準や調剤報酬点数についてなど、実際行う上で必要なことを、わかりやすく説明していただきました。特に調剤報酬点数では、実際薬局が在宅を行い、無菌製剤を取り扱う上で、どの程度の点数が算定でき、採算が取れるようになるかを解説してもらい、無菌調剤がしっかりと加算と指導料を算定すれば、利益の出せる業務であることが分かります。また、これは薬剤師

にのみ許された業務であり、その専門性を評価されたため、これだけの点数が算定可能である、とのこと。 (退院時指導、無菌製剤処理加算、月に8回の訪問薬剤管理指導をしっかりと算定すれば、一年で85,800点近くの点数となる!)

クリーンベンチなどの有用性を感じつつも、実際、どの程度の稼働が見込めるのか、必要性はあるのか等々、漠然とした不安を感じている諸先生方も多くいるかと思えます。(自分自身がそうでしたので。) これは知らないことによる不安では、と強く感じます。具体的な数字を知ることによってその不安も払拭することができるでしょう。

無菌調製の実践部分については、荒井先生が実際に受け持っている患者さんを例に、輸液の調製を体験させてもらい、手技を確認しました。調製のみの手技確認だけではなく、実際の患者さんを例に行っているため、処方適正評価や配合変化についての確認も行います。本講習の肝である「実践」の部分は、輸液の調製も然ることながら、このような実際の症例に触れることにより、その患者さんの背景も考慮して、処方提案や調剤を行うものだったように感じています。

在宅医療が活発になっている昨今、患者さんからの期待は言うに及ばず、他職種からも薬剤師への期待は更に高まっていると思います。ただ、この期待に応えるには知識だけではなく、多くの経験も必要となってくるかもしれません。今回のような研修会によって、その経験値を共有することができればその期待に応えることができるのでは、と思います。

最後に本研修会を実行して下さい、関係各位に感謝いたします。

## 在宅医療

平成27年度 在宅医療支援薬局限定  
無菌調製の実践講座（麻薬編）

日時：平成27年11月26日（木）19:00～22:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

こくら虹薬局  
比嘉 仁

2015年11月26日19時より薬剤師会にて無菌調製の実践講座の第2回テーマ「麻薬」が行われ受講しました。内容は、①シオノギ製薬さんより「オキファスト注<sup>®</sup>の使い方」、②在宅医療委員会 荒井千春先生より「医療用麻薬注射液を用いた疼痛管理の基礎知識」、③大研医器株式会社さんにより「ディスプレイPCAポンプの実践」、④JMSさんにより「電動式PCAポンプの実践」という流れで講義がなされました。

- ① シオノギ製薬さんより「オキファスト注<sup>®</sup>の使い方」では、経口製剤が服用困難な方や急速な鎮痛が必要な場合などにオキファスト注<sup>®</sup>が有用である事、各オピオイド製剤からの切り替えの目安、静脈注射と皮下注射での使用時の違いなどの説明がありました。
- ② 医療用麻薬注射液を用いた疼痛管理の基礎知識」では、自己調節鎮痛法（PCA：Patient Controlled Analgesia）の対象となる場合、PCAを行う際の用語の解説、各薬剤での使用上の注意点、副作用への対応などが説明されました。
- ③ 「ディスプレイPCAポンプの実践」では、クーデック<sup>®</sup>シリンジェクター<sup>®</sup>PCA装

置を用いてPCAポンプへの薬液の充填、ルートの接続方法、流量調節の仕方、ボーラス投与の方法、装置の取扱注意点、などが説明されました。

- ④ 「電動式PCAポンプの実践」では、電動式PCAポンプのメリットが患者毎に細かい設定ができること、警報機能による異常が把握できる、ボーラス投与などの記録ができることなどが挙げられると説明され、i-FusorTMPlusを用いて実際の薬液のセットや投与量の設定などをしました。

PCAポンプ自体をさわって投与量の調節などは薬剤師ができない旨の説明がありましたが、装置の仕組みなどが理解できる貴重な経験となりました。

私が担当している在宅訪問の方で麻薬を使用されている患者さんがいらっしゃいますが、私が在宅を始めてまだ浅く、おまけに麻薬の患者さんを相手にまだまだ右も左もわからない状態で支援させていただいていますが、今回の勉強会、また他の勉強会や自己学習をつみ患者さんの幸せに生きられる時間の手助けを少しでもできるように努力していきたいと思います。



## 在宅医療

# 平成27年度 在宅医療支援薬局限定 無菌調製の実践講座（抗がん剤編）報告

日時：平成27年12月3日（木）19:00～22:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール



在宅医療委員会  
屋嘉比 康作

### <研修内容>

#### 【テーマ】「抗がん剤」

- ・安全キャビネットの説明
- ・抗がん剤無菌調製の基礎知識
- ・抗がん剤無菌調製の実践

本年度新しい試みとして始まった在宅医療支援薬局限定の無菌調製の実践講座。第3回目、『抗がん剤』に参加しました。

まず、ニッカミクロン株式会社様より、

○会営薬局うえはらにある無菌室の紹介

○抗がん剤の暴露防止対策

→細胞毒性のある抗がん剤は吸入、皮膚粘膜から吸収、経口摂取、針刺し事故などにより暴露する恐れがある。対策として安全キャビネットの使用、閉鎖式接続器具の使用、ガウンテクニック（呼吸用保護具、保護委、保護キャップ、保護メガネ、保護手袋等の着用）を徹底すること。

○安全キャビネットについて（種類、使用方法など）

○抗がん剤調製時の服装、消耗品の紹介

○安全キャビネットのメンテナンス

等についてご講演いただきました。

続いて、琉球大学医学部附属病院薬剤部所属で、がん専門薬剤師の難波有智先生に抗がん剤無菌調製の実践というテーマでお話しいただきました。

○現在、琉球大学医学部附属病院では外来化学療法室を設けており、年間2,282件、1日平均10名（2014年）の外来抗がん剤治療を行っている。

○抗がん剤治療にはレジメン管理が重要  
レジメンとは→抗がん剤、輸液、支持療法薬（制吐剤など）の投与に関する時系列的な治療計画のこと。

○レジメン管理の目的

1. 医療安全の確保（投薬スケジュールの確認、重複投与の回避、投与ルートなど投与方法の指定）
2. レジメンの標準化（適正な投与方法の統一、医薬品の適正な採用）
3. 業務の効率化（混注調製の効率化、患者待ち時間の短縮）
4. その他（後発品への切り替え、消耗品の縮減）

→施設によってレジメンは異なる。同じ治療法でもレジメンの内容は異なる。





- レジメンのチェック項目について
  - レジメン名（同じ名称でも組み合わせが異なることも。例）GC療法、TC療法）
  - 投与量（それぞれ、体表面積で決まるもの、薬によって量が決まっているもの、体重あたりのもの、がんの種類によって決まるもの、AUCで決まるものなどある）
  - 投与経路、投与順序、投与速度
  - 休薬期間
  - 希釈・溶解度（溶解後、1時間内で投与終了しなければならないものもある）
  - 投与機材（機材によっては、溶け・ヒビなど起こすものもある）
  - Pre medication（処置前投与）（アレルギー予防のステロイド、催吐薬など）
  - 治療歴、副作用歴、薬歴など
  - 現在の状態
  - 血管外漏出によるリスク把握、対応策周知（壊死を起こす。早目の対策が必要）
- 暴露防止の知識
  - 患者にとっては治療目的で、抗腫瘍効果を狙い、多量短期間抗がん剤を使用するのに対し、医療従事者にとっては、暴露により健康被害が起き、微量で長期間正常細胞に影響することになるため対策が必要不可欠

- 患者の排泄物にも注意する（投与後48時間以内に排泄されるため）
- 閉鎖式器具の使用が効果的（外部に漏らさない）、安全キャビネット、防護服マスク、ガウンなども合わせて使用することが必要
- 混注実技
  - ガウンテクニック（防護服一式着用）
  - 閉鎖式接続器具を用いた調製

研修を終えて、抗がん剤の調製は汚染だけでなく副作用のリスク、暴露の危険を含むためTPNや麻薬と比べて数段ハードルが高いと感じました。今後、開局で対応していくには無菌室や安全キャビネット等設備の整った施設で十分経験を積んだ指導者のもと慎重に取り組んでいく必要があるでしょう。普段の業務では経験できない貴重な機会でした。

ご講演頂いたニッカミクロン様、難波先生、企画して頂いた在宅医療委員会の荒井委員長ありがとうございました。

## 医薬分業

# 平成27年度医薬分業対策会議報告

日時：平成27年9月27日(日) 13:00～15:30

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

去る9月27日、県内広域病院薬局長と地区薬剤師会役員をお招きして、ICTを活用した地域連携を話題に、本会議が開催された。既にご存知の方もいるかと思うが、新聞及び会報にも記載があったように、医師会中心に取り組みが行われているおきなわ津梁ネットワークに沖縄県薬剤師会も連携することが決定している。この件に関して、薬局や病院薬剤師はどのように関わり、地域連携はどう変わるのか、実証運用に取り組んでいる先生方にご講演を頂き、活発な意見交換が行われた。

はじめに、亀谷浩昌会長より、「限られた予算やベッド数、そして国の再興戦略を踏まえながら、我々は県民の健康増進をサポートできる薬局としての役割を果たすために、薬薬連携だけではなく他職種連携へ目を向け、医療安全・薬物療法の更なる最適化を目指していく努力が必要である。おきなわ津梁ネットワークシステムは他職種連携を深めるツールになるのではないかと、そして常に進捗する努力をしてほしい。」と挨拶された。

続いて、公務で欠席された沖縄県病院薬剤師会の外間惟夫会長に代わり、橋本孝夫副会長より「これからの世代のためにも、我々は医療の仕組みをつくっていく努力が必要である」と挨拶された。

講演に入る前に、医薬分業対策委員より、各病院・各地区薬剤師会向けの事前アンケートの結果が報告され、“コミュニケーション”をキーワードに作成された質問事項からは、各々の実情を知ることができた。(詳細は後述)

続いて、「おきなわ津梁ネットワークの取組について」と題して、沖縄県医師会理事で東部クリニック院長の比嘉靖先生からは、おきなわ津梁ネットワークのコンセプトから連



医薬分業対策委員会  
川上 雄一郎

携の内容、今後の展開についてご講演頂いた。改めて、おきなわ津梁ネットワークという言葉は初めて聞いた方もいるかもしれないが、県民の健康時から罹患時、老年期まで一貫した医療情報連携基盤を目指すシステムである。日常行う“診療”と架け橋を意味する“津梁”をかけており、まさに地域連携にぴったりのネーミングである。先生からは、特定健康診査や長寿健診の結果を基本情報に、各医療機関における検査結果、地域医療連携パス情報、処方・調剤情報等を収集及び共有し、県民への適切な健康相談や医療勧奨、治療、服薬指導、適正処方等を行う取組みであること、既に、処方箋に検査値が添付されている医療機関もあるかもしれないが、当システムで直近の健診データと臨床データが時系列で並んで閲覧することが可能であること、また、患者情報を得ることで個人に合った適切な受診勧奨を行えるメリットもあるといった説明があった。また、セキュリティ対策も万全であり、データが重い、遅いが懸念されるころだがフットワークの軽くしたシステムを目指しているとのことであった。

引き続き、ワタキュー薬局与儀店の砂川香先生から「おきなわ津梁ネットワークを活用した医薬連携の実証運用について」と題して、事例を交えて、参加のメリットを感じさせる内容のご講演を頂いた。実務の中で取り入れた先生の率直な感想は、出席された先生方のイメージを大いに膨らませたのではないだろうか。

<医薬分業対策会議次第>

1. あいさつ

司会：医薬分業対策委員会 川上雄一郎  
 沖縄県薬剤師会 会長 亀谷 浩昌  
 沖縄県病院薬剤師会 副会長 橋本 孝夫

2. 「おきなわ津梁ネットワークの取り組みについて」

ー県民の健康をまもるための架け橋を目指してー

沖縄県医師会 理事 東部クリニック 院長 比嘉 靖

3. 「おきなわ津梁ネットワークを活用した医薬連携の実証運用について」

ワタキュー薬局 与儀店 砂川 香

4. アンケート結果について

(1) 病院向けアンケート回答結果

医薬分業対策委員会 副委員長 姫野 耕一

(2) 薬局向けアンケート回答結果

医薬分業対策委員会 川満 直紀

5. ディスカッション

テーマ「おきなわ津梁ネットワークを活用した地域連携」

医薬分業対策委員会 副委員長 吉田 洋史

6. まとめ

沖縄県薬剤師会 副会長 江夏 京子

その後、ご講演頂いた先生方への質問を交えながら、「おきなわ津梁ネットワークを活用した地域連携について」をテーマに、ディスカッションが行われた。ネットワークについては、各先生方から多数の質問が寄せられ、関心の高さが窺えた。将来的にICTを活用することは必須である中で、多忙な業務の中で変化を求めていくことは覚悟が必要であろう。誤解が無いようにここで以下の5点を取り上げる。①ネットワークで患者情報が共有できるが、お薬手帳は不要であるということではない。②薬局にとって業務負担は軽微なもので薬歴を見るように+αの情報を取り入れることで患者へより良いサービスを還元できる。③門前の医療機関が参加していなくても患者情報の一元管理はメリットがあること。④在宅のみを意識したシステムではなく外来も含めた包括的なものである。⑤医薬の関係ではなくケアマネージャーや保健師、栄養士など医療に係る他職種とのシームレスな連携を実現する展開である。また、各施設の環境やセキュリティーポリシーなど検討中の課題もあり、まだ完成形ではないことは念を押しておきたい。ディスカッションは、当委員会の吉田洋史副委員長を司会進行に、各広

域病院薬局長及び各地区薬剤師会長からアンケート結果等を踏まえながら、地域連携の具体策を探ることができた。

最後に江夏京子副会長より、「具体的なイメージを湧くことができた。今後、沖縄県の長寿を取り戻すために薬剤師も貢献する必要がある、これからは検査値を読み解く勉強も必要である。そして、在宅まで見据えた取り組みを各地区で展開してほしい。」とまとめの挨拶で散会となった。

今回、本会議に参加して、病院薬剤師が院内で行っているコミュニケーションに似たやり取りが院外薬局でも可能になるかもしれない、また、同じ画面情報で最低限の患者情報をお互い認識したうえで、問い合わせを行えばスムーズな会話が生まれ、より深く入り込めた薬物治療や医療提供が可能になるかもしれないと感じた。さらに、このネットワークの活用で薬局のかかわりが国民の健康にどう影響したのか、今後の検証と評価が求められるだろう。その際は、ビッグデータになり得る情報から分析された報告が楽しみである。

以上、これからの地域医療の発展を願い、私からの報告とします。

各地区薬剤師会向けアンケート回答結果

	項目	北部地区	那覇地区	中部地区	南部地区	宮古地区	八重山地区
1	琉球大学医学部附属病院が発行している院外処方箋には検査値が記載される院外処方箋には検査値が記載されませんが、貴地区でも検査値や病名が記載された処方箋を発行している病院・診療所はありますか？ (1) はいと答えた方 検査値や病名などが記載された処方箋を受け取るために勉強会・研修会を開催しましたか？	いいえ	いいえ	はい ガジバル病院  開催していない	いいえ	いいえ	いいえ
2	「薬局の求められる機能とあるべき姿」が公表されています。医薬品の供給体制について地区での不動在庫や小分けは十分に機能していますか？	十分機能している	ほとんど利用されていない	活用する薬局が限定されている	まあまあ活用できている	あまり活用できていない	あまり活用できていない
3	地域医療における役割 地域の医師会や歯科医師会等と連携を取り、普及啓発活動や研修事業など地域保健医療に貢献していますか？	年に数回事業をしている	ほとんどできていない	年に数回事業をしている	密に連携している	密に連携している	ほとんどできていない
4	在宅医療への取り組み (1) 患者や地域住民に対して広報を行っていますか？ (2) 医療機関、介護事業所、自治体などにも行っていますか？ (3) 在宅医療における多職種連携の研修会に参加していますか？	年に1～数回している	行っていない	行っていない	行っていない	行っていない	行っていない
5	下記の地域連携バスに（地区・薬局として）参加していますか？	参加している	参加している	参加している	参加している	参加している	参加している
6	おきなわ津梁ネットワークについて運用を開始して約3年になります。ご存知でしたか？	参加していない	参加していない	参加していない 糖尿病、各種がん 病院が参加していることを知っている	参加していない（呼び掛けているHPがない）	参加していない （薬剤師会で参加している）	参加していない 名前は聞いたことある
7	地域の基幹病院とのコミュニケーションはどのように取られていますか？	病院が参加していることを知っている	名前は聞いたことがある	勉強会等を通して行っている。	連絡会議等	分業連絡協議会として会議があったが、しばらく休止している。	年に1～2回医業分業対策会議を開いている。

## 病院向けアンケート回答結果

## 1. 基本情報について

No	施設名	病床数	専任薬剤師 配置病棟割合 病棟/全病棟	7月の病棟 処方箋枚数	7月の外来 処方箋(院内 調剤)枚数	7月の 院外処方箋 発行枚数
1	琉大病院	600	0/16	11,832	1,107	10,765
2	琉球病院	382	2/8	2,005	38	1,194
3	沖縄病院	320		3,487	35	1,335
4	県立北部病院	327	0/7			
5	県立中部病院	550		9,129	1,799	3,060
6	県立南部医療 センター・こども 医療センター	434		7,189	343	5,834
7	県立宮古病院	276		3,074	232	5,722
8	県立八重山病院	288		3,112	730	4,613
9	那覇市立病院	470	12/12	4,984	821	6,249
10	中頭病院	336	9/9	7,724	963	3,264
11	浦添総合病院	311	9/9	5,793	546	4,162
12	大浜第一病院	214	0/5			
13	沖縄赤十字病院	314	10/10	4,295	283	5,750
14	ハートライフ病院	300	0/8	4,022	1,065	7,816
15	豊見城中央病院	376	12/12	6,831	417	11,211
16	南部病院	188	2/5	2,395	191	4,123
17	中部徳州会病院	331	0/11	5,200	14,000	700
18	沖縄協同病院	280	0/5	4,574	1,696	10,130
19	中部協同病院	114	0/2	1,875	291	2,904
20	北部地区 医師会病院	194	0/0	1,637	60	2,400

2. 薬剤部のマンパワーについて

No	施設名	常勤薬剤師数	非常勤薬剤師数	調剤助手(補助員)	定数(目標)からの不足人数
1	琉大病院	20	11	6	9
2	琉球病院	3	0	1	1
3	沖縄病院	5	0	1	0
4	県立北部病院	9	0	3	3
5	県立中部病院	16	0	5	5
6	県立南部医療センター・こども医療センター	17	0	1	3
7	県立宮古病院	8	1	2	1
8	県立八重山病院	9	0	1	1
9	那覇市立病院	30	0	5	2
10	中頭病院	30	0	7	5
11	浦添総合病院	29	1	7	1
12	大浜第一病院	6	3	2	2
13	沖縄赤十字病院	14	0	1	4
14	ハートライフ病院	8	1	8	8
15	豊見城中央病院	36	4	2	0
16	南部病院	8	1	2	1
17	中部徳州会病院	15	0	8	21
18	沖縄協同病院	11	1	3	6
19	中部協同病院	2	1	1	1～2
20	北部地区医師会病院	6	1	3	5

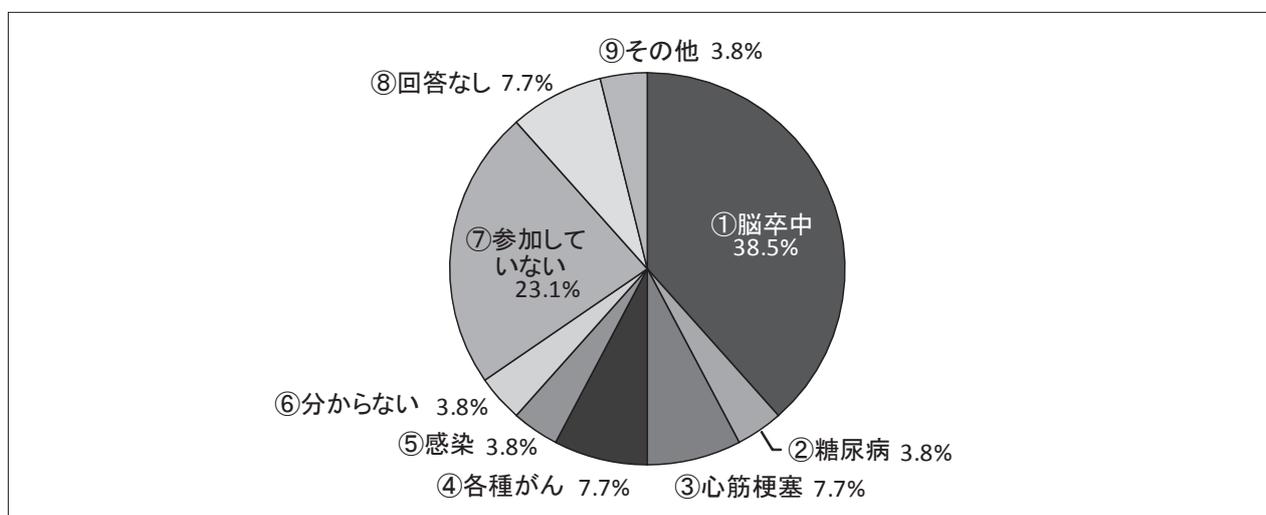
3. 認定薬剤師および専門薬剤師はいますか？

(人数)

がん薬物療法認定薬剤師	琉大(1)、県立八重山(1)、那覇市立(1)、中頭(2) 豊見城中央(1)
がん専門薬剤師	琉大(2)
感染制御認定薬剤師	県立北部(1)、県立八重山(1)、中頭(1)、浦添総合(1) 豊見城中央(1)、北部地区医師会(1)
感染制御専門薬剤師	
精神科薬物療法認定薬剤師	
精神科専門薬剤師	
妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師	豊見城中央(1)
妊婦・授乳婦専門薬剤師	
HIV感染症薬物療法認定薬剤師	琉大(1)、県立中部(2)
HIV感染症専門薬剤師	
JASPO 外来がん治療認定薬剤師	琉大(1)
緩和薬物療法認定薬剤師	琉大(1)、中頭(1)
小児薬物療法認定薬剤師	琉大(1)、中頭(1)、那覇市立(1)
NST専門療法士	琉大(1)、県立北部(3)、県立中部(2)、那覇市立(2) 中頭(2)、沖縄赤十字(2)
日本糖尿病療養指導士	琉大(3)、県立北部(3)、那覇市立(2)、中頭(2) 浦添総合(3)、大浜第一(1)、沖縄赤十字(3)、中部協同(1)
日本臨床薬理学会認定	沖縄(1)
漢方薬生薬認定薬剤師	那覇市立(1)、中部徳州会(1)
救急認定薬剤師	沖縄赤十字(1)
経腸栄養管理指導認定薬剤師	ハートライフ(1)
腎臓病薬物療法学	豊見城中央(2)
栄養サポート専門薬剤師	北部地区医師会(1)

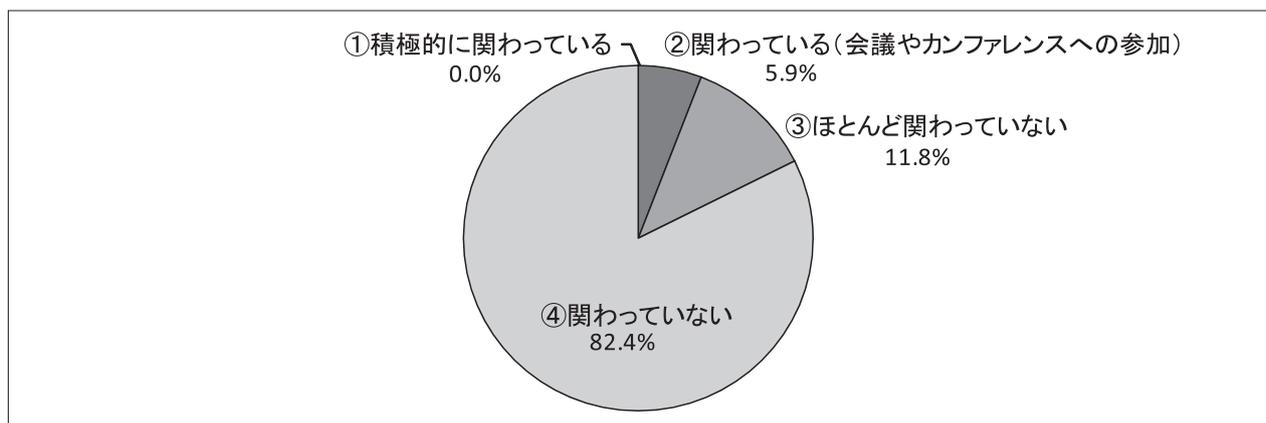
4. (1) 地域連携パスに参加していますか？

	件数	割合
①脳卒中	10	38.5%
②糖尿病	1	3.8%
③心筋梗塞	2	7.7%
④各種がん	2	7.7%
⑤感染	1	3.8%
⑥分からない	1	3.8%
⑦参加していない	6	23.1%
⑧回答なし	2	7.7%
⑨その他	1	3.8%
合計	26	



4. (2) 薬剤部として地域連携パスに関わっていますか？

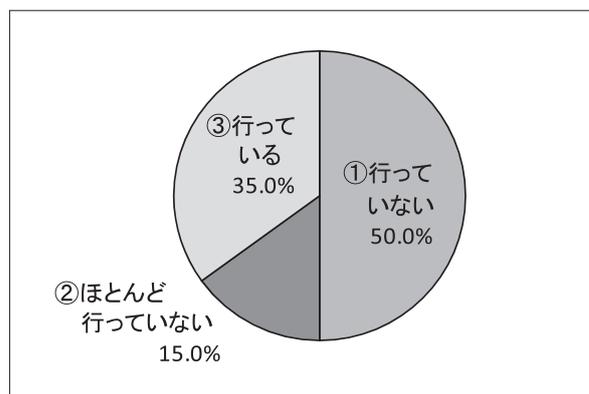
	件数	割合
①積極的に関わっている	0	0.0%
②関わっている (会議やカンファレンスへの参加)	1	5.9%
③ほとんど関わっていない	2	11.8%
④関わっていない	14	82.4%
合計	17	



5. 在宅医療に向けての退院時共同指導について

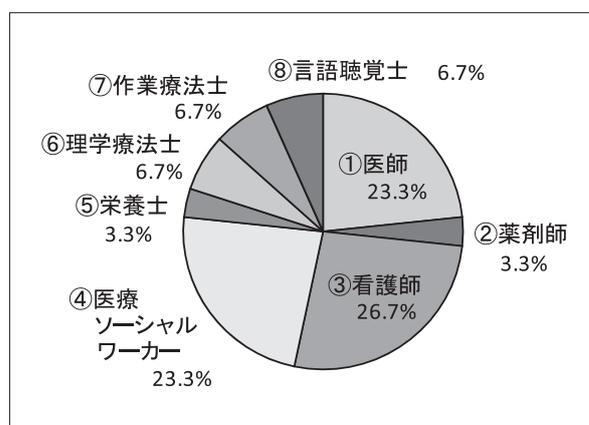
(1) 行っていますか？

	件数	割合
①行っていない	10	50.0%
②ほとんど行っていない	3	15.0%
③行っている	7	35.0%
・ 沖縄病院 (1件/7月)		
・ 県立中部 (4件/月)		
・ 県立宮古 (3件/7月)		
・ 那覇市立 (5件/月)		
・ ハートライフ (3件/月)		
合計	20	

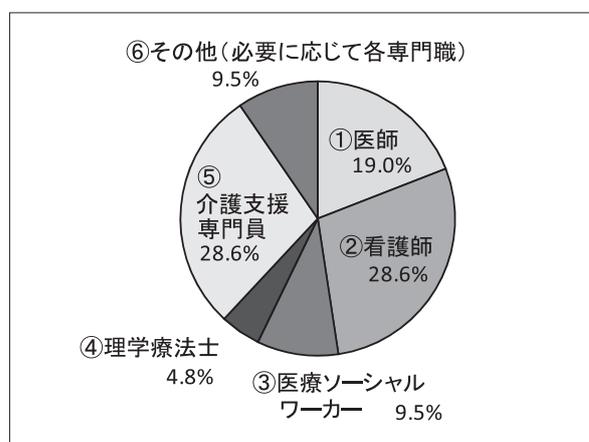


5. (2) どの様なメンバーで開催されていますか？

院内	件数	割合
①医師	7	23.3%
②薬剤師	1	3.3%
③看護師	8	26.7%
④医療ソーシャルワーカー	7	23.3%
⑤栄養士	1	3.3%
⑥理学療法士	2	6.7%
⑦作業療法士	2	6.7%
⑧言語聴覚士	2	6.7%
合計	30	

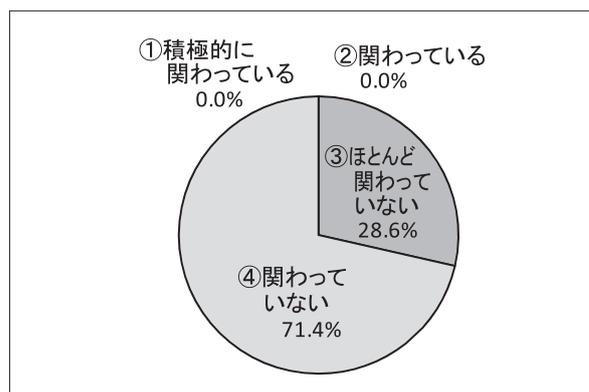


院外	件数	割合
①医師	4	19.0%
②看護師	6	28.6%
③医療ソーシャルワーカー	2	9.5%
④理学療法士	1	4.8%
⑤介護支援専門員	6	28.6%
⑥その他(必要に応じて各専門職)	2	9.5%
合計	21	



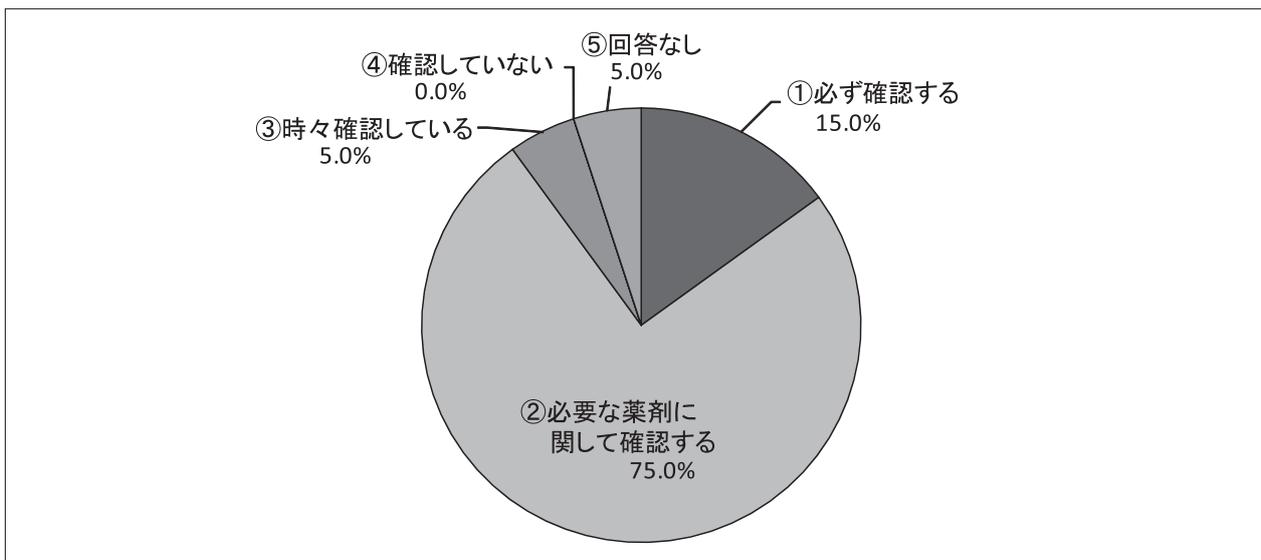
5. (3) 薬剤部として退院時共同指導に関わっていますか？

	件数	割合
①積極的に関わっている	0	0.0%
②関わっている	0	0.0%
③ほとんど関わっていない	4	28.6%
④関わっていない	10	71.4%
合計	14	



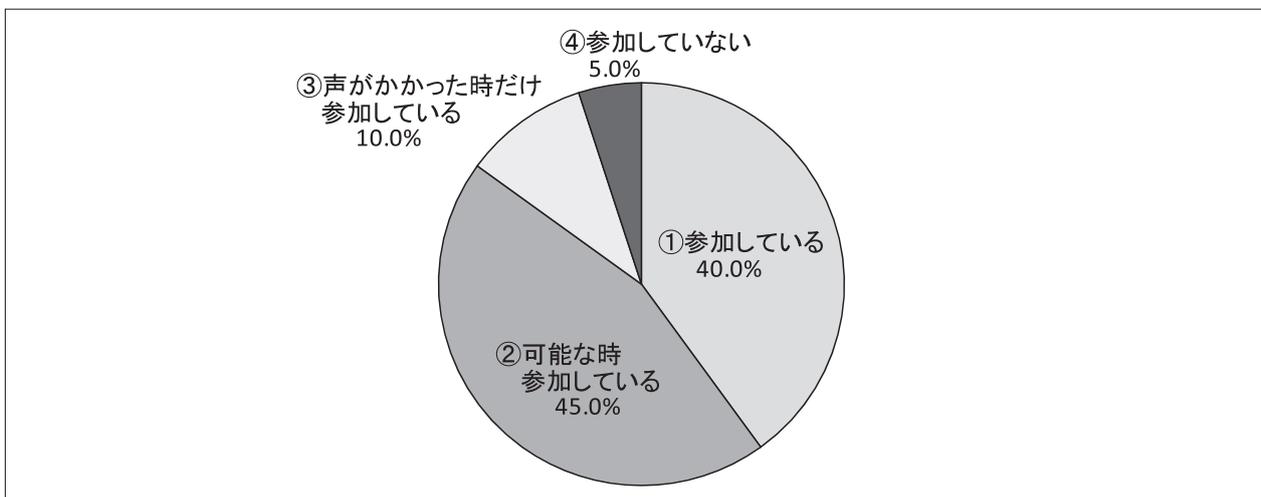
6. 院内カルテ等を利用して病名や検査値、処置の情報を確認して入院・外来の調剤を行っていますか？

	件数	割合
①必ず確認する	3	15.0%
②必要な薬剤に関して確認する	15	75.0%
③時々確認している	1	5.0%
④確認していない	0	0.0%
⑤回答なし	1	5.0%
合計	20	



7. 医師やコメディカルでカンファレンスを行っている中に薬剤師も参加していますか？

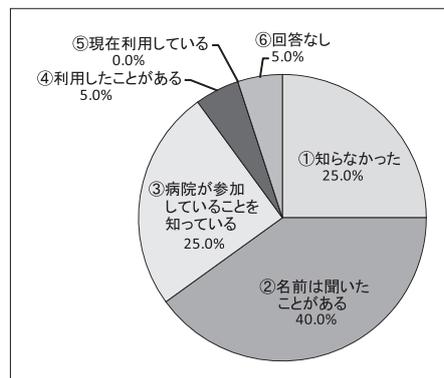
	件数	割合
①参加している	8	40.0%
②可能な時参加している	9	45.0%
③声がかかった時だけ参加している	2	10.0%
④参加していない	1	5.0%
合計	20	



No	施設名	8. 院内の医師や看護師など多職種の方とのコミュニケーションはどのように取られていますか？	9. 地域の薬局とのコミュニケーションはどのように取られていますか？
1	琉大病院	直接、病棟で会話をする、院内メールを使うなど	必要に応じてミーティングを持つ、随時問い合わせを受けている。
2	琉球病院		
3	沖縄病院	電話、メール、直接	年2回近隣の薬局との薬業連携の勉強会を実施
4	県立北部病院	日常業務の中で常に顔を合わせていると、自然とコミュニケーションが取れてくる。院内の行事に参加。院内講演会、歓迎会やBBQ、飲み会、etc	連絡会議の開催。 特別な薬が処方される場合、事前にこちらからかかりつけ薬局に情報の提供を行っている。公開講座、等
5	県立中部病院	対面、電話、院内メール	薬タッチャー等の勉強会、連絡会議（必要時近隣の薬局と）
6	県立南部医療センター・こども医療センター	院内イントラ及び紙での通知	
7	県立宮古病院	院内勉強会・各種委員会・院内行事の参加など	医薬分業連絡協議会
8	県立八重山病院	病棟にて、直に医師、看護師と確認している。情報共有したい場合は、医師、看護師に向けてカルテの『掲示板』など利用している。	お薬手帳を活用し、入院中の薬歴を記載し、かかりつけ薬局へ情報提供している。
9	那覇市立病院	病棟担当薬剤師、外来担当薬剤師が、担当スタッフとミーティング、カンファレンスを通して情報提供等をおこなって、コミュニケーションをはかっている。また、いろいろな医療チームに参加している中で、他職種とコミュニケーションをはかっている。他にも委員会等で他職種との会議をおこなっている。	以前は、定期的に地域の薬局と薬業連携をおこなっていたが、現在は、臨時的に集まりを行っている。また、院内での勉強会に近隣の薬局へ参加を呼びかけている。それから、メールにて情報を交換している。
10	中頭病院	必要時、会議、研修会等開催	1か月に1回、調剤薬局（主に門前薬局）との会議開催 地域全体で研修会、講演会開催（がん連携研修会、薬タッチャー等）
11	浦添総合病院	カンファレンス、多職種チーム回診（NST, DM, ICT、緩和ケアチーム、がん化学療法等）諸々の担当者会議など	本院主催の薬業連携勉強会の開催
12	大浜第一病院	普通に話をしている。	定期的な話し合いの場はないが、何か会で合った時に話をしている。
13	沖縄赤十字病院	病棟薬剤管理指導時 カンファレンス等	近隣薬局薬業連携勉強会 トレースレポート
14	ハートライフ病院	領域別勉強会の実施、病棟資料の作製、医師向け・看護師向け資料の作製、懇親会への参加	合同の勉強会の実施、連絡網の作製
15	豊見城中央病院	医局、病棟、各部署がOpenなのでいつでもコミュニケーションが可能	月1回の連携会議
16	南部病院	必要時に出向く	特に取ってない
17	中部徳州会病院	カンファレンスへの参加、回診への参加、院内メール、直接PHSで問い合わせしてる。	FAXによる疑義照会
18	沖縄協同病院	質問の意図がよくわかりませんが、普通にコミュニケーションとれていると思います。	門前薬局と月1回会議を開催しています。
19	中部協同病院	院内の各会議（病院診療管理会議、感染対策委員会、医療安全対策委員会、輸血療法委員会、糖尿病療養指導チーム委員会etc.）に参加	疑義照会記録等をFAXにて伝達
20	北部地区医師会病院	直接会って、電話、院内メール	主に地区薬剤師会事務局を通して

10. おきなわ津梁ネットワークについて 運用を開始して約3年になりますがご存知でしたか？

	件数	割合
①知らなかった	5	25.0%
②名前は聞いたことがある	8	40.0%
③病院が参加していることを知っている	5	25.0%
④利用したことがある	1	5.0%
⑤現在利用している	0	0.0%
⑥回答なし	1	5.0%
合計	20	



おきなわ津梁ネットワークの取り組み・  
医薬連携の実証運用について

比嘉 靖氏

砂川 香氏

＜医薬分業対策会議出席者＞

- 比嘉 靖 (沖縄県医師会理事、東部クリニック院長)
- 亀谷 浩昌 (沖縄県薬剤師会会長)
- 砂川 香 (ワタキュー薬局与儀店)
- 江夏 京子 (沖縄県薬剤師会副会長、医薬分業対策委員)
- 村田美智子 (沖縄県薬剤師会常務理事)
- 吉田 洋史 (医薬分業対策副委員長)
- 池間 記世 (医薬分業対策委員)
- 浅沼 健一 (北部地区薬剤師会会長)
- 仲真 良重 (会営薬局うえはら薬局長、医薬分業対策委員)
- 屋嘉比康作 (北部地区薬剤師会副会長、医薬分業対策委員)
- 伊佐 常隆 (中部地区薬剤師会会長)
- 新垣 秀幸 (南部地区薬剤師会会長)
- 仲座 方利 (中部地区薬剤師会副会長、医薬分業対策委員)
- 川満 直紀 (沖縄県薬剤師会常務理事、那覇地区薬剤師会会長、医薬分業対策委員)
- 川上雄一郎 (南部地区薬剤師会医薬分業担当者、医薬分業対策委員)
- 城間 盛光 (会営薬局医療センター前薬局長)
- 橋本 孝夫 (豊見城中央病院薬剤科長)
- 金城 雄一 (那覇市立病院薬剤師長)
- 姫野 耕一 (大浜第一病院薬剤科長、医薬分業対策副委員長)
- 荷川取直樹 (赤十字病院薬剤科長)
- 田中 健嗣 (ハートライフ病院薬局長)
- 川平 浩子 (沖縄県立中部病院薬局長)
- 照喜納良吉 (中部協同病院薬局長)

## 啓蒙・普及活動

## 沖縄県U・Iターンガイダンス参加報告

沖縄県内に勤務する薬剤師が慢性的に不足していることから、沖縄県薬剤師会におかれましては、沖縄県地域医療介護総合確保基金事業補助金を活用して、平成26年度より「薬剤師確保対策事業」を実施していただいているところです。今回、「薬剤師確保対策事業」の一環として、平成27年12月9日(水)に岐阜薬科大学、12月15日(火)に名城大学において開催されました「沖縄県U・Iターンガイダンス」に県の担当者として参加しましたので、ご報告します。

どちらの大学にも、薬剤師会からは前濱朋子副会長と無料職業紹介所責任者の大城喜仁係長が参加されました。両氏からは、主に薬剤師会に関すること、研修、訪問薬剤師などについてご説明いただき、当方からは、本県の薬剤師の現状と課題について説明しました。

まず、12月9日(水)の岐阜薬科大学についてです。説明会には、12名の学生が参加してくれました。その内、沖縄県出身者は11名でした。参加した学生の中には、学位の取得や薬局の開業に関することを質問する学生もあり、かなり早い段階から自分の将来のことをしっかり考えているように感じました。

次に、12月15日(火)の名城大学についてです。大学側の意向で、学生が説明会に参加

沖縄県保健医療部薬務疾病対策課  
津波 昭史



しやすいように、13時と17時の2回に分けて説明会を実施しました。説明会には、合計14名の学生が参加してくれました。その内、沖縄県出身者は11名でした。すべての学年の学生が参加しており、思ったよりも学生が本県での就職に興味を持っているように感じました。

どちらの大学にも言えることは、先生方が大変協力的であったこと、学生のみなさんが自分の就職についてとても真剣に考えていると感じたことです。今回、説明会の開催にご協力いただきました先生方には、心より感謝申し上げます。そして、説明会に参加された学生のみなさんには、しっかりと勉学に励んでもらい、薬剤師国家試験に合格し、ぜひとも薬剤師として本県に就職して欲しいと切に願います。

最後に、本県では、病院、調剤薬局、行政薬剤師、その他様々な職種における薬剤師が不足しているのが現状です。本県としましても、今後も薬剤師会のみなさまと協力しながら薬剤師の確保対策に取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力よろしく申し上げます。



ガイダンス終了後に記念撮影 (岐阜薬科大学)

啓蒙・普及活動

## 薬学部で沖縄県・沖縄県薬剤師会と沖縄県への Uターン・Iターン希望者への就職ガイダンスを開催



名城大学 薬学部事務室  
入試広報担当 主査 富永 武志

平成27年12月15日(火)、①13時10分からと②17時からの2回(同内容)、薬学部において、沖縄県へのUターン・Iターン希望者への就職ガイダンスを沖縄県保健医薬部薬務疾病対策課の津波昭史主任技師(薬剤師)、沖縄県薬剤師会の前濱朋子副会長(薬剤師・本学部卒業生)と沖縄県薬剤師会無料職業紹介所責任者の大城喜仁係長を招き、開催しました。

この催しは、平成26年度から5年間の予定で、沖縄県と沖縄県薬剤師会が薬剤師確保のために全国の薬科大学等で就職相談会を開催しており、名城大学では今回が初めての開催となります。

参加した学生からは、行政薬剤師、病院の薬剤師、薬局の薬剤師などいろいろな就職先のこと聞いて良かったとの感想がありました。

説明会後の個別の相談は、1時間以上にわたり、それぞれに丁寧に回答がなされ、熱心にメモを取る学生の姿がみられました。

亀井浩行就職委員長(教授)からは、このような機会がUターン・Iターン就職のことを知るきっかけになればいいですとの話がありました。



亀井教授



左から 前濱薬剤師会副会長、津波沖縄県主任技師、大城係長

啓蒙・普及活動

北陸大学で沖縄県U・Iターンガイダンスを開催



北陸大学 学務部 沖縄県担当  
山澤 千尋

北陸大学で“沖縄県担当”をさせていただいております山澤と申します。

本学薬学部には現在80人以上の沖縄県出身者が在学していることから、かねてよりお願いし、昨年12月18日（金）に沖縄県薬剤師会より、常務理事の川満直紀氏（薬剤師・本学卒業生）と無料職業紹介所責任者の大城喜仁氏の御二方にお越しいただき、沖縄県での就職状況の現在と今後について、学生に説明を行っていただきました。

また、ガイダンス終了後には、本学が主催する業界仕事研究セミナー内で、沖縄県薬剤師会ブースを設け、学生への個別説明も行っていただきました。誠にありがとうございました。

本学でガイダンスをしていただくのはこれで通算3回目となりますが、学生にとっては、

6年間という長い学生生活の節目節目に、薬剤師になって沖縄県で活躍するんだ！という入学当初の目標を再確認する大変良い機会にもなっております。是非ともこのような活動を継続し、定期的に本学学生を叱咤激励、また、温かく見守っていただきますこと強く願っております。

今後ともよろしくお願いいたします。



九州保健福祉大学での沖縄県U・Iターンガイダンス報告



こくら虹薬局  
大城 なつき

沖縄県薬剤師会の「薬学生へのUターン・Iターンの啓発事業」へ参加しました。私の母校である九州保健福祉大学に、去る平成27年12月3日（木）に沖縄県薬剤師会事務局の大城喜仁係長と訪問しました。

14人の学生が参加し、全員が沖縄県出身者で参加者の半分が1年生でした。低学年の時期から地元の沖縄に帰ることを考えてくれてありがたく感じました。学生のほとんどが病院を就職先として考えていました。

私は、学生達に、自分の仕事の経歴や薬局の仕事の話、沖縄に帰っても就職先が沢山あること、沖縄に帰ってきた同期生との交流が深いことを説明しました。学生からは、「新

卒で薬局に入るのは何人くらいか？」「病院や薬局の就職先を決めるポイントは？」などの質問がありました。熱心に聞いてくれる学生もいて、今回の事業で学生と交流を持ったことが少しでも彼らの就職を決める際の手助けになり、沖縄に帰ってきてくれたらいいなと思いました。

今後も沖縄県出身者の多い九州保健福祉大学へのUターン・Iターンの啓発事業を継続していただくことを望みます。



## 女性薬部会

# 女性薬剤師部会主催 漢方セミナー開催

日時：平成27年12月2日(水) 19:20～21:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

### <漢方セミナー開催にあたって>

女性薬剤師部会 村田 美智子

今回、株式会社ツムラとの共催で「漢方セミナー」を開催することになりました。

このセミナーは、平成27年度から女性薬剤師部会主催でスタートした清水正彦先生を講師に迎えての症例検討も含めた漢方講座とは別の形で行う漢方研修会です。部会活動としては従来の「漢方講座」とは区別する意味で、「漢方セミナー」としました。

今後も継続するかどうかは今のところ未定ですが、初回として「Naoko女性クリニック」高宮城直子院長の講演を拝聴しました。

内容の詳細を、やまうち薬局の池間加津美先生に報告していただきます。

### <漢方セミナー参加報告>

Naoko女性クリニック院長の高宮城直子先生が漢方薬についての講座を開かれると聞き、非常に興味があったので受講しました。

以前に、先生の講演で、ある女性が月経痛がひどい事でクリニックを受診。その女性の母親は娘の訴え(不定愁訴)に対し「自分は、全然症状ないのに、なんで娘は？」と、困惑されたというエピソードを話されました。その時は、一般向けの講演だったのですが、とても勉強になりました。

まず、不定愁訴とは、身体がだるい・疲れやすい・冷える・ほてる・めまい・耳鳴りなど症状は様々。その中で、婦人科3処方漢方薬、当帰芍薬散・桂枝茯苓丸・加味逍遥散が良く使用されるとのこと。

当帰芍薬散は、冷え性で貧血気味の人。むくみがひどい人にも効果あり。

桂枝茯苓丸は、比較的体力のある人のぼせ、循環障害の人。細い人でも瘀血がひどい人にも効果あり。(瘀血とは、血めぐりが悪くなっている状態。皮膚の色が悪くなったり、粘膜の色素沈着、月経異常等が起こる)

加味逍遥散は、女性の多彩な不定愁訴の人。不眠、イライラ、怒りやすい、訴える症状が多彩で変化する人に効果あり。



やまうち薬局  
池間 加津美

実際の症例をあげて説明。どれも「なるほど」と思えるような内容でした。

#### 【症例1】機能性月経困難症

18歳 女性 0経妊0経産 未婚 高校3年生

月経痛がひどい。下腹痛、腰痛、嘔気、嘔吐、めまい、冷や汗。アセトアミノフェンでの薬疹あり。漢方薬を希望。

X年 10/18

漢方的診察にて、軽度瘀血、軽度冷え、水毒、気虚にて、当帰芍薬散+補中益気湯が処方。ブスコパン(5mg)6錠分3処方。

X年 11/1

漢方服用し顔色も良くなり、疲労感も減った。肌の調子もいので続けたい。

X年 11/16

月経初日のみきつくて、塾を早退。月経2日目からは今までの月経に比べ楽。嘔吐、めまいなく、ブスコパンも服用しなかった。鎮痛のため芍薬甘草湯を屯用で追加処方。

<プログラム>

○あいさつ

○情報提供

◎講演 「不定愁訴と漢方」～婦人科漢方外来の立場から～

女性薬剤師部会 部会長 村田 美智子

株式会社 ツムラ

講師：Naoko女性クリニック 院長 高宮城 直子 先生

X年 12/10

下痢も減り、体調も良く喜んでいる。漢方1日2-3回内服中。

X+1年 1/21

芍薬甘草湯を飲むと痛みが和らぐので追加処方。漢方内服前より体調を崩すことが少なくなった。

X+1年 8月～X+2年 2月

受験に月経が当たらないようにと月経痛軽減目的にて低用量ピル処方。月経痛や頭痛にたいして芍薬甘草湯を内服。

X+2年 2/23

大学合格。月経1日目に2-3回、芍薬甘草湯を飲むと効く。下痢や軟便無くなり補中益気湯中止。

X+2年 8/10

月経時、腹痛もほとんどなく、当帰芍薬散を週2-3回内服中。

症例1では、当帰芍薬散で血行をよくし、補中益気湯で気虚を改善。

月経痛や頭痛に対して芍薬甘草湯が有効だったのが驚きだった。

**【症例2】更年期症候群**

47歳 女性 2経妊2経産 既婚 主婦

3年前から気分の落ち込み、イライラ、頭痛、肩こり、ホットフラッシュあり。春先になると肌荒れ（顔と全身）がひどい。

X年 6/21

漢方的診察にて、気逆、瘀血、冷えのぼせあり。加味逍遥散7.5g 分3 処方。

X年 6/28

体調楽になった感じ。漢方飲み始めて、2-3日間は眠たかった。心下ヒ硬やわらかくなっている。足の冷えやや改善。全身搔痒感

変わらず。アレルギー性鼻炎にて小青竜湯追加処方。

X年 7/26

あまりイライラしなくなり、夫が喜んでいる。小青竜湯は、屯用で服用しよく効いている。漢方を飲んでから、便がゆるくなり、1日2回。よく眠たくなる。

加味逍遥散を1日5gに減量。

症例2では、加味逍遥散でイライラは改善されたが眠気の副作用がでていたとのこと。加味逍遥散は体調次第で、体調を悪くする人もいたとのことでした。

**【症例3】月経過多と不整脈**

36歳 女性 0経妊0経産 未婚 会社員

月経過多。排卵日頃に不正出血。

X年 3/9

漢方的診察にて、瘀血、水毒あり。

桂枝茯苓丸加よく苡仁 7.5g 分3 21日分処方

子宮内膜：19.5mm

X年 4/20

月経時凝血ほとんどなし。不正出血あったが、薄いピンク色になっている。

子宮内膜厚：14.5mmと正常化。

症例3では、子宮内膜が19.5mmと厚かったのが桂枝茯苓丸加よく苡仁を服用することで子宮内膜厚を正常化した。

今回は、症例が5つありましたが、いずれも自分にとって勉強になる内容ばかりでした。今までなかなか漢方の勉強をする機会がなかったのですが、女性のからだの変化や漢方について改めて学ぶことができました。

## 女性薬部会

### 「翼」に乗って未来に馳せる



女性薬剤師部会  
部会長 村田 美智子

昨年より女性薬剤師部会事業の一つとして、県内女性団体との連携を深めるべく、「沖縄県女性の翼の会」活動に参加している。毎年「国際的視野に立った女性リーダーの育成と資質向上を図る」目的で女性の海外派遣事業が展開されているが、昨年の前濱朋子先生（県薬副会長）に引き続き、今年は私が参加したので簡単に報告したい。

今年度は5泊6日の「マレーシア&シンガポール」研修で、「女性の社会進出」「観光」「教育・医療・福祉」をテーマに掲げ、マレーシアを中心にそれぞれの現状、問題点、今後の方針等を学ぶ事ができた。

「女性の社会進出」においては、94団体を束ねるNCWO (National Council of Women's Organizations) を訪問した。政府の資金で運営されているNCWOは、女性の人権に関する研究を行い、独自の声明文を発表し、国の政策にも反映させるべく提言しているという。女性の社会進出には、育児、介護等の社会的支援と女性自身の意識改革が重要だと、抱える問題は日本、沖縄と共通であることを改めて認識した。

ただ、マレーシアの男性は、勤務時間が終われば上司等へ遠慮する必要もなく退社できる環境という。これは女性にとって大いに助けとなるであろう。今や男性優位のパイロットの分野にも女性が進出しているマレーシア、列席した女性起業家の、「いい仕事（能力）を示すことこそ第一義である」との発言には、襟を正す思いであった。

「観光」の部門で印象に残ったことは“ハラール”と“トイバン”である。ハラールとはイ

スラム法で“許されるもの”、特に食料品を指すようだが、ただ単に禁じられたもの（ハラム）以外の食料品ではないそうだ。栄養価、衛生、安全、品質保証等、普遍的に体に良いものを選択するという、トイバンという概念が加わってこそ真のハラールといえるそうだ。それには流通（トレイサビリティ）も重要となる。このトイバンこそ日本人には馴染んだ感覚であり、沖縄の観光においても、世界16億というイスラムの人々のハラールは、益々大きな可能性を示唆している。

「医療ツーリズム」も興味深かった。外国の医師も含め一流の医師による一流の医療を目指し、世界をターゲットにした空港（到着）から病院、さらに病院から空港（出発）までをスムーズに展開できるシステムになっている。病院の個室も見学したが、ホテルと見紛うほどの設備には感嘆するばかりであった。世界各国からの評価も高く、外貨の獲得に大いに貢献していると思われた。国家の強力な後押しで、短・中・長期的な戦略で実行されてきたそうで、苦情に対しても必ず国が関与して処理するそうだ。

国内的には、公的病院は予約しても診察に至るまで時間がかかることがあり、高価な民間病院にかからざるを得ないこともあるようである。国民が等しく受診できる日本の医療制度を壊してはならないと、つくづく思った。ちなみに、院外処方箋発行には至っていないという。

※後頁の転載記事コーナーに「県女性の翼 マレーシア・シンガポール研修報告」が掲載されています。

## 卸薬部会

### 平成27年度日本医薬品卸勤務薬剤師会 沖縄県支部会報告

日時：平成28年1月22日(金) 15:00～17:05

会場：株式会社スズケン沖縄薬品 大会議室



沖縄県支部事務局  
森下 彰久

この度、平成27年度日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部の研修会・懇親会を開催しましたので、ご報告致します。

1月22日に開催しました支部会の次第は次の通りです。

1. 報告事項	15:00～15:10
2. 伝達講習	15:10～15:50
3. 研修会	16:00～17:05

#### 【報告事項】

日本医薬品卸勤務薬剤師会 沖縄県支部  
支部長 吉富 弓江

- 卸勤務薬剤師会 沖縄県支部の活動内容について
- 実務実習薬学生の受入協力について
- 向精神薬の適正流通及び管理に関する監視指導の強化について

#### 【伝達講習】

株式会社 琉薬 森下 彰久

日本医薬品卸勤務薬剤師会福岡県支部 平成27年度(第34回)継続研修会の第1日・第2日の報告を行いました。本研修会参加報告については、おきなわ薬剤師会報に掲載予定です。

#### 【研修会】

「薬剤師の新たな取り組み

在宅医療支援薬局の普及」

沖縄県薬剤師会 在宅医療委員会

担当理事 荒井 千春 先生

在宅医療の訪問薬剤管理指導業務に関する基本的事項から在宅医療の実症例に至るまで

幅広く説明を行って頂きました。その一部をご報告致します。

○対象となる在宅患者は、保険医療機関又は介護老人保健施設で療養を行っている患者以外で、通院が困難な患者である。つまり、入院患者は受けられないが、寝たきりの患者のみではないことを理解することが出来ました。

○医療保険と介護保険の関係性、相違点の説明をして頂きました。医療保険と介護保険では介護が優先されることも再認識しました。

○保険請求については、“要介護認定・要支援認定を受けていない方”と“要支援1～2、要介護1～5の状態区分の方”で請求内容が異なる箇所がある。

○在宅業務を実施するためには事前の届出や掲示物の準備が必要である。

○在宅医療においては、コミュニケーションが特に重要である。

○小児在宅医療の実態については、学会で発表されたデータの紹介がありました。

ますます必要性及び重要度が増してくる在宅医療について、卸に勤務する薬剤師にも分かりやすい内容でした。今後の業務にも活かしていきたいです。

#### 【懇親会】

卸の勤務薬剤師間で様々な内容の情報共有をはかり、いつでも相談がしやすい状況をつくる良い機会になっています。そのため、今後も継続していきたいと思っております。



**(2) 講演2「卸薬剤師部会の活動について」**

日本薬剤師会卸薬剤師部会  
 部長 木俣 博文 先生

日本薬剤師会が2年前に策定した「薬剤師の将来ビジョン」中の第三章IVで、卸勤務薬剤師の現状と将来ビジョンが収載されている。我国の医薬品卸は世界に類を見ない高度な機能を有しており、その機能は、①物流機能、②金融機能、③販売機能、④情報機能、⑤災害・パンデミック時対応機能、と多岐に渡っている。中でも災害時の対応は去った東北大震災でもその優秀さが証明されたわけである。

これからの超高齢少子化社会の到来では、健康保険制度が米国式の低負担・低福祉に傾くのか、スウェーデン式の高負担・高福祉になるのか予測困難な状況であるが、卸に勤務する薬剤師として、国民皆保険制度の維持と薬剤師の必要性を社会にアピールし続ける必要がある。

**(3) 講演3「日本薬剤師会の諸課題について」**

日本薬剤師会副会長 石井 甲一 先生

昭和49年の分業元年から今日まで医薬分業は加速的に進展し、平成25年度の処方箋受取率はついに67%に達した。しかし、この処方箋枚数の増加は薬剤師の努力で成し得たものではなく政策誘導されたものであること、大手調剤チェーンの経営者の多額な報酬や一部薬局の薬歴未記載問題などにより、薬剤師はかつて無いほどの社会的バッシングの対象と

なっている。また、日本医師会もかつてのような大らかな対応ではなく、薬剤師会を敵視するような言動が目立つようになった。加えて、10月30日に財務省が公表した来年度の調剤報酬改定案は薬局経営が立ち行かなくなるほど極端な減額案となっている。

このような危機的状況に我々薬剤師は手を拱いている場合ではなく、これまで行って来た業績を広く社会に発信し、薬剤師業務がどれだけ社会貢献しているのかを正しく理解してもらう必要がある。

平成27年度に実施した調査では、①疑義照会による薬剤費の削減効果は年間約103億円、②薬局薬剤師による副作用回避医療費削減額は約133億円、③後発医薬品の普及促進による薬剤費の削減は約1兆円、など、ざっと数値化できる貢献だけでもこれだけ挙げることが出来る。

しかし、これまでの実績のみではなく社会が求めている「門前からかかりつけそして地域へ」を念頭に他の医療職と連携した地域医療への貢献を視野に置いたビジョンの実現もまた重要である。

(あとがき)

今、我々薬剤師の置かれている状況は大変困難な状況で、ここ2年ほどでこれからの薬剤師の存在が激変してしまうと思われます。薬剤師会会員の仲間と一致団結して、この苦境をチャンスに変えていけるよう頑張りたいと感じます。

**お知らせ****地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい！**

年々、地区（支部）、部会の活動が活発化しております。

是非“おきなわ薬剤師会報”へ活動・状況報告等を投稿して下さい。活動報告以外の情報も歓迎します！

## 卸薬部会

# 日本医薬品卸勤務薬剤師会福岡県支部 平成27年度(第34回)継続研修会報告(その①)

日時：＜第1日＞2015年11月4日(水) 10:00～16:00

＜第2日＞2015年11月26日(木) 10:30～16:00

会場：株式会社 アトル 本社 大会議室(3F)



株式会社 琉薬  
森下 彰久

この度、日本医薬品卸勤務薬剤師会福岡県支部主催の継続研修会に参加をする機会を得ました。本研修会は、4日間の日程(11月に2回、2月に2回)に渡り開催されますが、今回はその内11月開催の2回分を報告します。参加者は100名以上で会場は熱気に包まれていました。

＜第1日(11月4日)＞

①免疫チェックポイント療法 オブジーボ  
小野薬品工業

②高齢者の現状・課題、地域包括ケア等について

福岡県高齢者地域包括ケア推進課  
課長補佐 田嶋 浩俊氏

③小細胞肺癌 IV期の薬物療法について  
株式会社アステム 営業戦略部  
MC営業室 室長 前原 克章氏

各内容について簡潔にご紹介をさせていただきます。

### 【①の内容】

＜がん免疫療法＞

- がん免疫療法の変遷  
LAK療法、サイトカイン療法、ワクチン療法、免疫チェックポイント阻害薬
- がん免疫療法の今後の課題  
がんワクチン療法、免疫チェックポイント阻害/活性化、複合的免疫療法：免疫療法と他の抗がん剤との併用効果の検討

＜オブジーボ点滴静注＞

- ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体
- 作用機序は、PD-1とそのリガンドであるPD-L1及びPD-L2との結合を阻害し、がん抗原特異的なT細胞の増殖、活性化及び細胞障害活性の増強等により、腫瘍増殖を抑制すると考えられる。

＜ヤーボイ点滴静注液＞

- ヒト型抗ヒトCTLA-4モノクローナル抗体
- CTLA-4とそのリガンドである抗原提示細胞上のB7.1 (CD80) 及びB7.2 (CD86) 分子との結合を阻害することにより、活性化T細胞における抑制的調節を遮断し、腫瘍抗原特異的なT細胞の増殖、活性化及び細胞障害活性の増強により腫瘍増殖を抑制する。また、制御性T細胞 (Treg) の機能低下及び腫瘍組織におけるTreg数の減少により腫瘍免疫反応を亢進させ、抗腫瘍効果を示すと考えられる。

＜免疫関連の副作用

irAE (immune-related adverse events)＞

- オブジーボの市販直後調査631例中、367例(58.16%)に副作用の報告あり。内分泌障害7.13%、胃腸障害4.12%、肝胆道系障害3.80%、神経系障害1.58%等
- 副作用は治療が終了した後も発現することがある。
- ヤーボイによる副作用の基本的対処法  
軽度：ヤーボイの投与を継続、対症療法  
中等度：投与を延期、中等量の副腎皮質ホルモン剤を投与

重症：投与を中止

【②の内容】

- 利用者から見た現在の介護保険制度：  
利用者自らサービスの種類、事業者を選択  
民間企業、農協、生協、NPOなど多様な事  
業者によるサービスの提供  
所得にかかわらず、1割の利用者負担（2015  
年8月から2割負担も導入）  
福祉・医療のサービスを総合的に利用
- 日本の人口は近年横ばいであり、人口減  
少局面を迎えている。2060年には総人口が  
9000万人を割り込み、高齢化率は40%近い  
水準になると推計されている。
- 75歳以上人口は、介護保険創設の2000年以  
降、急速に増加してきたが、2025年までの10  
年間も急速に増加。2030年頃から75歳以上の  
人口は急速に伸びなくなるが、一方、85歳以  
上人口はその後の10年程度は増加が続く。
- 介護保険料負担者である40歳以上人口は、  
介護保険創設の2000年以降、増加してきた  
が2025年以降は減少する。
- 高齢者が住み慣れた地域で生活を継続でき  
るようにするため、介護、医療、生活支援、  
介護予防を充実させる。
- 地域包括ケアシステムの構築に向けた地域  
支援事業の充実として、Ⅰ.在宅医療・介  
護連携の推進、Ⅱ.認知症施策の推進、Ⅲ.地  
域ケア会議の推進、Ⅳ.生活支援サービス  
の充実・強化があげられる。
- 男性が、介護が必要となって原因として  
最も多いのは、脳血管疾患（脳卒中）や心  
疾患（心臓病）などの生活習慣病が全体の  
37.4%である。
- 女性が、介護が必要となった原因として最  
も多いのは、関節疾患や転倒・骨折などの  
ロコモティブシンドロームが全体の25.8%  
である。
- 認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラ  
ン）～認知症高齢者等にやさしい地域づく  
りに向けて～の概要が発表になっており、

その基本的な考え方は、「認知症の人の意  
思が尊重され、できる限り住み慣れた地域  
のよい環境で自分らしく暮らし続けること  
ができる社会の実現を目指す」である。

- 高齢者の約4人に1人が認知症の人又はその  
予備軍。高齢化の伸展に伴い、認知症の人  
はさらに増加。2025年約700万人（約5人に  
1人）と推定される。

【③の内容】

- 2008年の癌罹患数  
（男性）1位 胃、2位 肺、3位 大腸、4位 前  
立腺、5位 肝臓  
（女性）1位 乳房、2位 大腸、3位 胃、4位 肺、  
5位 子宮（全体）
- 2012年の癌死亡数  
（男性）1位 肺、2位 胃、3位 大腸、4位 肝  
臓、5位 膵臓  
（女性）1位 大腸、2位 肺、3位 胃、4位 膵  
臓、5位 乳房
- Ⅳ期非小細胞肺癌の1次治療 非扁平上皮  
癌、EGFR遺伝子変異陽性 PS0-1、75歳未満：  
EGFR-TKI単剤を行うよう勧められる。（推  
奨グレードA）
- Ⅳ期非小細胞肺癌の1次治療 非扁平上皮  
癌、EGFR遺伝子変異陽性 PS0-1、75歳以上：  
ゲフィチニブ単剤又はエルロチニブ単剤を  
行うよう勧められる。（推奨グレードA）
- Ⅳ期非小細胞肺癌の1次治療 非扁平上皮  
癌、EGFR遺伝子変異陽性 PS2：ゲフィチ  
ニブ単剤又はエルロチニブ単剤を行うよう  
勧められる。（推奨グレードA）
- Ⅳ期非小細胞肺癌の1次治療 非扁平上皮  
癌、EGFR遺伝子変異陽性 PS3-4：ゲフィ  
チニブ単剤を行うよう考慮してもよい。（推  
奨グレードC1）

<第2日(11月26日)>

- ④地域連携がんクリティカルパスの運用  
国立病院機構 九州がんセンター  
院長 藤 也寸志 先生

- ⑤乳がん JCHO久留米総合病院  
院長 田中 眞紀 先生
- ⑥睡眠障害と健康 福岡浦添クリニック  
院長 山口 祐司 先生

各内容について簡潔にご紹介をさせていただきます。

【④の内容】

- 男女とも、がんにかかる人の数は増加し続けていて、男性の62%、女性の46%が生涯でがんにかかる。
- 2015年の予測がん罹患数は約98万2100例で、2015年の予測がん死亡数は、約37万900人。
- 二次医療圏の将来人口に関するデータで、2025年の65歳以上人口の増加予測で沖縄県の八重山が第2位。
- がん地域連携クリティカルパスの運用状況で、沖縄県は43施設と非常に少ない状況。その理由としては、離島もあり各地区の病院で治療が完結されているため。

【⑤の内容】

- 2011年のデータで女性の罹患数が1番多いがんは、乳がんである(年間約7万2,000人)。
- 2013年のデータで女性の死亡数が1番多いがんは、大腸がんであり、乳がん(年間1万3,000人)は第5位。

- 乳がんの5年相対生存率(2003年～2005年)は、89.1%と乳がんの予後はよい。
- がん検診の目的は、がんによる死亡者を減らすこと。
- マンモグラフィは、安価で検査時間は短時間で、客観性があり、検査範囲は全乳房が入る。超音波は、安価で検査時間は短時間で、検査者に左右される。

【⑥の内容】

- 睡眠は単なる身体と脳の活動停止の時間ではなくて、昼間の活動に重要な影響を及ぼす適応行動であり、生体防御機構である。
- 国民全体の平均の睡眠時間は、約7.14時間。50年間で1時間減少している。
- 世界18ヶ国における1日の平均睡眠時間で、日本は韓国に次いで2番目に短い。
- 睡眠は、ノンレム睡眠(副交感神経緊張)とレム睡眠(交感神経緊張)から構成されている。
- 小学校の就床及び起床時間と学力偏差値の関係は、早寝早起きの子供ほど成績が良かった。

各領域担当の専門家から、直接臨床的な内容の話を伺うことができ、大変勉強になりました。まずは、各疾患に対する基本的な内容をしっかり理解していきたいと思います。

お知らせ

＜県薬が会員に販売している印刷物等＞

○国保総括票	25枚	1冊	100円	○お薬手帳カバー	1枚	22円
○市町村別請求書(その1)	50枚	1冊	160円	○薬歴カード	各1枚	5円
○市町村別請求書(その2)	1枚		10円			
○調剤報酬明細書	50枚	1冊	160円			
○管理薬剤師業務日報	1年分	1冊	600円			
○処方せん	100枚	1冊	160円			

(国保(本人・家族) 青色)  
(社保(本人) 白色)  
(社保(家族) 桃色)

【改訂版薄手お薬手帳】表紙色(薄青色) 14ページ 価格 税抜き 12円

【現行リニューアル版】表紙色(薄黄色) 34ページ 価格 税抜き 22円

## 日薬大会

## 第48回 日本薬剤師会学術大会参加報告

日時：平成27年11月22日(日)～23日(月)

会場：鹿児島県かごしま県民交流センター ほか5会場



株式会社 琉薬 城村 幹彦

## 1. 参加経緯

薬剤師会の学術大会は沖縄県薬剤師会主催の学術大会には参加していましたが、県外の大会は九山大会すら出たことが無かったのでチャンスを窺っていたところ、医薬品卸勤務薬剤師会・沖縄県支部の派遣研修が運よく当たり参加させて頂きました。個人的に九州では唯一、鹿児島だけ行く機会がなかったので、期待の鹿児島訪問となりました。

## 2. 会場周辺

11月22日(日)の初日からしっかり講演を聴きたかったので、前日の11月21日(土)の那覇→鹿児島直行便のソラシドエアで鹿児島入りしました。滞在中の天気はずっと曇天で、桜島も霞んでいました。

鹿児島市内の市民の移動は路面電車で、どこまで乗っても170円均一です。市内の至る所に石造りの歴史建造物があり、流石は明治維新の立役者を多数輩出した地元という感じですが。今大会の会場の一つであるかごしま県民交流センターも贅沢な造りで、同一敷地内に何やら昔の議事堂風の石造りの建物がありました。



鹿児島駅から観える桜島

## 3. 講演会概要

会場が6か所に分かれており、スケジュールもタイトで移動に不安があるため、予めお目当ての講演と会場移動の計画を練っておきました。今回ポスターセッションはパスして、11/22は医療在宅セミナー(11:10～12:10)→ランチョンセミナー8(12:30～13:30)→分科会9(14:00～16:00)→分科会6(16:10～18:10)、11/23は分科会13(9:00～11:00)→特別講演3(11:10～12:10)とフルに聴講して参りました。では、以下講演の概要です。

## 【在宅医療セミナー】

11月22日(日) 11:10～12:10 第8会場

(かごしま県民交流センター 県民ホール)

「キュア志向の病院医療からケア・

キュア志向の在宅医療へ」

ー地域包括ケアシステムの構築を目指してー

医療法人ナカノ会 ナカノ在宅クリニック

中野 一司 院長

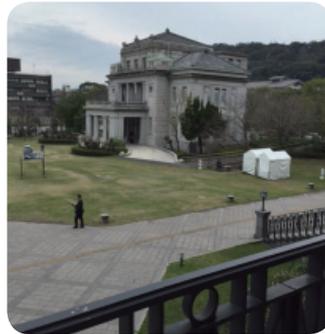
中野先生は東京理科大薬学部卒業後、鹿児島大学医学部で医師免許を取得され、現在はICTを活用した地域包括ケアを鹿児島で展開



市内の移動に便利な路面電車



立派な「かごしま県民交流センター」



同敷地内の史跡（議事堂か？）

されている異色の存在。

これまではキュア志向、つまり治す病院医療（急性期医療）ばかりが行われてきたが、超高齢化社会を迎えようとしている我が国でこのままの医療を続ければ何れ医療崩壊を来すことは明らかであり、医療崩壊を医療再生へとパラダイムチェンジさせるためにケア概念を加えたケア・キュア志向が必須である。ケアの志向とは、治る見込みの無い患者に無理な療法を施すのではなく、障害を持ったまま快適に過ごすことが出来るようにサポートすることである。薬剤師はキュア志向しか持ち合わせない環境にいたためにこの思考が欠落しているが、これからの地域包括ケアシステムでは専門性を発揮して貰いたい。

### 【分科会9】

地域に求められる「かかりつけ薬局」

～薬局の多機能化を目指して～

11月22日（日）14:00～16:00 第10会場

（かごしま県民交流センター 2F 大ホールB）

（分科会9-1）

薬局多機能化時代に薬剤師が行う一般用

医薬品の相談対応における課題と展望

東京薬科大学薬学部 渡辺 謹三 教授

政府が掲げる政策の一つに、セルフメディケーション推進のために薬局・薬剤師の活用促進があるが、一般用医薬品（OTC）販売において演者が感じていることは、これからの薬剤師に必要なことは、①健康相談を受けた

際の症例判断能力の向上、②医療用医薬品に偏ることのない、OTCと医療用医薬品の境目のない知識である。

（分科会9-2）

「かかりつけ薬局」が慢性腎臓病患者にできること

熊本大学大学院生命科学研究部（薬学系）  
薬剤情報分析分野 近藤 悠希 助教

我国では透析患者30万人に対して、透析予備軍ともいえる慢性腎臓病（CKD）患者は1330万人と実に成人8人に1人の割合で存在しており、65歳以上の高齢者では3人に1人と報告されている。

腎排泄型薬剤の場合、腎機能チェックに基づいた投与量の確認（疑義照会）が必要であり、特にロキソプロフェンに代表されるNSAIDsでは腎機能を悪化させるため、このような問題点の解決にも「かかりつけ薬局」の機能が十分に発揮されることが期待されている。

（分科会9-3）

うっかりドーピング“0”（ゼロ）をめざして  
ー長崎がんばらば国体2014における

薬剤師の活動ー

一般社団法人 長崎県薬剤師会 上島 泰二氏

2003年の静岡国体から毎年、各県の薬剤師会がドーピング防止に協力している。2014年に行われた長崎国体では、ドーピング・ゼロを目指して長崎県薬剤師会が一丸となって取

り組んだ。取組方法としては、①県薬会員の多くがスポーツファーマシストの資格を取得し中心的な役割を果たした。②ドーピングホットラインにより選手や指導者からの質問にメール・電話で24時間対応した。③ポスター・チラシでの啓蒙活動。④ドーピング防止相談薬局の設置とステッカーでの表示。などで、うっかりドーピングの防止に努力した結果、ドーピング・ゼロが達成できた。

(分科会9-4)

「かかりつけ薬剤師」の第一歩は禁煙支援から

大分県薬剤師会 伊藤 裕子 氏

伊藤先生は、大分県内の小児科の院内薬剤師として勤務しながら禁煙指導薬剤師として有名。

病院の受付カウンターの目立つところに「禁煙サポート」のステッカーを張ることで、患児の家族から相談を受ける機会が多い。院内では内服のチャンピックスと外用のニコチンパッチを選ぶようになっているが、禁煙成功例の70%がパッチであることから、薬局でも十分市販のニコチンパッチで禁煙支援が可能。啓蒙活動としては、お薬相談会などで「スパイロメーター」による肺機能の無料チェック、参考資料として「薬剤師のための禁煙支援実践ガイド：薬剤師会編」、ツールとして「禁煙支援アプリ」「禁煙日記」を紹介。

## 【分科会6】

鹿児島市・ナポリ市姉妹都市提携55周年記念  
国際シンポジウム

11月22日（日）16:10～18:10 第7会場

（宝山ホール）

ナポリ市と鹿児島市は姉妹都市盟約締結55周年を迎え、ナポリ大学教授でナポリ県薬剤師会会長でもあるヴィンツェンツォ・サンタガタ氏を迎え、シンポジウムの開催となった。

(分科会6-1)

信頼される薬剤師と薬局のための変革

ナポリの実例から

ナポリ県薬剤師会会長

Vincenzo Santagada 教授

イタリアは神聖ローマ帝国皇帝フリードリッヒ2世のサレルノ勅令により、世界で初めて1241年に医薬分業が開始された国で、ナポリ薬剤師会は1912年に設立された。イタリア全土の薬剤師数は10万人、ナポリ県では5千人で70%が女性。イタリア国内の調剤薬局数は18,201軒、ナポリ県では800軒、ナポリ市では308軒で。イタリアでは全ての薬剤師が薬剤師会（FOFI）に加入しており、FOFIは資格としての薬剤師の質を担保し、薬剤師と薬局の名誉を守るために活動している。イタリアの薬学部は5年制であるが、大学が提供している教育プログラムに加えて地域薬剤師会が薬剤師の資質向上のために積極的に自己研鑽と知識習得の環境を提供している。日本と同様に過去には、薬局は単なる医薬品の供給場所であると考えられていた時期もあったが、今や地域に健康サービスを提供する機能を担う場所へと変化しつつある。

(分科会6-2)

姉妹都市・鹿児島市薬剤師会の歩みとこれから

公益社団法人 鹿児島市薬剤師会 原 浩一 氏

鹿児島県薬剤師会は会員数740名で、平成25年4月からは公益社団法人へ移行した。鹿児島県薬剤師会の特徴は、学校薬剤師活動に力を入れていることで、7つの離島を含めて全ての学校に薬剤師を配置し、学校でのお薬相談会や市民公開講座の開催、老人クラブでの健康教室、妊婦健康相談、夜間救急薬局の運営、など薬業の進歩発展に取り組んでいる。反面、鹿児島県には薬学部が無く、薬剤師が不足しており人材の確保に苦労している。

(分科会6-3)

### 日本における病院薬剤師の活躍

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院  
薬剤部 武田 泰生 薬剤部長

それまで外来患者への投薬が主な業務であった病院薬剤師の業務は2000年以降、院外処方せんの増加と自動分包機や自動一包化装置など調剤の自動化が進み、入院患者への服薬指導と薬剤管理等の「病棟薬剤業務」と「薬剤管理指導業務」へ大きく変化した。薬剤管理指導は患者の不安や疑問を解消し、その際に得られた情報を医師や看護師にフィードバックすることでより良い医療の実現を図ることを目的とした業務である。一方の病棟薬剤業務はチーム医療の中で薬学的管理を包括的に行い、医療スタッフの負担軽減を図ると共に医療安全の向上への貢献を担う業務と言える。

(分科会6-4)

### 日本の薬剤師の職能について

～これからの高齢化社会における  
政策的議論の方向性から～

東京薬科大学薬学部 益山 光一 教授

我が国は、世界に類を見ない超高齢化社会の到来を間近に控え、高齢者に対する多剤投与の問題や副作用の防止など、薬剤師の薬物療法における責務は重く、これまで以上の職能の発揮が期待されている。今、我々は健康長寿の維持・推進と医療費削減への貢献にいかに関わるか重要な時期に置かれている。

(分科会6-5)

### 欧州における薬剤師の職能開発と展望

－イタリアの医療制度解説も含めて－

新潟薬科大学 健康推進連携センター  
小林 大高 教授

医薬分業が世界で初めて取り入れられたイタリアに於いて薬局は、長い間薬局保護政策に守られてきたが、21世紀に入り世間の厳しい批判が集まるようになった。また、2006年

の規制緩和によりパラファルマシーという一般用医薬品の販売が薬局以外に解放されるようになり、日本における大型ドラッグストアやスーパーマーケット内に販売店が設置されるなどの変化が起きた。このような薬局クライシスにイタリアの薬局では、健康増進全般に他職種と協働していこうとする動きがあり、薬局の2階に理学療法や作業療法のスペースを設置したり、看護師の配置で保健指導や栄養指導に薬局を活用しようとする動向も見られる。これからの日本の薬局の方向性に参考となるであろう。

### 【分科会13】

あなたならどう読む医薬品添付文書

～添付文書の奥にある情報～

11月23日（月）9:00～11:00 第7会場

（宝山ホール）

(分科会13-1)

### 医薬品添付文書をどう読み、どう活用するか

慶応義塾大学薬学部 望月 眞弓 教授

添付文書とは医薬品使用に当たり「リスク最小化活動」の一貫であり、最も基本的な情報源である。

ただし、最小限の情報源なので、薬物動態や代謝についての詳細は「インタビューフォーム」の参照が必要となる。また、適用外使用の情報は掲載することができないことになっている。

添付文書の情報を正しく理解するためには、有機化学、薬理学、製剤学など様々な薬学の知識の習得が不可欠である。さらに、最新情報の入手にも心掛ける必要がある。

(分科会13-2)

### 添付文書の法的意義

～添付文書に従わない処方～

中外合同法律事務所 赤羽根 秀宣 弁護士

赤羽氏は薬学部卒業後、弁護士資格を取得した稀有な存在。医療裁判において添付文書

がどのような証拠として扱われるかについて解説された。

平成26年に薬事法が医薬品医療機器等法に改正された際、薬害防止の条項（保健衛生上の危害の発生及び拡大の防止）が追記された。これに伴い、添付文書記載事項が届出制となり、添付文書がより重要性を持つこととなった。添付文書に記載されない使用方法（適用外使用）により医療事故が発生し裁判となった場合には、原則義務違反（過失）が問われることとなる。ただし、「特段の合理的理由」（エビデンス）が証明されれば過失とは判断されない。また、適用外の使用については事前に患者または家族への説明と同意が必要である。

薬剤師の立場からすると、適用外使用の薬剤を投薬する場合には処方元Drへの疑義照会が必須であり、アンケート調査からもDrの80%がそのように回答している。

(分科会13-3)

#### 添付文書逆読みの勧め

##### ～添付文書情報と副作用マネジメント～

名城大学薬学部 大津 史子 教授

我々薬剤師は患者への投薬の際、添付文書の上段から読み始め、効能や副作用についての服薬指導を行うが、これでは「薬学的知見に基づく指導義務」を果たす上では不十分である。患者の症状や訴えをモニタリングしマネジメントする副作用マネジメントには、添付文書の最後から読む「逆読み」を勧める。いつもは、あまり見ない裏面の薬効・薬理や代謝などを理解した上で副作用の項目を見れば、より理解が得られやすくなるというものである。さらに、情報が足りない場合はインタビューフォームから情報を補足し薬の基本的情報を読み込むことで、表の効能書きの意味が理解できるようになり、薬剤師業務の薬理学知見に基づく指導・助言に繋がることになる。

(分科会13-4)

#### 薬剤師と母乳育児

大分県薬剤師会 (株)永富調剤薬局  
多田 貴彦 氏

授乳中の服薬指導において、添付文書からの情報だけでは適切な服薬指導が出来ないと考え、大分県では平成21年に産婦人科医・小児科医・薬剤師会で「母乳と薬剤 研究会」を発足させた。

まず、母乳育児のメリットであるが、①感染症罹患率の低下、②免疫修飾作用の増強、③母子の受容形成の促進、④成長、発達への好影響など様々な利点が挙げられる。反面、授乳期の母親の実に80%が服薬に不安を抱いているとのデータがある。多くの薬剤で、「投与中は授乳を中止させる」「授乳を避けさせる」といった添付文書の記述が見られるが、その根拠は母乳中への薬剤の移行事実のみであることが多い。本来は母乳中への移行割合と乳児の母乳摂取量から乳児への薬剤摂取量を計算し安全性を判定するなどの科学的根拠を基にしたデータベースの活用が望まれる。

大分県では米国国立医学図書館ウェブサイトLactMedを参考に、平成22年「母乳とくすりハンドブック」を完成させ、臨床現場で立てている。

#### 【特別講演3】

##### 超高齢社会における地域医療のありかた

11月23日（月）11:10～12:10 第7会場

(宝山ホール)

産業医科大学医学部公衆衛生学教室  
松田 晋哉 教授

現在、国家予算支出の内、じつに約40%が社会保障関連の予算となっている。さらに今後、医療費は2015年から2025年の10年で1.5倍になると予想される。

現在の医療費は6割程度が医療保険で賄われ、残りの4割が税金で補われている状況である。

若年層で非正規雇用人口が増大傾向にあ

り、収入の少ない世代に負担を負わせることが難しいことに加え、少子化で今後の保険制度の維持は極めて困難な状況に置かれているといえる。

日本の医療費対GDP比は10%と一見すると他のOECD加盟国に比べて高くはないように見えるが介護保険を含めると上位にランクされる。診療現場の実情を考えると、今の制度のまま病院（医師）に今以上の努力を求めることは不可能である。つまり、医療サービスの提供体制のパラダイムシフトが求められている。2025年までに急激に増加する高齢化は慢性期医療をいかに自宅や介護施設などの地域で対応するかであるが、今後急増する肺炎、骨折、脳血管障害患者への対応が急務となる。

現在の地域包括ケア構想では、薬局と歯科診療が上手くマッチングできていない現状があり、薬剤師がプロフェッショナルとして自立し、多剤投与の適正化などの医薬品適正使用への貢献や個々の患者への服薬指導などの「治療的健康教育」への参加が期待されている。

#### 4. 感想

業界紙や新聞などで医療費抑制や調剤報酬に関する報道がありますが、今回の講演会に参加して、本当に医療制度は激変と表現しても良いほど急激に変わりつつあることが肌で感じ取ることが出来ました。厚労省の医療政策に携わる産業医科大学の松田教授の講演では、はっきりと将来の保険医療を破綻させないためには医療費の抑制は最早待ったなしの状況で、来年からの連続薬価改定と調剤報酬の見直しは、単に手を付けやすいところを狙っただけで、次は診療報酬本体も無事では済まないだろうと断言していました。これを、何もせずに朽ち果ててしまうのか、好機と捉えて地域医療に積極参加するのは、我々薬剤師一人ひとりに課せられた大きな試練だと思います。

## 会報原稿募集のご案内

### 広報委員会



おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。広報委員会では、会員の皆様からの原稿や作品を多方面にわたり募集致します。活発な御投稿をお待ち致しておりますので、是非、御協力下さいますようお願い致します。

#### 【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

#### 【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します（薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です）。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

#### 【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

#### 【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集しております（手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します）。

#### ☆原稿送付先（会報に関する問い合わせ）

沖縄県薬剤師会事務局 大城まで 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10  
TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

## 月例相談会

## 第128回健康とおくすり相談会報告

日時：平成27年11月21日(土) 9:00～17:00

場所：うるま市健康福祉センター うるみん

担当：中部地区薬剤師会

ゆい薬局  
瑞慶山 正代

2015年11月21日、うるま市主催で「うるみん健康・福祉まつり」が開催されました。健康福祉センターうるみんでは様々な活動報告や、手作りコーナー、野菜の販売などがあり、そこで中部地区薬剤師会として「健康とおくすり相談会」のコーナーをもち地域の方々と健康相談を行っていました。今回初めて参加いたしましたので、報告させていただきます。

「健康とおくすり相談会」は9時～17時迄の間行われ、その間、健康に関して相談を希望される方々が訪れていました。血压測定を始め、体組成分析測定、動脈硬化測定器で健康チェックを行った後に結果シートが発行されこれを基に今後の健康管理のアドバイスを行いました。

結果シートには、体の構成、タンパク質、ミネラル、体脂肪のバランスの表示がされます。また骨格筋と脂肪の割合の表では体の様子を違う角度から知る事ができます。栄養評価項目もあり、食事の取り方の参考になる資料になります。それらを総合し適正体重から、調整すべき体重と脂肪量が示され今後の指標がわかるようになっています。基礎代謝量の算出もあり日々の食事の摂取の目標がしめされ、食事の留意点を知るきっかけになります。

これらの参考値を見ながら、今現在の課題を確認し、日常生活に生かし、健康維持を行うことが客観的に把握できます。参加された皆さんは参考になり喜んでいる様子が伺えました。

一部紹介いたします。その方は健康のためにタバコをやめたが、その反動で食事がおおいしくいただけるようになり、太ってしまった。血压も高めになってきたとのこと。やせるにはどうしたらよいのかという相談で

した。生活をお伺いすると早食い、間食が多く、運動していないといった生活がみえてきました。特に大きな疾患は今ないとのことですが、体脂肪等の結果シートでは肥満の傾向はあり、減量が今回の目標であることがみえてきました。

その方は相談を行っていく中で、自分の生活の不規則さ、食事に偏りがあること、運動するにはどの時間が適切に気づき、ではどうしたらいいかまで、ご自分で答えをだされました。その方は問題をわかっていたが、解決できない状況にあったことを短時間ではありましたが、相談することによって、自ら出来る事から始める決心をされたことは大きな成果だったと思います。

「薬剤師は、調剤、医薬品の供給その他薬事衛生をつかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする。」

(薬剤師法第一章第一条)

この法の下に薬剤師として働いてきたことを思う時に、昨今、健康に関しての関心が高まっていると感じます。「国民の健康な生活を確保するもの」とありますようにこれらのことを踏まえ予防医学の面でも私たちの働きが求められていることを知り、これからも現場で、地域で働きかけを行っていきたいと思っています。



写真提供：中部地区薬剤師会

## ■健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

- |          |          |         |         |        |          |
|----------|----------|---------|---------|--------|----------|
| ○ 蒔 初子   | ○ 池原 智香子 | ○ 伊佐 常隆 | ○ 江夏 京子 | ○ 後藤 愛 | ○ 瑞慶山 純子 |
| ○ 瑞慶山 正代 | ○ 照屋 洋子  | ○ 福地 健治 | ○ 普久原 隆 | ○ 前濱 渚 |          |

## 地区だより

### 石垣市健康福祉まつりに参加して

日時：平成27年12月6日(日) 9:00～16:00  
会場：石垣市健康福祉センター



とのしろ薬局  
坏 徳子

去る12月6日(日)、石垣市健康福祉センターにおいて、毎年恒例の「石垣市健康福祉まつり」が開催されました。「健康福祉まつり」は「障がい者週間 市民の集い」と合わせて開催されるので、多種多様なブースがあり1日飽きずに楽しめる祭りとなっています。今年も体力測定、骨量測定、バザー、牛汁、ヘルシー料理とその試食会、手話体験などなどあり、八重山薬剤師会は「お薬相談と調剤体験」での参加でした。

子供を対象にしたお仕事体験は、子供にとっても人気が高く、その職業に興味を持ってもらう良い機会でもあります。ブースの机には調剤体験用として、錠剤の分包をする分包機と、シロップ剤の調合をするメスシリンダー、そして薬剤師のユニフォームである白衣を用意しました。

薬剤師会ブースはすぐに、3才から小学校低学年位の子供達で長蛇の列となりました。錠剤に見立てたマーブルチョコレート、ひとつずつマスに入れて分包するのですが、まず白衣を着てから開始です。どの子も少し緊張して、慎重に丁寧にひとつずつ錠剤チョコをマスに入れてゆきます。分包機のスタートボタンを押すと、下から分包された錠剤チョコがガチャンガチャンと出てきます。ちょっと得意げで嬉しそうな表情に、周りからは歓声と拍手が沸き起こり、とても盛り上がりました。分包機の順番を待っている間に、シロップ剤の調合ができるように順番を入れ替える事もありました。シロップ剤に見立てたオレンジジュースやカルピスが並んでいる中から好きな物を選んで、それぞれ20ml位ずつ指定量をカップに混合します。メスシリンダーの目盛りとにらめっこしながら計り取るその姿は真剣そのもの。その後はその場

で出来立てのシロップジュースを試飲できるのですが、ちょっと喉が渴いていてもう少しジュースを飲みたい子は、指定量よりもわざと多めに入れたりして、微笑ましい場面もありました。白衣を着て、自分で調合したシロップジュースで喉を潤し、分包されたチョコレートを手手に記念写真を撮って体験は終わります。

朝から続いた長蛇の列は夕方まで途切れる事なく、調剤体験を楽しんでくれた子供達は合計164名でした。現在はどこでも慢性的な薬剤師不足だと聞いていますが、石垣は特に不足状態が深刻なので、この中のたとえ一人でも薬剤師となり石垣で働いてくれたらと願う次第です。そのためには、薬剤師が憧れの職業となり、石垣に住みたい場所となる事が大切ですから、私もそれを踏まえて頑張らねばと思いました。

大人を対象とした「お薬相談コーナー」も設けていたのですが、子供の体験が終わるといそいそと別のブースに移動してしまう方が多く、「お薬相談コーナー」に立ち寄る流れができていなかった為か、お薬相談コーナーの相談員は出番がありませんでした。来年は体験が終わっても次はお薬相談コーナーへ立ち寄るような流れを作って、健康増進のアドバイスなどのユンタクができるよう工夫できたらと思います。



写真提供：八重山地区薬剤師会

#### ◆啓発活動員（五十音順・敬称略）

- |        |        |        |        |       |        |
|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| ○坏 徳子  | ○荒谷 敏巳 | ○石垣 綾子 | ○大浜 貴子 | ○岡林 薫 | ○金城 智史 |
| ○幸地 良信 | ○佐久間長昭 | ○新嵩 由香 | ○宮良 善朗 | ○森 巧  | ○山城 専  |

## 投稿

## ツール・ド・おきなわでのシャペロン体験

2020年の東京オリンピックに向けて内外のスポーツ熱は高まる一方です。そのような動きの中で地味ながらもっとも大切なのは正々堂々と戦う“アンチ・ドーピング”の精神と言えましょう。我々、日本アンチ・ドーピング協会（JADA）認定スポーツファーマシスト（SP）は、そのための情報提供、選手や学校の児童生徒などへの啓発活動に携わっています。特に沖縄県では、昨年から県体育協会内にファーマシスト部会を設立させ、予算も付けてその支援をしていただいています。今回はその仕事の一環として、標記競技のシャペロン（通告者）を体験してきましたので報告したいと思います。

去る11月8日（日）、この時期の沖縄での恒例行事となった自転車レースである“ツール・ド・おきなわ”の男子チャンピオンロードレース（210km）がドーピング検査（尿検査）の対象レースとなっています。我々2名（金城礼尽さん；すこやか薬局薬剤師）と前日より会場である名護市に入り、レースのゴール兼ドーピング検査室である21世紀の森公園内の労働福祉センターで説明を受けました。我々が務めたシャペロンというのは、ドーピングの実施の流れの中で、対象の選手に通告し検査室まで連れてくる一番はじめに選手に関わる役です。まずはシャペロンが検査通告をし、相手の身元を確認し検査室まで同行します。通告を受けてから検査室に入るまでは、選手はシャペロンの目の届く範囲で行動しなければなりません。（ドーピングに）同意するサインをしてもらい、「ドーピング・コントロール・パス」を渡します。検査前には、シャペロンが持参した飲料（3本のペットボトル）からどれでも選手に選んでもらい開封前に密封状態を確認した上で飲んでもらうことができます。その後、採尿カップを渡すというのは、本部から来たドーピングコントロールオフィサー（DCO）の役割です。



JADA認定スポーツファーマシスト  
笠原 大吾

今回のドーピング対象者は優勝者とランダムに選んだ2名の合計3名でした。自分の通告対象者は外国人選手で、ゼッケン番号を確認した後、確保して連れてこなくてはなりません。自転車レースなので、ゴール後もかなりのスピードで移動してしまうので走って追いかけることも想定して無線で連絡を取りながら緊張して待ちます。ゴール後、無事確保。英語で対象者として選ばれたことと身分証明書の提示等の通告を行い、飲み物を選んでもらい、サポートカーまで同行です。通訳を連れて検査室まで同行して、DCOに引き渡すまで久々に緊張した時間を過ごしました。

心地よい疲れの中で業務は終了しました。思ったのは、昨今のロシアの陸上界の国ぐるみのドーピング疑惑を例にするまでもなく、このような不正な行為、さらにアスリートの健康をも害する行為が相変わらず横行している現状から少しでもそうならない環境を醸成する役割の一端を担っているのがSPの役割だということです。この認定制度は全世界でも日本にだけあるということで、ここ沖縄でも大いに広めて認定者を増やしたいと思います。沖縄県は特に一流のアスリートが合宿や調整等で訪れる場所ですので、SPも意識が高いことが求められるような環境ではないかと思っています。

今回、このような貴重な機会を与えていただいた、沖縄出身の（公財）日本自転車競技連盟選手強化部の比嘉健太郎さんに深謝します。



シャペロンのユニホームを着用して  
金城礼尽さん(右)と一緒に

## 投稿

# 粟国島に初めてできた薬局で勤務してみても

理事 笠原 大吾

皆さんは粟国島がどこにあるかご存知でしょうか？

去る11月2日、沖縄県の小離島の一つである粟国島に初めてできた調剤薬局の薬剤師が勤務を休むために交代して勤務してきました。船便しかアクセスがなく、1日の勤務に前後泊して都合3日間島に滞在しましたが、その印象について紹介したいと思います。

那覇の北西約60kmに一島一村の粟国島（沖縄県島尻郡粟国村）があります。人口は約750名、島の医療機関は、県立病院の出先の診療所が1箇所、学校も粟国村立粟国幼小中学校1校のみです。

交通アクセスは、1日1往復の片道2時間10分かかる“フェリーあぐに”と1日3便の片道約20分の第一航空の“BN2アイランダー”です。しかし、今年8月の事故で、島に行ったときには船便のみしかありませんでした（現在は、飛行機も運航を再開しています）。

粟国島の住民は、今までは村の診療所で受診してそこで薬をもらっていました。また、島の特別養護老人ホームに入所している利用者は、その薬を県立南部医療センターの前の“会営薬局医療センター前”で調剤したもの（概ね60日分）を飛行機で空輸していました。もちろんOTC薬は、住民が沖縄本島に行った際に、まとめて購入するといった状態でした。このような（薬局のない）小離島が沖縄本島の周りだけでもいくつもあります。なぜ薬局がないかという、おそらくこの人口では調剤薬局は“儲からない”からでしょう。



この薬局は、診療所の医師による島の特別養護老人ホームに入所者の処方せんを調剤することが最大の目的だそうです。さらにOTC薬の供給も含め島民のセルフメディケーションの維持という、薬局の基本的かつ大切な役割を持っていると言えます。設立にあたり県の補助も入っているとききましたが、問題なのは人材の確保です。現在は、薬剤師、医療事務各1名で勤務しています。医療事務の男性はうちなーんちゅですが、薬剤師は内地出身の女性です。勤務している薬剤師とお話をしました。離島医療に興味があるとのことですが、もちろんそういう方でないとなかなか勤まらないと思います。どのように長期間勤めていただけるかという工夫が必要でしょう。

勤務したところ、診療所からの処方箋が1日で10枚程度、あとはOTC薬を購入する方の来局でした。特に忙しいということはありませんでしたから、一度体験してみたいかでしょう。飛行機の運航が再開しましたので、手伝う場合は、その日の朝一便で島に入り、勤務終了後はその日のうちには帰れないので、一泊して翌朝一便で那覇に戻れば良いと思います。

粟国島の観光は、小さな島ながらなかなか見どころの多い島でした。隣の渡名喜島は、自分も学校薬剤師で年に頻回訪れる島ですが、人口規模で比べてみても、売店（JA）もあり、生活するにはなかなか便利な島と感じました。このような貴重な体験ができたのは県薬会員である薬剤師の岡野先生、医療事務の知花さんのご縁です、ここに感謝します。

最後に、粟国島は、自分が来沖時すぐに観た映画“ナビィの恋”のロケ地として有名になった場所です。15年来の願いがかなって今回来島することができました。ロケ地の各場所も廻りました。この原稿を書いているときに、奇しくもナビィ役の平良とみさんの訃報に遭遇しました。

合掌

## 薬事情報おきなわ No.237

2016年1・2月号 : Vol. 31 No. 1  
薬事情報センター TEL : 098-963-8931  
FAX : 098-963-8937

## Medical News

## ●子宮頸がんワクチン接種有無「症状違いなし」～名古屋の調査（共同通信 12月14日）

子宮頸がんワクチン接種後に全身の痛みやしびれが報告されている問題で、名古屋市は14日、約7万人を対象に調査し、3万800人が回答した。市によると「物覚えが悪くなった」「ひどく頭が痛い」など、24項目について症状の有無を質問。専門家が回答を分析したところ、子宮頸がんワクチンの接種者と未接種者との間で、統計的に明確な差は確認されなかった。

## ●インフルワクチンで副作用264件～化血研（朝日新聞 12月17日）

化学及血清療法研究所は今季のインフルエンザワクチンについて、出荷を始めた10月下旬から11月末までに副作用報告が264件あり、うち18件が重症だったことを明らかにした。厚生労働省によると、他社製の副作用報告などと比較しているが、化血研製に重い副作用が特に多いわけではないという。主な症状は、接種部位の腫れ45件、発熱35件、じんましん12件など。重い症状は、激しいアレルギー反応が出るアナフィラキシー反応、低血圧などだった。死亡は1件あった。

## ●お薬手帳、窓口負担引き下げへ…同じ薬局利用で（読売新聞 12月24日）

厚生労働省は2016年度の診療報酬改定で、「お薬手帳」に関する窓口負担を引き下げる方針を固めた。手帳の利用を促し、患者が「かかりつけ薬局」で服用歴を自己管理しやすくする狙いがある。厚労省などによると、手帳の所持や持参は任意のため、窓口負担を嫌う患者が交付そのものを拒否するケースもあり、薬の処方全体のうち約2割は、手帳への記録がないまま行われているという。

## ●高齢者への多剤投薬対策、厚労省検討案に「上下関係」の壁？（読売新聞 12月28日）

厚生労働省は来年度の診療報酬改定で不適切な多剤投薬を減らす方針を掲げ、今年度中に具体策を詰める。いくつもの病院に通う高齢者の服薬情報を集めて管理する「かかりつけ薬局」が多剤投薬を見つけて医師に連絡する。国内外の学会などが作成した高齢者には避けるべき薬のリストを参考に医療機関が不適切な投薬を自ら減らしたり他の医療機関に連絡したりする——などが検討されている。投薬を減らした医療機関や薬局への診療報酬を手厚くする方針。

## ●薬剤師訪問、生活保護受給者の過剰処方改善へ（共同通信 1月28日）

一部の生活保護受給者が同じ病気が必要以上に医療機関を受診する「頻回受診」や過剰に薬剤の処方を受ける「重複処方」が問題となる中、厚生労働省は2016年度から新たな防止策を導入する。薬剤師や看護師が受診や処方の頻度が高い受給者の自宅を訪問し健康状態や薬の飲み方をチェック。不要な受診や処方があれば改善を指導する。受給者の医療費は「医療扶助」として公費で全額負担。新たな防止策では、毎月、受給者のレセプトを分析し、同じ病気でも15日以上以上の通院を3カ月以上続けている人や、同じ月に同じ薬を何度も処方されている人を抽出。

ケースワーカーに加え、病気や薬の知識を持った看護師や薬剤師も新たに訪れる。不要な受診を控えたり安価なジェネリック医薬品を使ったりするよう促す。その後の状況を確認し、改善されない場合は再び指導。糖尿病などの生活習慣病を早期発見し、重症化も防ぐ。

## ●バイアル最適化で医療費減—抗癌剤を廃棄せず有効活用（薬事日報 1月15日）

単回使用バイアルを複数回使用する施策を導入、使い切れずに残った抗癌剤の廃棄量を減らすことにより、年間最大で約400億円の医療費削減効果が得られることが、慶應義塾大学大学院経営管理研究科の試算で明らかになった。残薬の問題は、保険薬局や在宅医療の現場で内服薬を減らす取り組みが殆どで、注射剤の残薬については注目されていなかった。米国を中心に進められているドラッグ・バイアル・オプティマイゼーション（DVO）の施策導入による医療費削減効果について分析した。

## ●タミフルの10代処方、解禁検討 来年度から厚労省調査（毎日新聞 1月20日）

ベランダからの飛び降りなど服用後の異常行動が指摘され、2007年から10代への処方が原則禁じられているインフルエンザ治療薬「タミフル」について、厚生労働省は処方を解禁するかどうか最終的な検討を来年度から始める。禁止後の調査で、服用と異常行動との因果関係を示す結果が出ていないため、3年以内に結論をまとめる方針。

## ●医療用薬4.4%が個人輸入—リスク認識せずネットで拡大（薬事日報 1月20日）

一般消費者を対象に、個人輸入による医療用医薬品の購入経験を調査、「ある」と回答したのが全体の4.4%に上がることが明らかになった。製薬企業の有志団体が調査を実施、「偽造医薬品等情報センター」が報告をまとめた。勃起不全（ED）治療薬や抗肥満薬に加え、点眼薬、抗アレルギー薬、抗精神病薬なども手軽に購入していた。医薬品の個人輸入をめぐるのは、国内未承認薬で代替品がなく、外国で受けた薬物治療を継続する場合や、海外からの旅行者が常備薬として携行する場合に限り、1カ月分までは認められている。ただ、近年医療目的というより個人の嗜好で医薬品を不正に購入する一般消費者の存在が問題視されている。

## ●基礎的医薬品、134成分617品目が対象～中医協（薬事日報 1月20日）

厚生労働省は、基礎的医薬品の対象品目を20日の中央社会保険医療協議会総会に提案し、了承された。同制度は、医療現場で欠かせない基礎的な医薬品の製造・販売の継続を目的に、薬価を下支えするもの。2016年度の薬価制度改革で試行的に導入する。抗生物質の「アモリン」、抗結核薬「エブトール」、医療用麻薬「MSコンチン」、甲状腺ホルモン薬「チラーゼン」など134成分617品目が対象。

## ●妊婦の渡航に注意喚起 ジカ熱流行の中南米（薬事日報 1月22日）

厚生労働省は21日、夏にリオデジャネイロ五輪が開かれるブラジルなど中南米を中心に、新生児の小頭症との関連が疑われる感染症「ジカ熱」が流行しているとして、各都道府県等に情報提供を求め通知し、妊婦の渡航に関して注意喚起した。

公益財団法人 日本医療機能評価機構



アドレナリンの濃度間違い

No.108 2015年11月

手術時、アドレナリン希釈液を皮下注射する際、医師が意図したアドレナリン希釈液の濃度と、看護師が準備したアドレナリン希釈液の濃度が違っていた事例が6件報告されています(集計期間:2012年1月11日～2015年9月30日)。この情報は、第33回報告書「個別のテーマの検討状況」(P135)で取り上げた内容を基に作成しました。

**手術時、医師と看護師の確認が不十分なまま、医師の意図より高濃度のアドレナリン希釈液を皮下注射した事例が報告されています。**

医師の指示	医師の意図 [アドレナリン希釈倍数]	看護師の準備 [アドレナリン希釈倍数]	濃度 間違い
ボスミン生食	ボスミン注1mg+生理食塩水を計500mL [500,000倍]	0.05%ボスミン液(外用目的の院内製剤) [2,000倍]	250倍
20万倍ボスミン	キシロカイン注射液1% (エピレナミン含有)の2倍希釈 [200,000倍]	ボスミン外用液0.1%の2倍希釈 [2,000倍]	100倍
ボスミン	キシロカイン注射液1% (エピレナミン含有)の2倍希釈 [200,000倍]	ボスミン外用液0.1%の2倍希釈 [2,000倍]	100倍
ボスセイ(ボスミン生食を意図)	ボスミン注0.3mL+生理食塩水を計100mL [333,333倍]	0.02%塩酸エピレナミン液(外用目的の院内製剤) [5,000倍]	約67倍
不明	ボスミン注の調製液 [200,000倍]	0.02%エヒネフリン液(外用目的の院内製剤) [5,000倍]	40倍
10万倍ボスミン	ボスミン注の調製液 [100,000倍]	3,000倍ボスミン(外用目的の院内製剤) [3,000倍]	約33倍



アドレナリンの濃度間違い

事例 1

医師はアドレナリン50万倍希釈液(0.0002%ボスミン)を皮下注射する予定であった。手術前、医師は器械出し看護師に「ボスミン生食をください」と指示した。器械出し看護師は、院内製剤の0.05%ボスミン液(アドレナリン2,000倍希釈)だと思い、医師に「0.05%ですか」と確認したところ、医師は詳細を確認せず「うん、うん。」と返答した。器械出し看護師は0.05%ボスミン液が外用目的の製剤と知らず、注射器に準備した。医師が手術部位に計60mLを皮下注射したところ、頻脈・高血圧が出現し、心室細動となった。

事例 2

手術中、医師は外回り看護師に「10万倍ボスミン」と指示した。外回り看護師は、「3000倍ボスミンならあります」と答えた。医師は3000倍ボスミンが外用目的の院内製剤とは知らず、準備するよう伝えた。外回り看護師が清潔野のビーカーに3000倍ボスミンを注ぎ、医師はビーカーから注射器に充填して7mL局所注射した。その後、血圧上昇、脈拍数が増加し、心室細動となった。

**事例が発生した医療機関の取り組み**

- ・手術中にアドレナリン希釈液を使用する場合、医師と看護師の双方で、薬品名だけでなく濃度と用法を確認する。
- ・外用目的の院内製剤のラベルに「禁注射」と表示する。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、当事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の職員等の詳細については、当該機関ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。  
<http://www.med-safe.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部  
T101-0061 東京都千代田区二輪町1-4-17 東洋ビル  
電話：03-5217-0252(直通) FAX：03-5217-0253(直通)  
<http://www.med-safe.jp/>

10～12月に薬事情報センターに寄せられた質問から

## はい、薬事情報センターです。



薬事情報センターでは、会員の方々を対象に、医薬品に関するお問い合わせや、文献入手サービスなどに応じております。どうぞお気軽に御利用ください。

【質問】1歳児に使えるステロイドが配合されていない痔の軟膏で製剤を探している。ボラザG軟膏はどうか。(薬局)

【回答】ボラザG軟膏の小児への使用については、使用経験が少なく、安全性は確立していないとされている。1998年以前の使用成績調査では2000例中53例は1歳以上の小児であるが、これまで副作用は1例も認められていない。小児への使用は禁忌ではないことから、副作用に注意を払いながら使用されるとよい。

【質問】水溶性消化管造影剤ガストログラフィン経口・注腸用(内容量100mL)を1回20cc使用後、残った薬剤を他の人に使う事はできますか?(薬局)

【回答】IFにおいても「開封後は速やかに使用すること」とされており、開封後の微生物汚染の影響を考えると、残薬はすぐに廃棄するのが望ましい。

【質問】日本脳炎ワクチンを受けた方がインフルエンザワクチンを受けるにはどの位の期間あければよいか。(薬局)

【回答】インフルエンザワクチン等の不活化ワクチンの実施前に、日本脳炎ワクチン等の生ワクチンの接種を受けた場合、接種日から27日以上の間隔をおかなければならない。また、インフルエンザの予防接種後、その他の予防接種を行うときは接種日から6日以上の間隔をあけること。  
参考：予防接種ガイドライン：厚生労働省HP

【質問】前立腺肥大症に使える睡眠薬と使える睡眠薬を教えてください。(薬局)

【回答】禁忌の薬剤はないが、抗コリン作用のある薬剤は残尿や尿閉等に注意しなければならない。中でも、非ベンゾジアゼピン系薬剤であるゾルピデム(商品名：マイスリー等)は抗コリン作用を示さなかったとの報告があることと、尿閉、頻尿、排尿障害の報告がなく、ω1選択的で筋弛緩作用が緩いという理由から使用しやすい。また、ゾピクロン(商品名：アモパン等)についても抗コリン作用を持たず、尿閉の報告が殆どないことから使用しやすい。ニトラゼパム(商品名：ベンザリン)については、抗コリン作用が弱く、尿閉等の報告はないため、使用可能である。  
参考：高齢者の安全な薬物治療ガイドライン2015(日本老年医学会)

【質問】病院から血液製剤のクロスエイトMC静注用を院外処方したいと言われた。静注用でも院外処方できますか?(薬局)

【回答】クロスエイトMC静注用は処方箋医薬品である。医療機関で、適切な在宅自己注射教育を受けた患者または家族の方が自己注射(静脈注射)

可能である。患者さん向けの自己注射のパンフレットなども配布されている。

【質問】妊婦に使える便秘薬を教えてください。(薬局)

【回答】一般に妊婦へは軽度の場合には酸化マグネシウムを使用する。効かない場合には、新レシカルボン坐薬やラキソベロン、プルゼニド等を使用する。センナ系などの大腸刺激性下剤は子宮収縮を誘発するため、大量投与や切迫流産の患者への投与は避ける事。ちなみに、新レシカルボン坐剤の添付文書には、妊婦への使用上の注意事項の記載はない。

参考：産婦人科外来処方マニュアル第4版(医学書院)

【質問】「沖縄にしかないコフ・・・という咳止めをいつも飲んでる」という入院患者がいるが、成分等を教えてください。(県外病院)

【回答】日新製薬の「コフハイドリン液」第2類と思われる。メーカー直売で通常大型店舗には置いていない。地元の高齢者の話によると、あの薬局でしか買えないなどといわれていた薬剤のようである。はっきりした事は言えないが、沖縄のあの薬局にしか置いていないということから、「沖縄にしかない薬」となったのであろう。類似のOTC薬としてエフストリン(日昭製薬)という錠剤がある。どちらもジヒドロコデインリン酸塩、メチルエフェドリンを含有する。

【質問】獣医師から問い合わせがあった。口内炎に硝酸銀を溶かして使いたいというが、水に溶けにくかったのではないか。(薬局)

【回答】硝酸銀は極めて水に溶けやすい性質を持っている。また分解しやすいため、用時調整する製剤である。アフタ性口内炎には20-50%が使用される。以前、病院薬局製剤として10%溶液が鼻口腔内に使用されていた。最近ではステロイド配合の口腔内軟膏が使用される。  
参考：第十六改正日本薬局方

【質問】患者さんが、足がつるため『micro-K-10meq』と書かれている海外の薬を服用していたという。日本でも代替薬等あれば教えてください。(薬局)

【回答】塩化カリウム製剤(10meq)のカプセルで、低カリウム血症や電解質の補充薬として市販されている。日本で販売されている塩化カリウムは粉末状で多量の水と服用するが、塩辛いのは承知の通りである。カリウムの補給であれば、グルコン酸K錠5meq2錠にすると同量のカリウム補給でき、なおかつ服用しやすいと思われる。



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口

## 10～12月の「おくすり相談室」受付事例から

消費者専用電話：098-963-8935

### ●医薬品一般●

【質問】病院からED治療薬のレビトラ（一般名：バルデナフィル）を処方されているが、ジェネリックは置いていないという。海外ではあるみたいだけど、本当にはないのか？

【回答】ジェネリック医薬品は、先発医薬品の再審査期間や特許期間（20～25年間）終了後に発売されます。ジェネリック医薬品は、研究開発費が少ないため値段が安いことが知られています。そのため、新しい薬にはジェネリック医薬品はありません。海外で出回っても、日本では承認されていないので処方することはできません。現在、日本で発売されているED治療薬パイアグラには多くのジェネリック医薬品が販売されていますので、医師に相談すれば、入手可能かと思えます。

【質問】熱性痙攣を起こしている子供がいる。今ダイアップを使ったが、解熱剤の飲み薬を使うにはどのくらい時間をあければいいか。

【回答】解熱剤の飲み薬は、ダイアップ坐剤と同時間使用で問題ありません。ちなみに、坐剤同士であれば、お薬の効果が十分に現れるようダイアップを先に、30分程後に解熱剤を使用します。

【質問】心療内科でクロザピン（商品名：クロザリル）はどうかと言われた。2週間に1回は血液検査が必要だという。体に負担は大きいのか。

【回答】このお薬は緊張感やイライラの症状を改善し、気分を落ちつけるお薬です。服用後18週間は入院が必要とされています。服用すると、血液中の白血球のうち、体内に入った細菌を殺す重要な働きをする好中球などが著しく減少する事があります。このような状態になると、細菌に対する抵抗力が弱くなり、病気に感染しやすくなります。そのため、定期的な血液検査が必要なのです。採取する量は少量です。安心して検査を受けて下さい。

### ●安全性情報●

【質問】妊娠24週。船に1時間位乗るが、船酔いが心配。妊娠中にも飲める酔い止めの薬はありますか？

【回答】すでに器官ができあがっている時期でもあり、奇形等の心配はありませんが、市販の酔い止めの成分でスコポラミン臭化水素酸塩水和物など、お腹の赤ちゃんに影響があるお薬もありますので注意が必要です。市販薬購入時は、薬局の薬剤師に妊娠中である事を必ずお伝えください。船に乗る前日には、十分な睡眠をとり、空腹時や食べ過ぎ等の状態での乗船はしないように心がけることも大切です。

【質問】副鼻腔炎でベルベゾロンF点眼点鼻を使用している。副作用に「長期使用による下垂体・副腎皮質系機能の抑制」とあるが、どういう症状がでるのか。

【回答】脳下垂体からは成長ホルモンや性ホルモンが分泌されますが、抑制すると疲れやだるさ、集中力の低下が起こります。また、副腎皮質機能低下の症状としては、色黒、倦怠感、脱力感、体重減少、胃腸症状（食欲不振、便秘、下痢）、低血圧、低血糖などがあげられます。また不安、集中力の低下などが出てくる事もあります。ベルベゾロンF点眼点鼻は、ステロイドと抗生物質の配合剤ですが、局所剤なので内服と比べて副作用も頻度的に低いと考えられます。

【質問】精神科でリスパダールをもらっている。1年で体重が10kg増えた。副作用ですか？

【回答】リスパダール等のお薬を服用している方は、病気の影響で興味・関心の低下などのため外で活動する事も健常者と比べて少なく、偏食がちとなることから体重増加が現れるとされています。リスパダールの特徴としては、以前からある問題であったパーキンソン様症状や遅発性ジスキネジアの頻度が低い一方、体重増加、血糖値や脂質異常などの副作用のある事が知られています。10週間の内服による平均体重増加は平均で2kgと報告されています。日常生活に散歩を取り入れる、規則正しい生活を送る等生活習慣を少しずつ改善する事も考えてはどうでしょう。

参考：抗精神病薬服用者の肥満：日本医事新報4767号（2015）

【質問】ハロマンズ注射、リスパダール コンスタ注を2年程前まで受けていた。最近、膝から足へかけてのしびれが時々起こるが副作用か？

【回答】リスパダール コンスタ注には5%未満の頻度でしびれの副作用が報告されています。治療を中止されてから2年になるため、副作用かどうか不明な所ですが、しびれの症状が続いているのであれば、病院を受診された方がいいでしょう。

### ●ドーピング●

【質問】ラエンネックを疲労回復に利用したい。筋注だが、問題ないですか。（スポーツ選手）

【回答】ラエンネックは胎盤由来成分で天然由来の医薬品です。その全ての詳細な内容成分は明確ではありませんが、胎盤由来成分は2015年WADA禁止表において禁止物質であると考えられるため使用は控えて下さい。

参考：2015年WADA禁止表「S2：ペプチドホルモン、成長因子、関連物質および模倣物質」

Medical Magazines titles

今月の特集・論文

\*薬事情報センターで購読している雑誌の中より文献情報を掲載しました。

【今月の特集】

- 医薬ジャーナル 52巻1号  
\*C型肝炎治療における新時代の幕開け
- エキスパートナース 32巻1号  
\*ここが変わったBLS（一次救命処置）・ALS（二次救命処置）  
\*白黒つけます！胸部X線画像
- きょうの健康 1月号  
\*特集：危険な不整脈
- きょうの健康 2月号  
\*特集：前立腺肥大症
- 月刊薬事 58巻1号  
\*消化器治療薬の選び方・使い方——専門医が教える  
治療と薬の一工夫
- 月刊薬事 58巻2号  
\*C型肝炎治療の新たな展開
- 産科と婦人科 83巻1号  
\*婦人科がん治療の新機軸
- 産科と婦人科 83巻2号  
\*OC・LEPガイドライン ポイントの解説
- 総合診療 26巻1号  
\*妊婦・褥婦が一般外来に来たら エマージェンシー  
& コンプロブレム
- 調剤と情報 22巻1号  
\*「検査値×処方せん」の読み方・考え方
- 治療 98巻1号  
\*在宅医療の質を高める
- 日経ドラッグインフォメーション 219号  
\*キーワードで占う薬局業界2016  
\*2016新薬ダイジェスト
- 日経メディカル 578号  
\*医療再編で「勤務医」が変わる
- 日本医事新報 4780号  
\*新時代のC型肝炎治療
- 日本医事新報 4781号  
\*「冷え」の東西医学による診断と治療
- 日本医事新報 4782号  
\*ロタウイルスワクチン定期接種化への課題：徹底解析
- 日本医事新報 4783号  
\*致命率向上のための大動脈解離の知識

- 日本医事新報 4785号  
\*ここに注意する高齢高血圧疾患治療
- 日本医事新報 4787号  
\*前立腺肥大症治療の現状と展望
- 薬局 67巻1号  
\*Evidence Update 2016

【今月の論文】

■薬物療法■

- 適応拡大クロズアップ アリピプラゾール水和物  
月刊薬事 58巻1号p.112
- 適応外使用の処方せんの読み方[67] 化学療法による  
悪心・嘔吐の予防  
月刊薬事 58巻1号p.155
- 適応外使用の処方せんの読み方[68] 自己免疫肝炎  
月刊薬事 58巻2号p.177
- にきび治療にアルダクトンAを使う理由  
日経ドラッグインフォメーション 219号p.39
- 肝硬変にカルニチンが処方された理由  
日経ドラッグインフォメーション 219号p.PE003
- コレステロール値が高くない糖尿病患者へのスタチ  
ンの作用  
日本医事新報 4780号p.58
- 陈旧性心筋梗塞でワルファリンではなく低用量アス  
ピリンが勧められているのはなぜ？  
日本医事新報 4780号p.63
- 高齢者における降圧目標の設定  
日本医事新報 4785号p.23
- 腎機能障害への抗菌薬投与量の決定方法  
日本医事新報 4787号p.56
- 前立腺肥大症の薬物治療  
日本医事新報 4786号p.27
- 脳梗塞再発予防における抗血栓療法のポイント  
新薬と臨床 65巻1号p.1
- 安全性情報■
- 副作用・薬物相互作用トレンドチェック
- 1. リネゾリド併用によりワルファリン服用患者のPT-  
INRが上昇
- 2. パラシクロビルとロキソプロフェン併用により急  
性腎障害リスクが上昇
- 3. レボチロキシシン服用患者のTSH値に影響を及ぼす併用薬

## 今月の特集・論文

- 4. クロザピンとプレガバリンの併用による痙攣発作  
や失神による骨折
- 5. ケトチフェンによる歯ぎしり
- 6. アピラテロン酢酸エステルによるトルサード・ド・  
ポワント  
医薬ジャーナル 53巻1号p.155

- インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動と使用薬剤  
の関連に関する研究  
日本医事新報 4781号p.43
- 消化器疾患治療薬の薬物相互作用  
月刊薬事 58巻1号p.112
- Z-drugとベンゾジアゼピン系睡眠薬の転倒率調査  
新薬と臨牀 64巻12号p.1468

### ■臨床情報■

- 病態を正しく見抜く！ 臨床検査値ケースファイル  
特別編 [2]  
65歳男性 主訴：胸部の圧迫感、胸焼け  
月刊薬事 58巻1号p.147
- アナフィラキシーガイドラインのポイント解説  
日本薬剤師会雑誌 68巻1号p.19
- シトステロール血症の現状とその対応  
新薬と臨牀 65巻1号p.111

### ■婦人科■

- 妊娠・授乳と薬、放射線などに関する妊娠時期別の  
対応  
総合診療 26巻1号p.14
- 妊婦・褥婦の発熱  
総合診療 26巻1号p.23
- クルクミンを用いた子宮筋腫治療法の開発  
産科と婦人科 83巻1号p.82
- OC・LEP：多剤併用  
産科と婦人科 83巻2号p.139
- OC・LEP：月経痛や月経過多に対する効果  
産科と婦人科 83巻2号p.161
- 反復着床障害・習慣流産とビタミンD  
日本医事新報 4786号p.52

### ■眼科■

- 緑内障の最新の治療  
日本薬剤師会雑誌 68巻1号p.15

### ■臨床検査■

- 検査値の把握が服薬コンプライアンス向上につな  
がった事例  
調剤と情報 22巻1号p.19
- 標準用量に関する疑義照会とPT-INR低下に基づく疑  
義照会  
調剤と情報 22巻1号p.23
- 検査値を活用した処方提案と患者モニタリング  
調剤と情報 22巻1号p.26

### ■服薬指導■

- パーキンソン病患者の自動車・自転車運転  
日本医事新報 4785号p.52
- 待機的PCI症例の抗血小板療法に対する薬剤師の取り  
組み  
医薬ジャーナル 53巻1号p.148

### ■医薬品情報■

- リスクマネジメントー院内での薬剤師の活動（103）  
医薬品情報管理室における医薬品のマネジメント  
医薬ジャーナル 53巻1号p.148

### ■在宅医療■

- 処方監査や疑義照会で検査値を使いこなす～在宅栄  
養領域における臨床検査値との向き合い方  
調剤と情報 22巻1号p.59
- 在宅医療における感染対策  
日本薬剤師会雑誌 68巻1号p.25

### ■漢方薬■

- 認知量およびその周辺症状に対するエビデンス  
釣藤散と抑肝散、抑肝散加陳皮半夏  
日本薬剤師会雑誌 68巻1号p.25

### ■サプリメント■

- ポリペクトミー（内視鏡的ポリープ切除術）前に摂  
取を控えたほうがよいサプリメントはある？  
日本医事新報 4782号p.63
- 冬虫夏草子実体抽出エキスのLOH症候群の症状改善  
効果  
新薬と臨牀 65巻1号p.1

### ■その他■

- 関節リウマチ患者の生物学的製剤自己注射に対する  
意識と、自己注射補助具ヒュープラスNRの使用満足  
度に関する調査  
新薬と臨牀 64巻12号p.1485

## 医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

### 総コレステロールをわかりやすく説明するには

日本医事新報 4776号

肝臓でつくられたコレステロールは、LDLという運び屋（リポ蛋白）によって全身に運ばれ、余ったコレステロールは、HDLという回収屋（リポ蛋白）によって肝臓へと回収されます。おそらく、患者さんには悪玉コレステロール（LDL-C）や善玉コレステロール（HDL-C）の説明としてよく使われていることと思います。総コレステロールが反映するリポ蛋白は、超低比重リポ蛋白（VLDL）、中間比重リポ蛋白（IDL）、低比重リポ蛋白（LDL）、高比重リポ蛋白（HDL）があり、これは中性脂肪含有量が多い順番となっています。LDL-Cは、Friedewaldの式（ $LDL-C値 = 総コレステロール値 - HDL-C値 - 中性脂肪値 / 5$ ）で計算されます。簡単な図を用いて説明するとよいでしょう。「総コレステロールの中には、動脈硬化を促進する悪玉コレステロールと動脈硬化を防ぐ善玉コレステロールの2種類があります（実際にはリポ蛋白）。この2種類を合わせたのが、総コレステロールです」と説明します。

日本医科大学武蔵小杉病院  
笠原 英城

### ビタミンB12欠乏症を早期に鑑別するには？

日本医事新報 4783号

ビタミンB12欠乏症は早期発見・治療が必要となりますが、発症時に特徴的な所見について、東邦大学医学部総合診療・救急医学講座佐々木陽典氏ら以下のように述べている。

診断としては、①欠乏をきたす要因の検討、胃切除、委縮性胃炎、自己免疫性疾患、極端な菜食主事、妊婦、回盲部病変などが挙げられます。PPI、H2受容体遮断薬、メトホルミンなど薬剤による吸収阻害も本症状の原因とされます。②特徴的な症状や診断の確認。診断においては、ハンター舌炎を示唆する牛肉様舌、白髪などの特徴的所見を認めれば手がかりとなります。神経的所見に関しては後索障害を示唆する下肢の深部感覚低下やロンベルグ徴候が早期診断に有効であり、高齢者においては認知症の鑑別診断として本症を念頭に置くことも必要でしょう。③検査結果の適切な解釈、の順に行うことが有効と思われます。

東邦大学医学部総合診療 救急医学講座  
瓜田純久, 佐々木陽典

### 高血圧「120未満で予後改善」の衝撃

日経メディカル 12月号

11月9日に米国で発表された高血圧治療に関する大規模試験（SPRINT試験）の結果が話題を呼んでいる。週刊誌各紙は、米国立心肺血液研究所が主導して行った試験の結果を受け、現状の降圧目標値140/90mmHgがさらに下回る値に変更される可能性を示唆。この結果を受けて、日本高血圧学会や欧州高血圧学会は声明を発表。SPRINT試験は国の機関が主導し、約9300人を対象とした信頼性の高い試験であり、今後の高血圧治療に大きな影響を与える可能性がある」と記載。一方で厳格降圧群では有害事象が多く認められ、対象患者の背景因子を結果を検証する必要があるとした。国内では従来の降圧目標値140/90mmHgすら達成できていない患者が多い。しかしながら、「この結果は、降圧治療への患者の意欲を高めるツールになる」「試験の投薬量は標準治療群が1.8剤、厳格治療群は2.8剤。降圧薬を1剤増やすと血圧値が13mmHg下がる事も示された。まずは一人一人の患者に応じた目標値を設定する高血圧治療を続けるべき」と宮川内科小児科医院の宮川氏は話している。

### 残薬問題への提言 ～「剤宅管理」に向けて～

調剤と情報 11月号

「残薬」は医療経済上においても重要な課題となっている。残薬における安全性を確保するためには、「かかりつけ薬局」からの在宅訪問により効率的な薬剤管理が図られるものと思われる。行政の対応としては、2012年の調剤報酬改定において、保険薬局における薬剤服用歴管理指導料の算定要件に「残薬の状況の確認」が盛り込まれ、2014年には残薬の状況は「処方箋の受付後、薬を取り揃える前に確認する」と明記された。患者側要因への対策とは別に患者宅に存在する残薬を含めた管理を「剤宅管理」と題しその方法を提言したい。1. 人的ソースの確保：子育て等による、休職薬剤師をパート雇用し、訪問薬剤管理指導を専任で実施させる。2. 薬剤の使用期限の明示による効率性の確保：1カプセルごとにその使用期限を表示する事を各製薬企業に要請したい。3. 採算性の確保：服薬管理に加えて、患者の日常生活に必要な物資の物販を併用することで患者・介護者の手間を省くとともに薬局の採算性向上につながる。今回の提言が残薬問題を解決する一助となれば幸いである。

賛育会病院薬剤部 金子 重雄

## Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。  
※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。  
※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

### 【日薬幹旋図書】社会保険薬価基準 2016年4月版

【発行】薬事日報 【発行日】2016年3月  
【版型/頁】B5判/総800頁【定価】3,780円(税込)【会員価格】2,000円(税込)

### 【日薬幹旋図書】保険薬事典 Plus 平成28年4月版

【発行】じほう 【発行日】2016年3月  
【版型/頁】A5判/950頁【定価】4,968円(税込)【会員定価】4,470円(税込)

### 【日薬幹旋図書】薬効・薬価リスト 平成28年版

【編集】医薬情報研究所 【発行】じほう 【発行日】2016年4月  
【版型/頁】B5判/1,000頁【定価】7,020円(税込)【会員定価】6,300円(税込)

### 【日薬幹旋図書】薬価基準点数早見表 平成28年4月版

【発行】じほう 【発行日】2016年3月  
【版型/頁】A5判/950頁【定価】3,888円(税込)【会員定価】1,850円(税込)

### 【日薬幹旋図書】投薬禁忌リスト 平成28年版

【発行】じほう 【発行日】2016年4月  
【版型/頁】B5判/600頁【定価】4,212円(税込)【会員定価】3,700円(税込)

### 【日薬幹旋図書】ポケット版 臨床医薬品集 2016

【編集】星 恵子 他 【発行】薬事日報 【発行日】2016年1月  
【版型/頁】A6判/1,200頁【定価】4,320円(税込)【会員定価】3,900円(税込)

#### 【特徴】

- 添付文書にないポイント情報「特記事項」をさらに充実
- 同効薬の使い分けや選択に便利一覧表を多数掲載
- 実務に役立つ付録の充実

### 【日薬幹旋図書】Poket Drugs 2016

【監修】福井 次矢 【発行】医学書院 【発行日】2016年1月

【版型/頁】A6判/1,058頁【定価】4,536円(税込)【会員定価】4,210円(税込)

全治療薬を収録したポケットサイズの医薬品集。添付文書情報に加え、第一線で活躍の臨床医による「臨床解説」、すぐに役立つ薬の「選び方・使い方」、その根拠となる「エビデンス」も掲載。欲しい情報がすぐに探せるフルカラー印刷で製剤写真も掲載。2016年版では見やすくレイアウトを変更薬効分類・同効薬が一目でわかる。

# Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

## 【日薬幹旋図書】今日の治療薬 2016

【編集】浦部晶夫、島田和幸、川合眞一【発行】南江堂【発行日】2016年1月

【版型/頁】B6判/1,376頁【定価】4,968円(税込)【会員価格】4,470円(税込)

薬効群ごとに解説と便覧で構成したベストセラー。2016年版では「解説」章内に大規模臨床試験の結果などを『薬物療法のエビデンス』として掲載。ポータルサイトでは、改定薬価情報、新薬などの書籍更新情報(年3回)PDFを配信予定。

## 【日薬幹旋図書】治療薬マニュアル 2016

【監修】高久史磨、矢崎義雄【発行】医学書院【発行日】2016年1月

【版型/頁】B6判/2,752頁【定価】5,400円(税込)【会員価格】5,000円(税込)

- ハンディサイズで「使用上の注意」をカバーした唯一の治療薬年鑑
- 収録薬剤数は薬2,300成分・18,000品目。2015年に収録された新薬を含むほぼすべての医薬品情報を収載
- 添付文書に記載された情報を分かりやすく整理し、各領域の専門医による臨床解説を追加
- 各薬剤の使用目的や使用法、化学構造式、適応外使用など、臨床解説が充実
- 医薬品レファレンスブックとして、医師・薬剤師・看護師他すべての医療職必携の1冊

## 感染対策実践マニュアル 第3版

【編集】堀賢【発行】じほう【発行日】2015年12月

【版型/頁】B5判/360頁【定価】3,888円(税込)

院内感染(医療関連感染)対策に携わる医師、看護師、薬剤師などすべての医療従事者が、すぐに使える実用的なテキスト「感染対策実践マニュアル」の第3版。ウイルス性出血熱対策や新型インフルエンザ、ウイルス性感染性胃腸炎対策など話題の感染症もすっかり盛り込んだほか、前版から引き続き掲載している内容も最新情報にアップデート。

## 英語医薬論文を気軽に翻訳するための解説書!

【著者】鈴木伸二【発行】薬事日報【発行日】2016年1月

【版型/頁】A5判/210頁【定価】2,592円(税込)

医薬分野の英語論文を気楽に読むことができるようになることを目的に、翻訳するための基本とさまざまな分野の英語論文を取り上げて翻訳方法をわかりやすく解説しています。各論文例では、「読解のポイント」で翻訳する上での要点をまとめています。さらに「用語理解と表現検討」で日本語として読みやすい文章に翻訳するために多角的なアプローチを紹介・解説しています。

## 現場ですぐに役立つ! 処方箋の読み方

【監修】伊賀立二【発行】じほう【発行日】2016年1月

【版型/頁】A5判/192頁【定価】2,160円(税込)

実際に起きた調剤事故の事例を多数紹介し、なぜ事故が起きてしまったか、薬剤師として何をチェックしどう行動していれば防止できたのか、という観点から処方監査時のポイントをやさしく解説。実際の処方箋様式を用いた処方例を多数掲載し、視覚的にも理解しやすい構成。

## 薬事情報センターの利用のしかた

### ○業務内容

(1)医薬品情報の提供 (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3)医薬品に関するお問い合わせ (4)県薬ホームページの制作・管理 (5)消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (6)医薬品 PL センター窓口業務 (7)ドーピング防止ホットライン業務

### ○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)

(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」

平日(月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室・ドーピング防止ホットラインの電話は**098-963-8935**になります。

お気軽にご利用ください。

### ○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の見学、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL : 098-963-8931 FAX : 098-963-8937

沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

\* \* 海外文献から (JAPIC 医薬情報より) \* \*

●健常成人における栄養ドリンク摂取による心臓血管系応答：無作為化二重盲検プラセボ対照クロスオーバーパイロット試験 (JAMA 314(19)2079- (2015.11.17) )

2013年8月-11月、健常志願者25例(男14例、女11例、26歳-31歳)を対象に、市販の栄養ドリンク(Rockstar; caffeine 240mg, taurine 2000mg, guarana seed/ginseng root/milk thistle 抽出物含有、480mL)およびプラセボ飲料を5分間で飲用した。その結果、飲用後には caffeine レベルが増加、血糖値は両群ともに増加した。栄養ドリンク飲用群とプラセボ飲料群における飲用後の収縮期血圧増加率は各々6.2%および3.1%( $P=0.01$ )、拡張期血圧上昇率は各々6.8%と0%( $P=0.001$ )、平均血圧上昇率は各々6.4%と1.0%( $P<0.001$ )であり、いずれも有意差を認めた。心拍数においては両群間の有意差を認めなかった。平均ノルエピネフリンレベル増加率は各々73.6%と30.9%であり、有意差を認めた( $P=0.003$ )。栄養ドリンク飲用群において、ストレスによる血行動態変化の増強はみられなかった。

●妊娠糖尿病(GDM)に対する Metformin 対 Insulin:メタアナリシス (Br. J. Clin. Pharmacol. 80(5)1224- (2015.11) )

GDM患者における metformin および insulin 治療を比較した無作為化コントロール試験(RCT)について PubMed, Embase などのデータベースを検索、8つの研究における1592例でメタアナリシスを実施した。妊娠高血圧における metformin 投与群の有効性は統計的に有意であった[リスク比 0.54; 95%信頼区間 0.31-0.91]。新生児低血糖、胎週数に比べて大きい乳児の割合、呼吸窮迫症候群、光線療法、周産期死亡については両群に有意差は認められなかった。臨床的に重要な差は認められないことが示唆されたが、metformin は妊娠高血圧のリスクが低いいため、GDMに適した選択となる可能性がある。

●小児救急医療における薬物有害反応:プロスペクティブ研究 (Ann. Pharmacother. 49(12)1298-1304/(2015.12) )

フランスの Nantes 大学病院において、小児の薬物有害反応(ADR)について調査を行った。その結果、4ヵ月間に救急部を受診した患児は11095例、このうち121例の ADR 発生率は1.09%であった。頻度の高かった ADR は嘔吐(22%)、皮疹(11%)、そう痒症(7%)、傾眠状態(5%)、悪心(4%)であった。ADR の多くは消化器系および皮膚の反応であり、重篤でない ADR が53%と多く、2歳-11歳の小児において多く認められた。重篤な ADR のうち25%は12-15歳の範囲で認められ、これは薬物の過量投与によるものであった。酸素と一酸化窒素の等モル混合物, amoxicillin, acetaminophen が最も多くの ADR を引き起こした。10代前半の小児においては医薬品の乱用も認められた。

●小児における Acetaminophen の出生前曝露と将来の注意欠陥多動性障害のリスク: 文献検索に基づくレビュー (Ann. Pharmacother. 49(12)1357- (2015.12) )

出生前 acetaminophen 曝露と注意欠陥障害または運動亢進の発現の関連を評価したプロスペクティブ臨床試験について、MEDLINE(1975年-2015年6月)、International Pharmaceutical Abstracts(1975年-2015年6月)および Cochrane Database(2015年6月まで)の文献検索を行った。妊娠中に acetaminophen を使用した母親の子の3-12歳における ADHD または ADHD 様行動の発現についての自己報告を比較した4研究を選択した。このうち、早期の1研究では ADHD 行動との関連が認められなかった一方で、その他の研究では有意な相関が認められ、最も顕著であったのは、7歳時の ADHD 医薬品使用または Strengths and Difficulties Questionnaire により判断された ADHD 様行動に関して高リスクが認められた研究であった。

県民の皆様へ

薬剤師会をご活用ください！

やくたっ  
薬達ちゃーより

## あまくま<sup>やくだ</sup>薬立つ情報

### ➔ 健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地（離島も含む）の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催！薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つように取り組んでいます。（会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。）

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電話 098-963-8930

### ➔ おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。（薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など）

電話 098-963-8935

### ➔ 試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第12条第1項に関する試験検査機関の登録機関として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。（検査の際は、調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。）

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承下さい。

電話 098-963-8934

e-mail [siken@okiyaku.or.jp](mailto:siken@okiyaku.or.jp)

### ➔ 薬局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施（在宅支援）薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの“かかりつけ薬局”をおもちになってください。（詳細は沖縄県薬剤師会ホームページを閲覧ください。）

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ  
<ホームページアドレス <http://www.okiyaku.or.jp>>

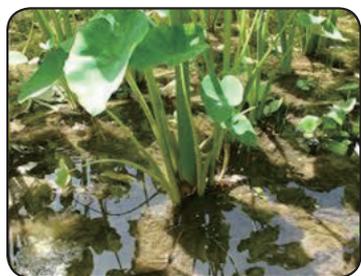
第25回 **暮らしの中の薬草学**  
身近な薬草を知ろう



女性薬剤師部会 狩俣 イソ

**田イモ：ターナム：ターム**

学名 Colocasia esculenta  
科名 サトイモ科 araceae  
属名 サトイモ属 esculenta  
使用部位 球茎、芋茎、葉  
有効成分 マンナン、ガラクトタン、ムチン  
ジガラクトシルジアシルグリセロール



**田イモの特徴**

田イモ（和名ミズイモ）は、浅い水を張った畑（水田）で栽培されるサトイモをさしている。原産地はインド東部からインドシナ半島にかけての熱帯地方で、サトイモ科の多年草、一般的なサトイモの二倍体変種である。草丈は1.5～2m、球茎は長さ約15cmの紡錘形。親芋の周囲に数個から10個以下の子芋ができ、親芋、小芋ともに食用となる。小芋から出る茎は次の栽培のために使用される。芋茎（ずいき）や若い葉も食用となる。赤茎種と白茎種とがあり、主に白茎種が栽培されている。専用の水田で栽培されることもあるが、稲田の脇で栽培されることが多い。但し稲田の下流では品質が悪くなるとされる。台風が強いため非常用の食糧として重宝される。自生植物ではなく人間によって持ち込まれた植物であり、一部野生化している。木の棒一本

で栽培・収穫でき、水田に植えたままで貯蔵できる。稲作に先立って広く栽培されていたと考えられる。米の餅の原型であるとする説もある。

**田イモの利用**

加熱すると一般的なサトイモより粘り気があり、田イモを潰して餅状にした料理が作られている。色は薄紫色、味は八頭に似ている。植えて約1年で収穫され、昭和初期以前は正月用として収穫される冬植（11-2月）のみであったが、その後、春植（3-4月）や夏植（7-8月）も行われている。生の状態では出荷されず、蒸し、芋の良否を判別してから出荷される。

**サトイモに含まれる有効成分**

他の芋類と比べてカリウム、水分が多く、カロリーが芋類の中で最も低いのが特徴。里芋のでんぷんは加熱すると消化・吸収がよくなる。サトイモのビタミンCは加熱しても壊れにくい。ミネラルは、カリウムが大変多く、カルシウム・マグネシウム・リン・鉄・亜鉛・銅などをバランスよく含み、植物繊維も豊富で、栄養価の高い野菜である。近年は、里芋に含まれるジガラクトシルジアシルグリセロールという成分が、コレステロールの生成を抑えると注目されている。里芋独特のヌメリは、ガラクトタンやマンナンなどの多糖類と蛋白質が結合したムチンで、血糖値の急上昇を抑える。味噌と合わせて調理すると、糖の吸収を抑えるサポニンやメラノイジンによってさらに糖尿病を防ぐ効果がアップする。

参考 wikipedia、おきなわ伝統的農産物データベース、セラフィ

**みずいも（田イモ） 球茎 生 可食部100g当たり 第五訂日本食品標準成分表**

エネルギー	蛋白質	炭水化物	脂質	水分	食物繊維	マグネシウム	カリウム
117 kcal	0.7 g	27.6 g	0.4 g	70.5 g	2.2 mg	23 mg	290 mg
ナトリウム	カルシウム	亜鉛	鉄	リン	マンガン	葉酸	ビタミンC
6 mg	46 mg	0.2 mg	1.0 mg	35 mg	0.58 mg	2.7 mg	7 mg

### サトイモの効能効果

130種類の食材（青じそ、ショウガ、つるむらさきなど）と比較して、最も効果が高かったのがサトイモで、抗高脂血作用（ラノステロール酵素阻害活性）が55%得られた。

サトイモ、ハトムギ、大豆、ワカメなどの食材の抽出成分を、酸化ストレスを与えたマウスに与え、リンパ球細胞の生存率を調べた。里芋は最も生存率が高かった。免疫力の要であるリンパ球を保護、強化する働きがある。

サトイモの抗酸化成分・ポリフェノールは、皮部分に50%含まれる。粘質成分が多いのは、皮が濃い茶色で縞模様がかっきり出ているもの生よりも電子レンジ調理によって増える。

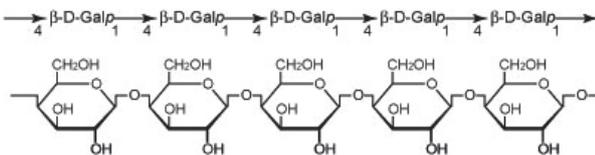
参考：株式会社セラフィ、岐阜市立女子短期大学

### マンナン

マンノースをおもな構成単位とする多糖類の総称。マンノースのみから成るものもあるが、ガラクトースあるいはグルコースを含むものもあり、これらはガラクトマンナン、グルコマンナンと呼ばれる。マンナンは水溶性植物繊維で、便秘の予防・肥満防止・糖尿病予防・コレステロール低減などの作用がある。

### ガラクトン

ガラクトンは、ガラクトース（単糖類）がいくつか結合した水溶性食物繊維を主成分とする多糖類。人の消化酵素の中にはガラクトンを分解できるものがないので、大量に摂取しても脂肪にならない。



脳細胞を活性化させ痴呆を予防する効果があり、免疫性を高め、がんの発生・進行を防ぎ、風邪の予防にも働く。消化促進、整腸作用、便秘予防・改善に有効である。

参考：J.medical、Weblio、Cell wall筑波大学生物学類

### ムチン

アポムチンと呼ばれるコアタンパクが、無数の糖鎖によって修飾されてできた巨大分子の総称である。オクラやヤマノイモ、サトイモ、モロヘイヤ、アシタバ、ナメコなどのように、ヌルヌルした食品に多く含まれる。また動物

の分泌する粘液にはほぼ全てムチンが含まれており、口腔、胃、腸をはじめとする消化器官や鼻腔、腔、関節液、目の表面の粘膜は、すべてムチンに覆われているといえる。ウナギなどの体表のヌメリもムチンである。

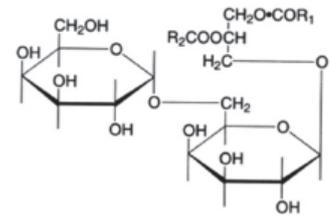
ムチンには粘膜を潤し、強化する作用があり、消化器官では、胃粘膜の強化によって胃壁を保護し、胃潰瘍や胃炎の予防・改善に効果がある。呼吸器官では、鼻の粘膜を丈夫にして感染症にかかりにくくする。また、腎臓や肝臓の代謝や抱合（解毒）機能を向上させ、細胞を活性化して、老化を防止する。このほか、唾液腺ホルモンの分泌を促して食欲増進、便秘の解消にも効果を発揮する。たんぱく質の分解酵素を豊富に含み、たんぱく質の消化吸収を助け、スタミナの増強にも寄与する。

さらにムチンと癌との関連も研究され、その癌再発抑制作用にも期待される場所である。

参考 wikipedia、コトバンク、京都産業大学工学部 若さの秘密、東京大学大学院薬学系研究科

### ジガラクトシルジアシルグリセロール

葉緑体の機能に重要な役割を担う膜脂質であると考えられている。モノガラクトシルジアシルグリセロール



ル、ジガラクトシルジアシルグリセロール、およびスルホキノボシルジアシルグリセロールの3種類の糖脂質を高い割合で含有する含有組成物は、DNA合成酵素阻害活性、癌細胞増殖抑制活性、抗腫瘍活性といった有用な生理活性を有する。リパーゼ処理によって更に強い生理活性が得られる。また脳神経細胞に対して賦活作用および保護作用を示し、外傷、代謝性の要因、脳虚血、β-アミロイド蛋白質、パーキンソン病およびダウン症等による脳神経細胞障害の予防および治療において極めて有用なカスパーゼ（細胞にアポトーシスを起こさせるシグナル伝達経路を構成する、一群のシステインプロチアーゼである。基質となるたんぱく質のアスパラギン酸残基の後ろを切断する）阻害剤となりうる。

参考 wikipedia、ekouhou.net 備前化成株式会社



## 旅行って素敵！！

(その2)

ミラノの次に訪れたのはヴェローナ。そう、「ロミオとジュリエット」の舞台となった街だ。中世がそのまま残っている小さな街で、古代ローマのアレーナ（円形競技場）が今でもオペラの上演に使用されている街である。もっとゆっくり見たいのに、その日はヴェネツィアまで行かなければならない。どんどん歩かされた。キョロキョロしながら必死に歩いて行く。目に入ってくる光景が見たことの無いものばかり。そして、ヴェネツィアへ。これまたビックリ仰天。ミラノとはまるで違う。同じ国とは思えない。とてもエキゾチックな街だ。吹きガラス工場を見物し、ゴンドラにも乗った。次は花の都フィレンツェ。ここのドゥオーモがこれまた素晴らしい。赤や緑の色とりどりの大理石できていて、『花の大聖堂』と呼ばれる所以だ。この街も中世そのままタイムスリップしたような気分になれる。街ごと全体がそのまま美術館状態なの



ハイジア薬局  
廣川 直子

だ。その後5回訪れ、1ヶ月住んだこともあるが、「ここも、そこも、あそこも、メディチ家の人々が、レオナルド・ダ・ヴィンチが、ミケ・ランジェロが、ボッティチェリが、ラファエロが歩いていたのかしら」と思うと、ただ歩いているだけでわくわくする街である。世界最古の薬舗の一つとしてドミニコ会修道院により1200年代に創られたサンタ・マリア・ノヴェッラというお店がある。その修道院が薬草を栽培して作った香水、石鹸、ローションやクリーム類、ハーブリキュールなどを扱うお店だ。今なおメディチ家お抱えだった頃のレシピそのままの商品も残っており、店内はとても良い香りに包まれ、当時を偲ばせる雰囲気たっぷりで、一部が博物館にもなっていて、薬剤師の先生がたにはフィレンツェを訪れたら是非立ち寄って欲しい。きっと感動する。



ヴェネツィアではゴンドラにも乗った



花の大聖堂



そして、最後はローマ。大通りに出るとビジネスマンや車が多くて、東京と同様の都会の空気感があるが、そんな中に古代ローマ遺跡があちらこちらにド〜んと鎮座していて、驚いた。普通に、日常の中に溶け込んでいるのだ。地元の人たちは見向きもせず、観光客はバスの中から必死になってシャッターを押す。ローマは中世より少し後のバロック様式の建造物が多く、またしても初めての雰囲気。もう、わくわくのし通しである。ハードなスケジュールで、本当なら疲れてくたくたのはずが、逆にどんどん元気になっていく。旅行ってなんて素敵なんだ！

是非、また来たい。絶対に来る！と心に誓って帰ってきて、半年も経たない内に、今度は母と母の姉二人の4人でツアーに参加した。2度目なので今度はいろいろ調べて、フリータイムを大いに生かした。そして、またまた元気になって帰ってきた。これは、健康のために年に一度は行ったほうが良い!!というのが私の結論になり、イタリア語を習い始めて、ツアーではなく、自分で計画を立てて航空券とホテルだけ旅行代理店で手配して行くようになった。今ではホテルもインターネットで手配したほうが安いかわか調べて、お得な方を選ぶようにしている。電車のチケットは、旅行代理店を通すと手数料がかかるので、イタリア語か英語がわかればネット予約が一番安い。

3回目に夫と夫の両親と共にいった時に、日本語が少し話せるウエイター（カメリエレ）と出会い、今でも友人付き合いしている。ヴェネツィアのサン・マルコ広場にある『ラヴェーナ』というカフェのカメリエレだ。以来、イタリアに行くなら彼に会いたいということで、いつも半分より北側になってしまう。東ローマ帝国の都だったラヴェーナも素敵だった。大学の街パドヴァの大聖堂も、涙が出るほど感動した。パルマも気に入って2度行った。ここはコレッジョの天井画が

素晴らしい。パルマと言えばハムとチーズが有名だが、それだけではない。ポローニャは何を食べてもとにかく美味しい!!食通にはおススメ。トリエステは元々ハプスブルグ帝国の中だったのでドイツの雰囲気が漂い、今でも街中にイタリア語とドイツ語が飛び交っている。厳かな雰囲気を思い切り味わえるのはアッシジ。ここも2度行った。しかも泊りで。話し出すと限がない。「どこが一番好きか？」と聞かれるのが一番困る。どこも好き!!

イタリアには9回ほど訪れたが、南には行ったことが終ぞないので、次こそは南に行きたい。ナポリ、アマルフィ、シチリア、アルベロベッロ・・・行きたい所はたくさんある。が、今は時間がなくなってしまった。昨年、浦添市前田にハイジア薬局を開業して、当分旅行どころではなくなってしまったのだ。早く軌道に乗せて、2年に一度くらいは旅行ができるようになりたいものである。それまで、健康でいなくては！ナポリを見ずして死ねない。

イタリア以外にも、ベルばらツアーと別名がついたストラスブールからフランスに入り、リクヴィル・コマル、ナンシー経由でパリに、そして、ヴェルサイユ宮殿という、マリー・アントワネットのお輿入れルートを辿るようなツアー、かつてのハプスブルグ帝国を巡るプラハ、ブラスチラバ、ウィーン、ブタベストなどを廻るツアーにも参加したが、何れも楽しくて、元気になった。

日常と束の間離れ、普段目にしない光景を見、普段と違う空気を感じ、様々なことに興味をそそられわくわくすることは、健康に大変良いはずだ。沖縄からのヨーロッパ直行便は無いようで、1～2度乗り換えが必要になり、また、割高にもなるが、それなりの価値がある。食わず嫌いの方、興味の無い方、「そのうちね」と先送りをしている方、是非、行ってみて欲しい。私のように人生が変わるかもしれない。

**次号には、平良 仔己子 先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい！**

薬連だより

## 平成27年度 組織強化に関する担当者全国会議報告

日時：平成27年10月29日(木) 11:00～16:30

場所：主婦会館プラザエフ 7階「カトレア」



沖縄県薬剤師連盟 副幹事長  
組織強化担当 石川 恵市

去る10月29日、東京・主婦会館プラザエフにて、日本薬剤師連盟主催の『全国藤井もとゆき薬剤師後援会』における各都道府県の選挙活動状況の報告ならびに、組織強化に関する担当者全国会議が執り行われた。

日本薬剤師連盟山本信夫会長の挨拶で幕が開き、続いて藤井基之参議院議員より国政の報告がなされた。その後、今回の主旨である『組織的な後援会名簿収集とステップ表の活用』についての討議が、1グループ8人の8グループに分けられたSGD形式で行われた。ここでいう『ステップ表』とは、後援会名簿収集活動をいくつかのステップに分けて、より多くの名簿収集と選挙活動を周知に広めるための手順書のようなものであり、その項目は「各地区に進捗状況をフィードバックした」「各地区に名簿収集の目標を設定および周知した」「各支部に連盟の啓発をし、名簿収集を依頼した」等々である。ステップ表の活用実績は各都道府県によって大きな開きがあり、沖縄県でのステップ表活用は殆ど生かされていないのが現状なのだという事を思い知らされた。

約2時間半のSGDによる討議の後、各グループよりパネラー1人が選出されて、持ち時間が2分という条件下での8人によるパネルディスカッションが行われた。その内容一覧は下記の通りであった。

- 新人薬剤師や実務実習生に、今後の薬剤師職能を固めるために政治が関わっている旨を伝える。
- とりあえず名簿作成！こちらからのアプローチが容易である。各薬局に直接出向い

て名簿を回収し、各支部長に選挙活動を把握させる。

- 比例選挙の意味をきちんと伝える⇒ただ自民党と書いてもあまり意味がない？名前を書いてもらう重要性！
- 各地区会長が支部会議に参加し、会議の合間に連盟の話をしてもらってステップ表を活用⇒各支部長に選挙活動の流れをしっかりと伝える。
- 女性の集いをフル活用！女性の結束力は強い!!
- 各都道府県の会長および役員が直接薬局に出向いて、名簿作成の協力を依頼する。
- 薬局で働く医療事務スタッフを食事や飲み会等に誘って、ざっくばらんに話をした中での集客を高める。
- 非会員（全国チェーン店舗等）にも推奨するのも手段の一つでは？

ここで着目してほしいのが、ステップ表活用による名簿収集の重要性はもちろんのことだが、別の視点から選挙活動の重要性を周知させる方法がいくつか挙げられているのが分かる。これらが今後の活動の糸口となれば幸いである。

何故、政治の力が必要なのか？単純に考えてほしい。皆様もご承知の通り、2年に1度の診療報酬改定は政治の場で取り決められている。薬剤師職能を強く訴える政治家がいなければ、到底公平な改定は堅持されないであろう。そのためにも、政治の中核で発言できる政治家の存在が必須となってくる。それが、我々の職能や生活にも強く関わってくる旨を、若手の薬剤師に直接伝えて理解してもらう事こそが重要なのである。

薬連だより

## 国会レポート 平成28年度予算案



参議院議員・薬学博士 藤井 もとゆき

年明けの日本列島は穏やかな天候に恵まれ、各地の神社・仏閣には一年の安泰や繁栄を願う大勢の参拝客で賑わいを見せていました。また、今年は仕事始めが月曜となり、前日の3日は年末年始を故郷や旅先で過ごした人たちのUターンラッシュがピークとなり、都心に向かう新幹線や高速道路などは大変な混みようとなっていました。

さて、平成28年度の政府予算案は昨年末の24日に閣議決定され、一般会計予算の総額は社会保障費が伸びるなど、前年度当初予算比3799億円増の96兆7218億円と過去最大規模となっています。

厚生労働省の一般会計予算総額は、前年度当初予算比3963億円増の30兆3110億円となりました。このうち社会保障関係費については、前年比約6700億円増の概算要求に対し、「安倍内閣の3年間の社会保障関係費の実質的な増加が高齢化による増加分に相当する1.5兆円程度となっていることを踏まえ、その基調を2018年度まで継続していくことを目安とする。」とした骨太の方針2015に従い、その増額を5000億円内に収めようと強く主張する財政当局との間で、その差額約1700億円の取り扱いに注目が集まっていますが、診療報酬改定による薬価等の引き下げや医薬品価格の適正化等により、概算要求との差額分を捻出し、前年度当初予算比4126億円増<sup>\*</sup>の29兆8631億円となりました。（※；平成27年度

予算額に含まれていた、子育て世代臨時特例給付金587億円を、28年度予算に計上しないことによる影響を考慮しない場合、社会保障関係費の増額は4997億円となります。）

また本年4月の診療報酬改定、本体部分は+0.49%の約500億円の増額となっています。一方、薬価等は▲1.33%の約1300億円、市場拡大再算定や後発医薬品の新規収載時の価格引き下げなどの医薬品価格の適正化約500億円、いわゆる大型門前薬局等の評価の適正化約40億円、経腸栄養製品に係る給付適正化約40億円をそれぞれ減額するなどの他、協会けんぽの国庫補助特例低額により200億円を減額し、自然増を1700億円圧縮する予算となりました。当初懸念された調剤報酬を狙い撃ちにした引き下げには、薬剤師連盟の皆さんの後押しもあり、医科：調剤は「1；0.3」と従来同様の公平な改定に収めることができました。

第190回通常国会は1月4日に天皇陛下をお迎えして開会式を行ない、6月1日までの150日間に及ぶ論戦の火蓋が切られました。開会式に先立ち常任委員長の選出及び特別委員会の設置等の手続きが行われ、私は久しぶりに本拠地の厚生労働委員会の委員に指名されました。国会では平成27年度補正予算案に続いて、平成28年度予算案の審議が行われますが、医療や介護の充実等、高齢者や社会的弱者が安心して暮らせる社会を築くため、しっかりと責任を果たしていきたいと思っております。

藤井もとゆきホームページ <http://mfujii.gr.jp/>

転載記事



沖縄医報 Vol.52 No.1 2016

薬剤師がいて良かったと言  
ってもらえるよう会員一同が  
がんばります！



沖縄県薬剤師会 会長  
亀谷 浩昌 先生

PROFILE

学 歴

昭和 48 年 4 月 金沢大学薬学部薬学科卒業  
平成 21 年 5 月 医学博士授与（琉球大学）

職 歴

昭和 49 年 6 月 琉球大学保健学部附属病院薬剤部  
平成 19 年 4 月 国立大学法人琉球大学  
医学部附属病院副薬剤部長  
平成 22 年 3 月 国立大学法人琉球大学退職  
平成 22 年 4 月 社会福祉法人沖縄療育園採用  
平成 25 年 4 月 一般社団法人那覇地区薬剤師会  
会長就任  
平成 27 年 6 月 一般社団法人沖縄県薬剤師会  
会長就任

現在に至る

質問 1. この度は沖縄県薬剤師会 会長ご就任お  
めでございます。ご就任に当たってのご感  
想と、今後の抱負をお聞かせ下さい。

常任理事から副会長職を経験せずにいきなり  
会長になりましたので、いろいろ知らないこと  
が多く、危なっかしいスタートとなりました。  
会員の役に立つ施策を実施すればいいのではと、  
就任するまでは割りと楽観的に考えていました。  
ところが、就任直後のあいさつ回りや多くの団  
体や個人から表敬訪問を受けて、改めて薬剤師  
会の社会的責任を感じさせられました。また、  
薬剤師会を代表して各種の委員会、協議会等に  
出席して、益々この職の責任を自覚しています。

抱負としては、会員の薬剤師が職能を大いに  
発揮して、医療の中の大きな部分を占める薬物  
療法の有効性・安全性の向上に寄与している情  
景を実現したいです。今後は地域医療の役割が  
大きくなります。地域包括ケアシステムの中  
でかかりつけ医を中心とする多職種と連携し、か  
かりつけ薬局、かかりつけ薬剤師として患者様  
に寄り添いながら医療の質の向上を図ってい  
きたいと考えています。

質問 2. 貴会の会員数と基本的な活動内容につ  
いてお聞かせ下さい。

平成 27 年 12 月現在の会員数は 1,113 人です。  
会活動の基本として会員の職能向上を支援す

る施策を講じます。同時に、薬剤師職能を發揮  
できるような環境の実現を目指します。並行し  
て、昨今の薬剤師パッシングは我々の職能を国  
民の皆様によく理解して頂いてないことによ  
ると思われまので、正しく理解して頂けるよ  
う広報活動を重点事項にしています。月並みで  
すが、入会して良かったと思われるような会  
の運営ができればと思います。

**質問3.**平成27年6月に「おきなわ津梁ネットワーク」を活用した医療連携に関する協定書に県薬剤師会と県医師会が調印致しました。おきなわ津梁ネットワークに関してのご意見・要望等がありましたらお聞かせ下さい。

患者様の検診データと過去の処方内容を参照できることは、応需した処方箋を解釈する際に有用です。患者様がお薬手帳を持っていない場合でもネットワークを通じて情報を入手できます。ただ、このことでお薬手帳の役割が無くなったと誤解されないようにしたい。アナログには別の良さがあるので、まだまだ役に立つ物と考えています。

おきなわ津梁ネットワークの今後の展開としては、検査データや病名がわかると処方の理解の大きな手助けとなるので実現することを希望します。また、多くの医療機関・薬局・介護関連施設が参加すると益々有用性が高まると思われます。その先には、ネットワーク経由でカルテが参照でき、そこへ薬剤師が随時コメントを書き込めるような環境を希望します。医師と薬剤師の意思疎通が簡便になり、薬物療法の効率も良くなると思います。個人情報の開示は困難との意見がありますが、薬剤師は病気の治療に貢献することを目的として参照しますので、開示は患者様様の利益にかないます。守秘義務も負っているので問題はないと考えています。

**質問4.**県医師会に対するご要望がございましたらお聞かせください。

私たちは薬物療法において責任を持ち、医師の有力なパートナーになることを目指しています。責任を分担することで医師は診断と治療方針の検討などにより多くの時間を充てることができ、医学、薬学の発展にシナジー効果をもたらし、患者様により多く貢献できるのでは無いでしょうか。

大きな夢を書いてしまいましたが今すぐに当会の全ての会員がその役割を果たせるかというところ多少自信がありません。理想とする状況に到達すべく生涯学習に励んでいます。まだまだ努力を要すると思います。医師がハードな業務をこなしながらも日々研鑽していることに敬意を表します。われわれ薬剤師も是非見習いたいと思います。誠に勝手ながら、医師の皆様には今しばらく、我々を温かい目で見守っていただきご指導ご助言をお願いしたいと考えています。

**質問5.**最後に日頃の健康法、ご趣味、座右の銘等がございましたらお聞かせ下さい。

若いころは空手にモトクロスと、体育会的な生活をしていましたが、中年にさしかかる頃から運動と縁の無い生活に転じました。オートバイの趣味だけは乗り始めた高校生の時から現在まで、本土での大学時代も含めて途切れることなく続いています。乗り継いだバイクは20車種ほどになります。本田宗一郎が好きで、ホンダ製のバイクにしか乗らないと決めている頑固な一面も持っています。現在、大は1,100CCの大型バイクから50CCのスーパーカブまで全部で7台を所有し、万遍無く乗ることの難しさと置き場所に苦労しています。好奇心旺盛で小さな趣味はいろいろとあります。バイクに釣り道具を積み、首にカメラをぶら下げ、背筋と腹筋を鍛えながら、山原までツーリングを兼ねて行ったりします。

座右の銘というか好きな言葉に「正直が一番」があります。心にもないことを言い続けるのは疲れますし、「正直な心」で行動し発言するのがノンストレスかつ楽です。

この度はお忙しい中、ご回答頂きまして、誠に有難うございました。

インタビューアー：広報担当副会長 玉城 信光

# 県女性の翼

マレーシア研修報告

村田 美智子

「女性の社会進出」「観光」「教育・医療・福祉」のテーマのうち、私の担当は「女性の社会進出」で、女性が関係する94団体を束ねるNCWO (National Council of Womens Organizations) を訪問して話を聞くことができた。NCWOは女性の人権が社会において公正に扱われるべきという立場で研究を行い、独自の声明文を発表して、国の政策にも反映させるべく提言しているという。女性の社会進出を図るに



は、育児介護等の社会的支援と女性自身の意識改革が重要であると強調していた。日本、沖縄においても全く同じ事が叫ばれており、これは世界共通のテーマだということをあらためて認識した。

日本の男性企業戦士と違ってマレーシアの男性は、勤務時間が終われば上司等へ遠慮する必要もなく退社できる環境という。これは女性にとって大いに助けとなるであろう。今や男性優位のパトロンの分野にも女性が進出しているマレーシア、列席した女性起業家の「いい仕事をする」と(能力)を訴えることこそ第一義であるとの発言には、襟を正す思いであった。

「観光」の部門で印象に残ったのは「ハラール」と「ト

## 沖繩観光ハラールに可能性

イバン」である。マレーシアはイスラム教徒の多い国であり、食するものはハラール食品に限ると思っていた。ハラールとはイスラム法で「許されるもの」、特に食料品を指すようだが、ただ単に禁じられたもの(ハラム)以外の食料品ではないようだ。栄養価、衛生、安全、品質保証等、普遍的に体に良いものを選択するという、トイバンという概念が加わってこそ真のハラールといえるようだ。それには流通(トレーサビリティ)も重要となる。現地を指摘されたように、このトイバンこそ日本人にはなじんだ感覚といえまいか。沖縄の観光において世界規模の人というイスラムの人々のハラールは、ますます大きな可能性を示唆している。

職業病医療ツーリズムも興味深かった。世界をターゲットにした、外国の医師も含め一流の医師による一流の医療をめざし、空港(到着)から病院、さらに病院から空港(出発)までをスムーズに展開できるシステムになっているという。病院の個室を賃貸したが、ホテルと変わらない設備には感嘆するばかりであ

った。各国からの評価も高く、外貨の獲得に大いに貢献していると思われた。国家の弾力な後押しで、短期的、中長期的な戦略で実行されてきたことで、昔慣に対しても必ず国が関与して処理するようだ。

国内的には、公的病院は予約しても診察に至るまで時間がかかるとあり、高価な民間病院にかからざるを得ないこともあろうである。国民が等しく受診できる日本の医療制度を壊してはならないとこころを述べた。(那覇市)

2015.12.16 沖縄タイムス

琉球新報 2015年11月10日

新しい大きな病院に行く  
と会計の近くには薬剤部が  
ありません。病院薬剤師は  
院外処方箋の発行により、  
通院患者に対する外来調剤  
から、より重篤で繊細な入  
院患者に対応するために活  
躍の場を病棟活動へ移し、  
最新薬物療法に携わってい  
るのです。医学・薬学はよ  
り専門的で高度になり、注  
射薬や抗がん剤などの無菌  
調製も一般的に行われてい  
ます。日々の業務がより複  
雑化している上に、当直や  
オンコール体制など多忙に  
もかわらず、病院薬剤師  
は真面目で勉強熱心な方が  
多いように感じます。

日本病院薬剤師会や団体  
・学会が所管する、がん、  
精神科、HIV感染症、妊  
婦・授乳婦、感染制御、栄  
養サポートなどの「専門薬  
剤師」や、漢方薬・生薬、  
小児薬物療法、緩和薬物療  
法、プライマリ・ケア、救  
急などの「認定薬剤師」な  
ど数多くの認定制度があり  
ます。要件が厳しいものも  
あり、取得者は少なめです



吉田 洋史

沖縄県薬剤師会理事

### 薬剤師のスキルアップ

が、免許更新制度がない薬  
剤師にとって学習の証とな  
るこうした生涯学習認定  
制度は、勉強のモチベーシ  
ョンを持続させていく上で  
励みになります。

### 南風

町の薬局薬剤師も同じで  
す。平日は業務終了後に勉  
強会があり、土日は研修  
会、また連休には全国で  
大きな学会が開催されてい  
ます。認定がなくても勉強し  
自己研鑽している薬剤師が  
数多くいます。県外で開催  
される研修会や学会に参加  
すると、モチベーションの  
高い薬剤師仲間が全国各地  
に多くできます。その後も  
SNSを活用し切磋琢磨し  
ていくので、年に一度しか  
会えなくても同じ志を持つ  
た者同士、再会を喜び合え  
る楽しみもあります。

琉球新報 2015年11月24日

専門用語は、普段使って  
いても、本当の意味を正確  
に理解していないことがあ  
りますよね。例えば  
「頓服」はどうでしょう。  
薬包紙で包んでいる粉薬で  
しよ。座薬のことじゃない  
の。解熱剤(熱冷まし)の  
ことだね。いやいや、鎮痛  
剤(痛み止め)だよ。正  
しくは、服用する時間が決  
められたものではなく、症  
状が出て必要ときに使用  
する飲み薬のことです。

具体的には頭痛時・発熱  
時・便秘時・疼痛時(とて  
も痛い時)・不眠時・不安  
時などがあります。1日3  
回まで、次の使用まで6時  
間以上あけて、38・5度以  
上の高熱時など指示が入る  
こともあります。そうだっ  
たのか!とスッキリした方  
は、知る機会が今まで無か  
っただけで、恥ずかしいこ  
とではありません。



吉田 洋史

沖縄県薬剤師会理事

### 「くすり教育」

「くすり教育」が入る可能  
性があります。小中高一貫  
となることで、健康の保持  
増進や疾病の予防につい  
て、より理解が深まり、自  
分の健康を適切に管理でき  
ようになるでしょう。

### 南風

れています。「くすり教  
育」は人々の健康意識の向  
上を背景に2000年、世  
界保健機関(WHO)がセ  
ルフメディケーションを  
「自分自身の健康に責任を  
持ち、軽度な身体の不調は  
自分で手当する」と定義し  
たことから始まりました。  
つまり、自分で自分の健康  
状態を判断し、必要に応じ  
て医薬品を選択する必要が  
あるのです。そのためには  
正しい知識が必要です。こ  
の役割を担うため、保健体  
育教諭や養護教諭が行う授  
業に薬の専門家である学校  
薬剤師が関わっています。

琉球新報 2015年12月8日

新薬(先発医薬品)を発売  
するには、10年以上の歳  
月と数百億円以上の研究開  
発費がかかるため、薬の値  
段は高いものとなります。  
また新薬を独占的に販売で  
きる特許期間(20~25年)  
が終了すると、有効成分や  
製法などをまねて作ること  
が可能になります。ジェネ  
リックメーカーが短い開発  
期間と少額の投資で安価に  
製造できるようにするので  
す。そして薬として同じ効  
果があるか確認し、厚生労  
働大臣の承認を得て、値段  
の安いジェネリック医薬品  
として世に出るのです。

ふた昔ほど前は、特許権  
が消滅するとジェネリック  
医薬品が各社からゾロゾロ  
出てくることから、業界で  
は「ゾロ薬」と、粗悪品の  
意味で呼ばれることもあり  
ました。ところが昨今のジ  
ェネリックメーカーの工場  
は最新設備と厳格な品質管  
理をし、一流メーカーから  
OEM生産を受けているこ  
とも珍しくありません。  
さらに他のメーカーとの



吉田 洋史

沖縄県薬剤師会理事

### 沖縄に浸透するジェネリック

今年5月の調査による  
と、数量ベースでのジェネ  
リック医薬品の使用割合は  
全国平均58・8%。これに  
対して沖縄県は72・3%  
で、2位の鹿児島県67・6  
%を4ポイント以上引き離し、  
ダントツの1位独走状態を  
維持しています。なぜ沖縄  
県のジェネリック医薬品の  
使用割合がここまで高いの  
かは諸説ありますが、県民  
に浸透していることは間違  
いないようです。

### 南風

差別化を図るため、さまざ  
まな工夫がされているもの  
もあります。例えば、錠剤  
やカプセルなどを包んだア  
ルミなどのPTPシートに  
「糖尿病薬」と説明を付け  
ている、錠剤の色を変え大  
きさを一回り小さくしてい  
る、ラムネやフィルム状に  
して口の中ですぐに溶ける  
ようにしている、苦味を包  
み込んだり、香りや味をつ  
けたりなど、より飲みやす  
く、より扱いやすく考え  
られています。薬が苦手な  
方は遠慮無く薬剤師に相談  
してみてください。

執筆連載終了しました。吉田洋史理事、お疲れさまです。

日薬通達

正会員向け 保険制度のご案内

～平成28年度（平成28年2月15日）契約受付中～

お届けした募集のご案内にてお手続きください。（旧年度以前の各種申込用紙は使用できません。ご注意ください。）  
9月以降に会員になられた方にはご案内が届かない場合があります。  
契約希望の方は会計・厚生課 損害保険担当（03-3353-1190）までご連絡ください。

1. 薬剤師賠償責任保険

患者・消費者から法律上の損害賠償責任を問われたときに備えるための保険です。  
例えば、以下のような事故がお支払対象となります。

【補償内容】

医薬品・商品等に係わる事故に関する補償	調剤した医薬品や販売した商品によって、また、誤った情報提供によって、他人の身体を害した場合の損害賠償金や弁護士費用
初期対応の補償	調剤の誤りに伴い、患者に健康被害が発生するおそれがある場合、患者への見舞金や見舞品購入費用等
業務遂行中の事故の補償	患者に身体障害を負わせた場合、財物を損壊した場合の損害賠償金等
施設・設備に起因する事故（薬局契約のみ）	薬局の建物・設備に起因して生じた事故による損害賠償金等

【お支払いする保険金】

- ①法律上の損害賠償金
- ②被害者に対する応急手当、緊急処置などの費用
- ③訴訟となった場合の訴訟費用や弁護士報酬（損保ジャパン日本興亜の事前承認が必要です）
- ④患者対応に要する見舞金費用（加入プランによって）など

薬剤師の先生が事故により利用者および周囲との関係がこじれることを防ぐため、また、事故による精神的な不安を解消し安心して日常業務をしていただくためにも日本薬剤師会の薬剤師賠償責任保険制度のご加入をお勧めいたします。

2. 個人情報漏えい保険

偶然な事由により個人情報を漏えいしたことまたはそのおそれがあることに起因して、法律上の賠償責任を負担することによって被る損害に備えるための保険です。

【お支払いする保険金】

- ①法律上の損害賠償金
- ②訴訟となった場合の訴訟費用や弁護士報酬（保険会社の事前の承認が必要です。）
- ③ブランドプロテクト費用（メディア対応費用、クレーム対応費用、事故対応費用など）

薬局には、センシティブな個人情報が集積しているため、万が一個人情報が漏えいした場合の補償に備え、日本薬剤師会の個人情報漏えい保険制度のご加入をお勧めいたします。

3. 休業補償保険・長期休業補償保険

病気やケガで働けなくなった場合の収入減少に備えるための保険です。

【補償内容】

種類	休業補償保険	長期休業補償保険
補償内容	病気やケガで、就業不能状態の場合にご契約の保険金額を補償します。 ・メンタルヘルスの不調による就業不能も補償します。 ・先生や従業員が病気やケガにより就業不能となった場合、代行者雇い入れるため必要となる費用を補償します（加入型によって補償）。	病気やケガで、就業障害状態の場合に最長満70歳（満65歳以上の方は3年間）まで収入の減少を補償します。 ・メンタルヘルスの不調による就業障害も最長24ヵ月補償します。 ・一部復職でも補償します。
補償期間	1年間（支払対象外期間7日間）	70歳まで（支払対象外期間372日間）

【お支払する保険金】

種類	休業補償保険	長期休業補償保険
	支払保険金 = ご契約保険金額 × 就業不能期間	支払保険金 = ご契約保険金額 × 所得喪失率 × 就業障害期間

【補償期間】



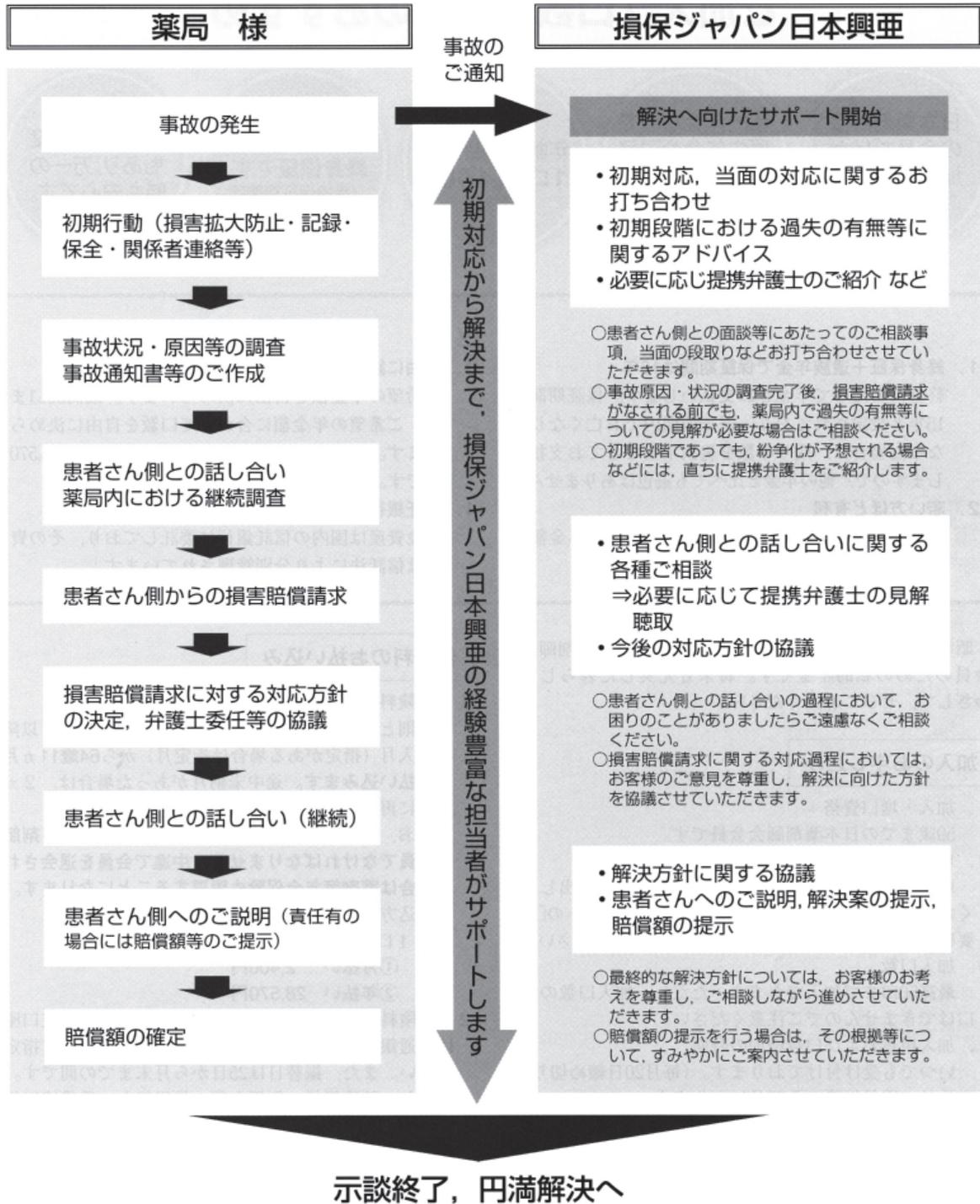
※両保険、いずれも加入した場合、補償期間が重複せず、リレー方式で支払対象となります。

薬剤師の先生が万が一病気やケガになった場合も、毎月の出費はなくなりません。  
働くことが出来ない期間の公的補償は、必ずしも補償が十分とは言えないため、公的補償の補完として休業補償保険・長期休業補償保険制度のご加入をお勧めいたします。

事故が発生した場合の連絡先・必要書類等は、パンフレット「正会員向け保険制度のご案内」をご覧ください。

**薬剤師賠償責任保険の事故解決までの流れと対応例**

事故が発生しましたら、すみやかに損保ジャパン日本興亜へご通知をお願いします。  
直ちに経験豊富な専任担当者が、円満解決に向けた事故解決のための対応を開始いたします。



<本件に関するお問い合わせ先>  
 取扱代理店 公益社団法人 日本薬剤師会 総務部 会計・厚生課 03-3353-1190  
 引受保険会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第一課 03-3593-6435

詳しい内容は、パンフレット『正会員向け保険制度のご案内』、または日本薬剤師会HP添付のパンフレットをご覧ください。

承認番号：SJNK15-10950 承認日：2015/11/4

## 国保・社保通達

沖縄県国民健康保険団体連合会ならびに社会保険診療報酬支払基金沖縄支部より、平成28年度診療（調剤）報酬請求等の受付日等について、下記のとおり設定した旨のお知らせがありました。

### 平成28年度 受付相談・協力日及び受付締切日

沖縄県国民健康保険団体連合会  
社会保険診療報酬支払基金沖縄支部

提出月	受付相談・協力日	提出・受付締切日	備考
平成28年 4月	8日（金）	10日（日・開所）	9日（土）閉所
5月	9日（月）	10日（火）	
6月	9日（木）	10日（金）	
7月	8日（金）	10日（日・開所）	
8月	9日（火）	10日（水）	
9月	9日（金）	10日（土・開所）	
10月	7日（金）	10日（月・開所）	8日（土）9日（日）閉所
11月	9日（水）	10日（木）	
12月	9日（金）	10日（土・開所）	
平成29年 1月	6日（金）	10日（火）	7日（土）8日（日）9日（月）閉所
2月	9日（木）	10日（金）	
3月	9日（木）	10日（金）	

※ 受付業務は、午前9時～午後5時（沖縄県国民健康保険団体連合会）

午前8時30分～午後5時30分（社会保険診療報酬支払基金沖縄支部）

※ 請求書等の提出については、請求省令により「診療翌月の10日まで」と定められていますのでご留意願います。

【問い合わせ先】 沖縄県国民健康保険団体連合会 TEL 098 - 863 - 2473  
社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 TEL 098 - 836 - 0131

## 平成27年度 第1回 定例理事会議事概要

日時：平成27年4月11日(土) 19:00～22:15

場所：沖縄県薬剤師会館 研修室

### <出席者>

会 長：神村武之

副 会 長：吉田洋史

理 事：江夏京子、亀谷浩昌、山里 勇、前濱朋子、玉城 純、姫野耕一、新垣秀幸

下地 仁、幸地良信、村田美智子、外間惟夫、我喜屋美香、笠原大吾、石川恵市

事 務 局：山城英人、大城喜仁

### <欠席者>

理 事：松山朝雄、川上善久

### 議 題

#### 1. 平成27年度「薬と健康の週間」県民公開講演会講師について

<資料配布>

(大城係長)

今年の「薬と健康の週間」中に開催される県民公開講演会の講師について、理事各位に講師推薦を募っていたところ、望月真弓氏（慶應義塾大学教授）、友利新医師、松本ハウス（漫才コンビ）、吉田貞夫医師（あがりはまクリニック）の4氏の講師案が挙がっている。今月下旬に開催される県薬務疾病対策課と那覇市保健所との「薬と健康の週間」準備会議に、本会の講師推薦案を提示しなければならない。

挙手にて推薦順位を決めた。1位に松本ハウス7名、次に吉田貞夫医師と友利新医師の5名と続いた。薬と健康の週間準備会議に、本会から前述の順位で講師推薦案を提示する。

#### 2. 平成27年度各賞候補者について

<資料配布>

神村会長から各賞の説明があった。

(神村会長)

日本薬剤師会功労賞は、昨年、松山朝雄副会長が受賞したが、なかなか受賞できるものではない。日本薬剤師会有功賞は確実にもらえるようにしたい。

候補者推薦の締切月が近づいている賞に関しては、表彰諮問委員会が中心になって提案することとし、推薦期日までに余裕がある賞については理事各位、地区から推薦し、事務局に提示することになった。

#### 3. 新理事候補者について

<資料配布>

(神村会長)

次回5月定例理事会までに各地区、各部会から代表者を選出していただきたい。その選出を検討して更に各委員会、関連部署から適任者を選出し、最終的には会長候補者が決定する段取りとしたい。

#### 4. 琉球大学への薬学部設置を要望する件、および

うるま医療福祉大学等への薬学部設置に関する件について

<資料配布>

(神村会長)

米軍施設「西普天間住宅地区」返還跡地に新薬の研究開発拠点「沖縄メディカル・イノベーション・センター」の創設が検討されている。日米の大学が連携して創薬の研究者養成、新薬開発の製薬会社の拠点とし、医療人の人材育成に繋がりたいとの構想がある。さらに、癌治療重粒子線治療施設を設置し医療産業の拠点となる基本構想を策定し、琉球大学医学部並びに附属病院の移転も考案されている。これを機に、薬学部の設置について浦崎副知事へ要望書を去る4月8日に提出してきた。

うるま医療福祉大学の設立については、同大学設立準備委員会に反対の意見を提出した。

#### 報告(会)

##### 1. 会営薬局の調剤保険料等(3月分)及び病院別院外処方せん発行状況

<資料配布>

##### 2. 「歯・口から始まる健康づくりを考えるフォーラム」について

2月15日(日) てんぶす館 <資料配布>

(笠原理事)

南部地区歯科医師会主催の標記フォーラムに「フッ化物洗口事業に対する学校薬剤師の連携について」と題して、学校薬剤師の立場で学校保健における健康管理の考え方の中でフッ素化物の応用は必要であるとの内容で発表をしてきた。

##### 3. 「薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業」に関する講習会

2月25日(水) 県薬

(笠原理事)

標記事業について沖縄県では、薬局におくすりバック、血圧計、体脂肪測定器を配布し受診勧奨をすることにした。同事業の講習会に、沖縄メディカル病院の吉田貞夫医師にご講演いただいた。

##### 4. 保健福祉委員会(在宅小委員会)

2月27日(金) 県薬

##### 5. 第5回在宅医療に関する講習会

3月1日(日) 県薬 <資料配布>

(笠原理事)

ランチョンセミナーは「経腸栄養剤の最近の話題」と題して、イーエヌ大塚製薬より、フレイル・サルコペニアと栄養の関係性、ONSの有効性、またツールとしてラコールNF半固形剤の提案、診療報酬改定から予測される事、口腔ケアについて講演していただいた。視察報告として、「薬剤師の参加する地域ケア会議」と題し、私笠原が、先進県と言われる大分県別府市と杵築市の地域ケア会議を視察してきた様子について報告した。基調講演に「地域包括ケアシステムと薬剤」と題して、長崎県薬剤師会在宅医療委員会の中村美喜子氏より、地域包括システムの解説、構築プロセス、地域ケア会議について講演いただき、実際に長崎県で行われている業務について話していただいた。その後、グループワーク「模擬ケア会議」を行った。中村氏からご指導いただき、薬剤師、民生委員、ケアマネージャー、書記、発表者の5名1組になり、実際にあった事例をもとにケア会議をした。実際にケア会議を行っている薬剤師のもとでシミュレーションをすることができたのは大きな収穫であった。

##### 6. 第6回子ども禁煙研究会

3月7日(土) 県薬

7. 第176回全国禁煙アドバイザー育成講習会 3月7日(土) 県薬 <資料配布>  
(笠原理事)

恒例となった標記講習会を開催した。最初にイブニングセミナーを株式会社ファイザーと共催で、お馴染みの奈良女子大学の高橋裕子先生に「禁煙支援最新情報」を講話いただき、引き続き高橋先生に「喫煙者の心を動かす4A+Aを学びましょう」と題して講演いただいた。次に、禁煙マラソンの三浦秀史先生に「職場・地域での禁煙支援のポイント」と題して講演いただいた。そのあとは、質疑応答を行った。

8. BLS講習会 3月8日(日) おきなわクリニカルシミュレーションセンター

9. 八重山地区健康拠点推進事業・BLS講習会 3月10日(火) 大濱信泉記念館  
(笠原理事)

BLS講習会は、これまで成人のBLSのアドバンスコースを行っていたが、今回、乳・幼児のBLSのアドバンスコースを実施した。併せて、八重山地区においても同内容のBLS講習会を実施した。

10. 平成26年度第2回スポーツ医・科学委員会 3月11日(水) 沖縄県体育協会  
(笠原理事)

沖縄県体育協会の組織の中にスポーツ医・科学委員会があり、構成委員の中に薬剤師は、私と薬事情報センターの吉田典子氏の2人が加入した。薬剤師に求められているのは、ドーピング防止教育と啓発活動となっている。昨年度から活動費が予算化され、本土での研修会参加費として使用している。研修会の報告は体育協会が発行する会報に掲載されている。国体選手向けにドーピング防止教育と啓発の研修会を国体開催前に行っている。

11. 健康情報拠点推進事業会議 3月13日(金) 県薬

12. 平成26年度地域・在宅医療、薬局・薬剤師を拠点とした健康情報拠点推進事業等担当者全国会議  
3月14日(土) TKP市ヶ谷カンファレンスセンター  
(笠原理事)

在宅事業に関するアクションプランについて、各県の進捗状況を把握するアンケートが標記会議前に行われ、そのアンケートの集計結果が会議資料となっていた。薬局・薬剤師を拠点とした健康情報拠点推進事業について、各県でどのようなことが行われているのかの報告があった。

13. なごみ会主催県民健康フェア実行委員会 3月19日(木) 沖縄県医師会 <資料配布>  
(笠原理事)

標記フェアの予算案や各団体負担額案について、今回新たな取り組みとして、沖縄県食生活改善推進員連絡協議会の無料試食コーナーの設置、スタンプラリーによる体脂肪計の配布を追加して計上しているが、アトラクションの費用を抑えられたことで前回とほぼ同額の予算額となっている旨の説明が県医師会からあった。沖縄県保健医療福祉事業団の補助金を充当しても不足が生じている経費については、各団体で負担することとなるため、各団体負担金案について協議し、前回と同額の幹事団体17万円、その他団体3万5千円の負担額に決定した。また、当フェアのキャッチコピーについて、各団体より頂いたキャッチコピー案をもとに意見交換が行われ、「笑顔と元気のおきなわ」に決定した。

14. 宮古地区健康拠点推進事業・BLS講習会 3月19日(木) 宮古地区薬剤師会事務局

15. 模擬地域ケア会議

3月27日(金) 沖縄市役所

(笠原理事)

平成27年度から地域ケア会議が始まる。沖縄市と宮古島市は県からの予算で地域ケア事業を行うことになっている。地域ケア会議では、多くの職種から専門アドバイザーを養成し、介護保険に関してより専門性を付け、地域ケア事業を積極的に取り組んでいくことを目的としている。専門アドバイザーとしての薬剤師が参加する地域ケア会議が、今後、開かれることが予想される。今回、沖縄市で模擬会議が行われたので出席した。

(江夏常務理事)

沖縄市のモデル事業だが、沖縄市の薬剤師は出席したのか。

(笠原理事)

参加の呼びかけをしたが、平日のため参加ができないとのことであった。地元の薬剤師の参加が望ましいので、沖縄支部と人選について相談していく。

16. 保健福祉委員会

3月31日(火) 県薬 <資料配布>

(笠原理事)

保健福祉委員会の委員に、当委員会の職務内容が膨大となったため、地域保健開局委員会と在宅医療委員会の2つに分かれるとの報告をした。

17. 平成27年度第1回フィジカルアセスメントに関する打ち合せ会議

4月9日(木) 県薬<資料配布>

(笠原理事)

病院薬剤師会と共催している薬剤師のためのフィジカルアセスメント研修会は、平成27年度で4年目となる。参加者25名中、県薬から5名が参加できるようになっている。各地区から、調剤薬局薬剤師でフィジカルアセスメントのリーダーになれる方を選出いただきたい。

18. 管理薬剤師業務研修会

3月15日(日) 沖縄コンベンションセンター

(吉田副会長)

当初はスクール形式での座席を予定していたが、シアター形式に変更しなければ会場に入りきれないくらいの多くの申し込みがあり、結局352名の参加で会場は満席となった。研修会の内容は、沖縄県保健医療部薬務疾病対策課の津波昭史氏による「薬事監視の状況について」と、医療保険委員会より仲真良重委員長が「管理薬剤師業務」について講義をした。津波氏からは、「平成26年度医薬品等一斉監視指導の結果」「薬局等構造設備規則の改正」など、主に今回の薬事法の改正点とその基準に適合しているか等を確認した監視指導についてであった。また、「薬歴未記載」の問題点から「調剤に従事する薬剤師の員数」が満たされているのかを把握するために調査を行うとの話もあった。仲真委員長からは、日頃行っている業務、処方箋と調剤録の記載事項や薬局の管理、調剤報酬請求までを「薬剤師法」「薬事法」「健康保険法」「薬局業務運営ガイドライン」「保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則」等の関連法規に沿って分かり易く話していただいた。

19. 平成26年度第1回沖縄県防災会議幹事会

3月17日(火) 自治会館 <資料配布>

(吉田副会長)

沖縄県地域防災計画の一部修正をするという会議内容であった。沖縄の地理状況も踏まえ、津波による浸水想定図を追加したこと、大型台風を想定した高潮による浸水想定図の一部修正という内容であった。また、本会が新たに指定地方公共機関に認定された。

**20. 九州厚生局沖縄事務所との打ち合わせ**

3月24日(火) 県薬

(吉田副会長)

本会から仲真良重氏と出席した。但し、仲真氏は指導官の立場にある。集团的個別指導は41件を予定している。個別指導は20件で、その内再指導は2件。新規の個別指導は37件で件数が増えてきている。

**21. 沖縄県薬物乱用防止協会平成26年度第2回理事会**

3月16日(月) 県庁 &lt;資料配布&gt;

(前濱常務理事)

吉田久子氏とともに標記協会の理事として出席した。薬物乱用防止指導員は、薬剤師や民生委員、保護司など様々な職種で構成されている。その任期は2年で、次の募集は平成28年となる。主な活動は、「ダメ・ゼッタイ。」運動への参加、地域や学校における薬物乱用防止教室の開催などの他、講師を招いて薬物乱用防止に関する講演会を開催している。薬物乱用防止指導員として、薬剤師が求められている。地区でも募っていただきたい。

**22. 平成26年度薬物関連相談窓口担当者意見交換会**

3月17日(火) てだこホール &lt;資料配布&gt;

(前濱常務理事)

笠原理事と参加した。薬物乱用に関わる相談に対応する関係団体及び関係機関間の情報交換及び連携を図り、薬物乱用対策を推進することを目的に標記の意見交換会は開催されている。県内の薬物事犯や危険ドラッグの状況報告、認知行動療法による薬物依存症治療プログラムについて話し合われた。

**23. 青年部会役員会**

3月16日(月) 県薬

(石川理事)

主に、薬学生へのU・Iターン啓発事業について話し合われた。本会の無料職業紹介所責任者である事務局の大城係長と企画・運営を進めている。

**24. 平成26年度第3回薬剤師学術研修委員会**

3月17日(火) 県薬

&lt;資料配布&gt;

(外間理事)

当委員会が企画、運営する主な行事の開催日等を決めた。29回目の開催となる沖縄県薬剤師会学術大会は、駐車場と会場について近隣医療団体と調整をしたところ、11月1日(日)もしくは11月15日(日)が空いていた。11月21日、22日、23日は日本薬剤師会学術大会(鹿児島大会)と医療薬学会(横浜)が予定されており、両学会に参加される会員にとっては前週の15日は前準備等で忙しくしていることが予想される。これらをふまえ委員会で検討したところ、11月1日(日)に開催することになった。また、平成27年度の新任・新人薬剤師研修会は、7月5日(日)に開催することにした。この二大行事は、実務実習で沖縄に帰省している薬学生も参加できるように、実務実習期間中に開催することになっている。

当委員会では、平成27年度に新たな研修会を企画している。一つ目は、東京薬科大学客員教授の松本有右氏を講師に招いて、来る4月18日(土)に「高齢者におけるハイリスク薬の薬学的管理研修会」を開催する。二つ目は、福岡薬物治療研究会会長で元昭和薬科大学教授の大澤友二氏を講師に招いて症例検討入門研修会を年度内で4回開催する。症例検討入門研修会は、高血圧をテーマに第1回基礎編、第2回応用編とし、第3回と第4回は心不全をテーマに基礎編、応用編と開催する予定である。

25. 豊見城薬局との打ち合わせ

3月18日(水) 豊見城薬局

(我喜屋理事)

豊見城薬局も去年の会営薬局とよみと同じような薬剤師不足という厳しい状況であるとのことであった。

26. 平成27年度実務実習受入施設指導薬剤師研修会

3月27日(金) 県薬 <資料配布>

(我喜屋理事)

実務実習受入委員会の地区担当者を紹介した。新たに浦添地区担当者を決めた。平成27年度の指導薬剤師は1期と2期を合わせても8名しかいないため、一度も研修を受けていない薬剤師に声をかけている。

27. 会営薬局うえはら、とよみの薬剤師の状況について

<資料配布>

(我喜屋理事)

県に申請した管理薬剤師の兼務の件について、日曜日と祝祭日は許可がおりなかったが、かろうじて土曜日の午後の兼務は可能とのことで、協力薬剤師が土曜日に入ってくれるだけで常勤薬剤師の休暇が確保できる。5月、9月、11月の連休を控えている中、常勤薬剤師の休みを確保する意味で非常に良かった。会営薬局うえはらも厳しい状況にある。あと、会営薬局とよみに就職を希望している薬学生は残念ながら不合格であった。

28. 平成26年度社会保険指導者研修会

3月19日(木) フクラシア東京ステーション<資料配布>

(吉田副会長)

田場専務理事と出席した。厚生労働省から、主に最近の保険行政の動向や保険薬局・保険医療機関への指導監査、主な指摘事項についての話があった。

29. 医薬分業指導者協議会

3月23日(月) 厚生労働省

<資料配布>

(田場専務理事)

吉田副会長の代わりに出席した。厚生労働省からは、薬剤師を取り巻く状況と平成27年度薬剤師関連予算について話があった。また、地域に密着したかかりつけ薬局・薬剤師を推進するための取り組みについて、「地域の健康情報の拠点としての薬局の機能」「地域における薬剤師に期待される役割」などの話があった。

30. 平成26年度第2回健康長寿おきなわ復活県民会議幹事会

3月30日(月) 県庁 <資料配布>

(田場専務理事)

同幹事会の構成団体の取り組みが紹介された。本会は「薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点事業」を設置して健康サポートを実施することを紹介した。

31. 管理者会議

3月24日(火) 県薬

32. 沖縄県薬剤師会第71回臨時総会

3月29日(日) 県薬

33. 平成26年度第1回沖縄県国民保護協議会

3月30日(月) 自治会館 <資料配布>

34. 平成26年度第1回沖縄県防災会議

3月30日(月) 自治会館 <資料配布>

(神村会長)

国民保護協議会に続いて、防災会議が行われた。近年、災害による被害の規模が拡大化する傾向にあり、行政を取り巻く社会情勢の変化や県民のニーズの多様化により、行政機関だけで対応するのが困難な状況にあることから、県は民間機関と連携した防災体制の強化を図っている。その民間機関を県知事が指定する指定地方公共機関としているが、沖縄県薬剤師会は入

ていなかった。東日本大震災において、沖縄県の薬剤師が被災地で大変重要な役割を果たし、活躍をしてきたことを以前より訴えてきたこともあり、今回の会議で沖縄県薬剤師会は、災害応急活動において重要な機関として指定地方公共機関に指定された。

**35. 三師会懇談会**

4月1日(水) えなみ(那覇市松山)

(神村会長)

医師会、歯科医師会、薬剤師会の各会長で懇談会を行った。主に、琉球大学医学部附属病院の移転の話題で盛り上がった。

**36. 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部幹事会**

<資料配布>

4月8日(水) 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部

**37. 東京理科大学薬学部薬学科からの臨床研究実施計画書に基づく相談について** <資料配布>

**38. 平成26年度第6回広報委員会**

3月24日(火) 県薬

<資料配布>

(宮城常務理事)

主に、次年度の事業計画について話された。①おきなわ薬剤師会報の年6回隔月発行と会報掲載用取材、②薬剤師職能のPR、③本会主催行事の司会役、④「熟年の集い」の開催企画、⑤マスコミ、医薬情報誌発行社等との情報交換会、⑥他団体、他薬剤師会広報委員との情報交換会、⑦薬科系大学との情報交換、等を事業計画として、来る臨時総会に提案することとした。また、日本薬剤師会雑誌の新コーナー「都道府県薬剤師会こんなことやっています」への投稿文について、沖縄県薬剤師会は6月号に掲載される予定となっている。投稿文の内容は、去る3月の定例理事会で「神殿・薬学資料館」を紹介することに決定されたことをふまえ、執筆者について話し合わせ、神村会長、宮城常務理事、事務局の大城係長で調整することになった。

**39. JPALS研修会**

3月25日(水) 県薬

(外間理事)

JPALS研修会は、当委員会の亀谷常務理事が講師となり、参加希望の会員へ開催日を募り、次の日程、参加人数で開催された。1月15日(木) 15名、1月29日(木) 4名、1月31日(土) 4名、1月31日(土) 5名、2月15日(日) 22名、3月25日(水) 4名。延べ受講者数は54名であった。更新に必要とされる18本の学習記録の報告をした会員は、平成26年年10月20日時点で9人だけであったが、平成27年年3月9日には45人になり、さらに追加で行った同研修会終了後の平成27年3月末の報告期限には79人に増加した。多くの会員が更新することができて良かった。

**40. 偽造処方せん発見時の情報提供について**

<資料配布>

(亀谷常務理事)

偽造処方せんによる処方せん医薬品の搾取(未遂)事件が発生した。中部地区の薬局から電話があり、来局当初は偽造に気付かず薬をわたしたが、後日の処方せんチェックで不審に思い、医療機関に照会したところ、受診歴、発行歴も無いことから偽造処方せんであることが判明した。本人に電話して確認をしたところ偽造を認めた。悪気は無く素直に謝ったとのこと。昨今、カラーコピーやパソコン等を使用した偽造処方せんにより、医薬品を搾取する事例が散見されることから、偽造処方せんの注意喚起と偽造処方せん発見時の情報提供を呼びかける文書を会員へFAX一斉同報にて案内した。発信文には、薬剤師は医薬品の乱用やそれに伴う健康被害の防止、健康保険法に基づく療養の不正な受給の防止のため、偽造処方せんの行使を未然に防

止し、また被害が拡大しないように対応することが求められているので、偽造処方せんが発見された場合、速やかに保健所、薬剤師会への遅滞ない情報提供をすることと、情報提供の際には「偽造処方せん発見報告書」を利用するようにと記載した。

41. 薬剤師会の組織強化関連調査 3月25日(水) 東京都薬剤師会 <資料配布>  
(田場専務理事)

本会組織強化委員会委員でもある行政薬剤師部会の阿部義則氏から、薬剤師会組織強化関連調査のため東京都薬剤師会(以下、都薬)に調査を実施したことの復命書が提出されている。対応したのは、都薬の常務理事と事務局長。内容は、①会員になるための仕組み(病院や卸、行政の薬剤師の扱いや地区薬剤師会との取り組み)、②会費の見直しの検討、③国、行政が関わる会主催の事業に非会員は参画しにくい状況とし、会員にならないとデメリットを感じさせることを全面に出して会員獲得に繋げる方法、等となっている。

42. 会計監査 3月30日(月) 県薬

43. 管理薬剤師業務講習会(宮古地区) 4月3日(金) 宮古地区薬剤師会事務局

44. 会営薬局うえはら、とよみの建物賃貸借期間について <資料配布>  
(神村会長)

会営薬局うえはらと会営薬局とよみの建物は、賃借し更新してきたことはご存じのとおりである。会営薬局うえはらは、平成20年3月30日の契約期間満了とともに建物が取り壊されることが契約書には記されているが、実際は毎年更新して継続している状況で、今後もそのように継続していく。会営薬局とよみは、5年更新の契約となっており、今度の満期は来年の平成28年5月30日である。豊見城中央病院が移転するという話が出ており、継続しての更新となると更に5年間契約となり、できるだけ早い時期から今後の方針を決めておいた方が良く考えている。豊見城中央病院の移転については、落成が4年後という話もあるが、現時点では明確となっていない。建物の耐用年数等も含め、賃貸人と毎年更新とすることができないか交渉する。

報告(薬連)

1. 平成26年度定時評議員会 3月25日(水) スクワール麴町 <資料配布>  
(神村会長)

次期参議院議員選挙に続けて藤井基之議員を出馬させることになった。主に藤井議員の後援会活動について話し合われた。あと、青森県から木村隆司氏が出馬する話もあった。

2. 衆議院議員國場幸之助氏訪問 3月28日(土) 國場幸之助事務所 <資料配布>

3. 自由民主党沖縄県支部連合会総務会 4月4日(土) 自治会館

4. 自由民主党沖縄県支部連合会大会 4月4日(土) 自治会館 <資料配布>

5. その他

## 平成27年度 第2回 定例理事会議事概要

日時：平成27年5月16日(土) 19:00～21:30

場所：沖縄県薬剤師会館 研修室

### <出席者>

会 長：神村武之

副 会 長：松山朝雄、吉田洋史

理 事：田場英治、江夏京子、亀谷浩昌、宮城敦子、前濱朋子、新垣秀幸、幸地良信  
笠原大吾、村田美智子、外間惟夫、古謝真己（代理）、川満直紀（代理）

監 事：大城桂子

欠 席：山里勇、石川恵市、川上善久、我喜屋美香、玉城純

事 務 局：山城英人、松堂恵美

### 議 題

#### 1. 平成27年度くすりと健康フェア講師選定について <資料配布>

理事会での挙手により、推薦順位を次のように決定した。1位高柳和江氏、2位中井宏次氏、3位松本ハウス、吉田貞夫氏、福澤恒利氏（3者同位）。

#### 2. 平成27年度医療通訳ボランティア養成講座講師のご推薦について <資料配布> (吉田副会長)

沖縄県国際交流・人材育成財団より、医療機関等を受診する際のコミュニケーションに不安を抱える在住外国人のために、英語・中国語・スペイン語・韓国語による医療通訳ボランティア養成するための講師派遣依頼がきている。日本語による医薬分業や院外処方せん発行のしくみ及び医療用語の解説等を交え講演する。今回は私がDI作成の指差し確認表も利用して講演した。講演後に指差し確認表を提供したところ、喜んでいただいた。

今回、講師推薦が出なかったため、前回に引き続き吉田副会長が行うことになった。

※その後、吉田副会長が公務によりできなくなった為、阪本崇彰氏が代わりに講師を引き受けた。

#### 3. 保守契約満了にともなう給茶機購入について（会営薬局うえはら） <資料配布> (山城課長)

会営薬局うえはらの待合室に設置している患者サービス用の給茶機が12年間使用し、保守期間も満了している。買い換えを提案したい。見積もりではレンタルの場合月額約1万円（保守料込）、買い取りの場合、約605,000円（保守料別）。10年間の長期で使用していくレンタルが良いと思われる。

協議の結果、レンタルすることで買い換えが承認された。

#### 4. アタマジラムシ治療薬整備に向けた要望について <資料配布> (吉田副会長)

東京理科大学薬学部教授の小茂田昌代氏より依頼があった。現在日本ではアタマジラムシ治療薬はOTCのスミスリンシャンプー（又はパウダー）0.4%のみである。医療用アタマジラムシ治療薬整備を目的として、厚生労働省の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」へ、海外ではすでに使用されているフェノトリンローション5%の適応拡大とイベルメクチンローション0.5%の日本での承認を要望したい。そのため要望書に関連団体として沖縄県薬剤師会

の名前を記載させて頂きたいとのことである。

協議の結果承諾された。

#### 5. 第72回通常総会に提出する関係資料について

＜資料配布＞

(山城課長)

総会資料の承認後、来週の月曜日に各代議員へ開催案内とともに送付予定である。今回も各地区薬剤師会代表質問を行うにあたり、代議員及び各地区会長宛に質問の提出依頼を送付する。提出締め切りは6月2日予定。当日の質問順序は、後ほどくじ引き決定する。質疑応答時間について、地区会長会議等で議論し、前回と同じ7分となった。

(神村会長)

代表質問はしっかり準備してほしい。他地区と質問が重複してしまうこともあるため、少し多めに質問を用意したほうが良い。

(山城課長)

次第資料に沿って役割を確認した。

議事進行方法、次第について承認された。

続いて、報告第1号平成26年度会務並びに事業経過報告について意見が求められた。

(神村会長)

事業報告の中に「共同指導、個別指導の実施状況報告」があるが、こちらは薬剤師会の事業ではない。厚労省の事業であり、その対象は薬剤師会の会員薬局に限らない。取扱いを今後検討する必要がある。

続いて、議案第1号平成26年度決算承認の件について説明された。

(山城課長)

財務担当理事が不在の為、事務局より説明する。貸借対照表について。当年度で資産の部、固定資産、特定資産合計140,397,641円、その内九山積立預金は毎年1,500,000円積立で11,612,353円、10,000,000円を超えてきたため、今後について財務委員会で検討したい。会館修繕積立預金は、毎年300万円積立で29,742,607円、今期より開始した豊見城中央病院移転に伴う会営薬局とよみ移転積立預金が10,001,000円。資産合計が1,067,636,715円、負債の部、負債合計は410,853,372円で、その内建物の借入金で長期借入金139,191,000円、毎月1,000,000円支払っている。15,429,289円が今期の薬剤師会全体の収益。正味財産増減計算書について。経常増減の部、経常収益計1,743,344,553円、その内入会金620,000円、正会員受取会費50,340,800円、賛助会員受取会費が昨年と比べ、処方せん単価1円下げて8円にしたことで、8,000,000円程減額し45,953,999円。その他事業収益については、薬局情報拠点事業の補助金で約5,000,000円増額し、会営薬局全体の調剤報酬収入は、とよみが土日祝祭日の業務が減ったことで7,000,000円程減額。経常費用で事業費1,681,590,988円、前年度との比較では会議費と旅費交通費の仕分け見直し等により、金額の差が出ている。それ以外では、消耗品費で、昨年うえはら・とよみでの電子薬歴入替により、5,000,000円程減額。広報費は薬局配布用のお薬手帳使用促進CM(DVD)作成等の為、2,000,000円程増額している。管理費34,593,034円、その内支払手数料が派遣委託料により1,500,000円程増額している。

(神村会長)

税引前当期一般正味財産増減額27,130,287円に対して法人税8,116,300円は何%ぐらいか。

(山城課長)

35%程である。

(神村会長)

両会営薬局の収益より毎年センター前薬局の5,000,000円程の赤字を補填している。しかし今後、10年の長いスパンで考えるとどうなるかわからない。その中で賛助会員B会費について協力していない薬局には強く要望して欲しい。分業バッシングが起きている中で、あらためて医薬分業を推進していくためには絶対必要な資金である。地区薬からも各薬局に対して強く理解を求めてほしい。

(大城監事)

4月15、21日に終日かけて監査を行った。事業内容とそして収支については疑問等追求し回答を求めて正確であることを確認した。

資料について、協議の結果了承された。

また、地区代表質問順位は地区担当理事によるくじ引きにて、1.八重山、2.南部、3.北部、4.宮古、5.中部、6.那覇の順となった。

## 6. 次期委員会委員の編成について

<資料配布>

(山城課長)

今回は委員会の見直しがある。主な変更箇所としては次の通り。

- ・薬剤師学術研修委員会→学術研修委員会へ
- ・保健福祉委員会→在宅委員会と地域保健開局委員会へ
- ・開局委員会、自殺対策検討委員会、基準薬局制度運営協議会  
→廃止し、事業は地域保健開局委員会へ
- ・これまで小委員会としていたお薬手帳検討委員会、不動産庫・備蓄ネットワーク委員会  
→小委員会を廃止し、医薬分業対策委員会へまとめる

今期の委員会について、選出をお願いしたい。

委員会の内容によって、地区、部会からの推薦が好ましいものや、所属先関係なく専門性を必要とするもの等、その選出方法や人員数について考える必要があることから、現在の各委員会委員長、副委員長と主なメンバーで検討してもらうこととした。

## 7. 新理事候補者について（地区・部会）

<資料配布>

(山城課長)

現時点での理事候補者を提示。6月理事会にて承認を得、同月21日の通常総会にて承認を得ることとなる。

## 8. 予備代議員の選出について

<資料配布>

(山城課長)

予備代議員について一部未選出のため、まだの地区は決まり次第報告して欲しい。

## 9. その他

議題4のアタマジラミ症治療薬整備に向けた要望について琉大病院に連絡が入っているかの質問があり、こちらに関してはすでに同病院の皮膚科と連絡を取っている旨回答された。

報告（会）

1. 会営薬局の調剤保険料等（4月分）及び病院別院外処方せん発行状況 <資料配布>

2. 学薬役員会 4月12・26・5月10日（日） 県薬

（前濱常務理事）

学薬役員会にて総会に向けての話し合いをもった。

3. 学薬新人研修会 4月26日（日） 県薬

（前濱常務理事）

今年度の新人や学薬に興味のある方向けに研修会を行った。

4. グッジョブおきなわ推進事業「未来の人材育成事業」について打ち合わせ 5月7日（木） 県薬

（前濱常務理事）

5月29日に薬剤師職能の紹介として講話（浦西中学校）を行うにあたり、打ち合わせを行った。

5. 損保ジャパン日本興亜 来訪 4月13日（月） 県薬

（亀谷常務理事）

昨年発生した医療事故での対応について。蜂に刺され来局した女子中学生に対して、アンモニア水を患部に使用し、その後症状が悪化。患者からの訴えにより賠償金を求められる事態となり、薬局が賠償金を支払い和解した。しかしその際、薬剤師の行為が医行為に当たるとして、当初薬剤師賠償責任保険が下りなかった事例である。事後、薬局より県薬の事故対策委員会に相談があり、委員会として保険会社の損保ジャパンと話し合いをもった。委員会としては、①薬局内での薬剤師の処置は、消毒薬を希釈して使用しなかった落ち度はあるものの、消毒薬の使用法を実際に使用してみせて説明した行為と解釈され、通常の薬剤師の販売行為の範疇に属するものであって、「医行為」には当たらないのではないかと。②「医行為」とは業として行う医療行為であり、薬剤師の処置はこの点でも「医行為」には当たらないのではないかと。③上記①及び②の理由により、損保ジャパンが保険の適応範囲外と判断したのは間違いではないかと。これらの疑問点を投げかけた。また、今回事が大きくなった原因の一つとして、損保ジャパンの初期対応の悪さも挙げた。しかし保険金は下せないとのことであった。その後、「第76回九州山口薬学大会」医療安全対策連絡協議会へのアンケートに今回の事例を挙げたところ、同協議会の一人が日薬の保険会社担当をしており、この方も保険金はおろるべきであるとして保険会社と交渉し、最終的に全額保険適応されることとなった。今回の損保ジャパン来訪はその対応についての説明と謝罪であった。

薬剤師賠償責任保険は自動車事故保険と違い当事者が積極的に保険会社へ働きかけ処理を進めていかなければならないということを認識する必要がある、との説明があった。

6. 平成27年度第1回医療安全対策委員会 5月13日（水） 県薬 <資料配布>

（亀谷常務理事）

平成27年度医療安全講習会の開催日について。平成28年2月7日（日）を予定している。また、現在誤飲注意喚起ポスターの作成中であり、その校正について協議した。

7. 会計監査 4月15・21日（水・火） 県薬

8. 八重山地区薬剤師会総会 4月17日（金） 八重山

（幸地理事）

総会では前年度の事業について報告した。昨年度はおくすり相談会のほか、12月にサンエー石垣シティでの福祉祭りにて、薬剤師会のブースを出し「ちびっ子調剤体験」を行った。また八重山病院薬局との連携でファーマシィボーリング大会も開催した。その後予算、決算についても報告・決議され、総会は無事終了した。

9. 管理薬剤師業務講習会 4月22日(水) 大濱信泉記念館  
(幸地理事)  
会営薬局の仲真薬局長を講師として、管理薬剤師講習会を八重山でも開催した。
10. ハイリスク薬の薬学的管理講習会 4月18日(土) 県薬 <資料配布>  
(田場専務理事)  
東京薬科大学客員教授、東京都薬剤師会常務理事の松本有右先生を講師としてお招きし、開催した。
11. 平成27年度「薬と健康の週間」第1回調整会議 4月28日(火) 那覇市保健所 <資料配布>  
(田場専務理事)  
今年度の「薬と健康の週間」について、県、那覇市、薬剤師会でその役割分担やフェアについて話し合いを持った。今回は同週間中に恒例の街頭キャンペーンを中止し、那覇市役所又は県庁ロビーでポスター展示を行うことになった。
12. 薬局を活用した結核患者への服薬支援事業について <資料配布>  
(田場専務理事)  
中部地区で試験的に始まったDOTSを全県に広めたいということで、そのための研修会を開催、その後実施していきたいとのことである。
13. 九州山口地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関運営委員会 4月22日(水) 福岡県薬
14. 実務実習オリエンテーション 5月11日(月) 県薬
15. 会営薬局うえはら、とよみの薬剤師の状況について <資料配布>
16. 平成27年度第1回九州・山口地区実務実習調整機構会議 5月15日(金) 博多都ホテル  
報告事項13～16については、担当理事が欠席の為次回理事会にて報告予定。
17. なごみ会県民健康フェア第4回実行委員会 4月23日(木) 沖縄県医師会 <資料配布>  
(笠原理事)  
8月9日(日) 沖縄コンベンションセンターで開催されるフェアについて、参加する各団体の役割分担等について話し合った。今年は新しい試みとしてスタンプラリーを行う。
18. 健康情報拠点推進事業会議 4月30日(木) 県薬  
(笠原理事)  
健康情報拠点事業として、全県に募集したアンケートを基にデータを集計して冊子を660部作成、各薬局及び県、国、日本薬剤師会に報告として郵送した。また、同事業で使用した残薬回収お薬バッグが残っているため、今年度もお薬バッグ事業を継続する。
19. 平成27年度第1回スポーツ医・科学委員会 5月1日(金) 沖縄県体協スポーツ会館  
(笠原理事)  
DIの吉田氏と2名で出席。この委員会は年2回開催され、今回は計画を、次回は来年2月頃の予定。後日、報告をすることになっている。
20. 九山代表者会議 4月27日(月) 福岡県薬 <資料配布>  
(神村会長)  
まず、日薬賞、日薬功労賞への推薦について。今年九山からは日薬賞に高祖順一氏(佐賀県薬)、功労賞に日永田義治氏(熊本県薬)、日本薬剤師会学校薬剤師賞へは井上嘉明氏(福岡県薬)を推薦することに決まった。また日薬総会決算委員会委員については、九山からは福岡県原口氏、宮崎県の小山氏を推薦することとした。

21. 九州山口地区薬剤師会 薬局実務実習受入調整機関評議員会 4月27日(月) 福岡県  
<資料配布>

(吉田副会長)

私はオブザーバー参加のため、詳しくは次回に担当理事(今回欠席)より報告される予定。

22. 平成27年度第1回沖縄県がん診療連携協議会 5月1日(金) 琉球大学医学部 <資料配布>  
(神村会長)

協議会は毎回琉大で行われ、メンバーには医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会の各代表も含まれているが、直接患者の意見を聞くことができる有意義な会議である。

23. 決算会計監査 5月7日(木) 県薬

24. 社会保険診療支払基金沖縄支部 幹事会 5月8日(金) 社会保険診療支払基金沖縄支部  
<資料配布>

25. 平成27年度第1回都道府県会長協議会 5月13日(水) 日薬 <資料配布>  
(神村会長)

今回問題になったのは、無資格調剤に関する新聞報道についてである。国民に医薬分業を認めて頂くためには、薬剤師自らが自覚を持って取り組まなければならない。

26. 日薬雑誌寄稿記事に関する打合せ 4月28日(火) 県薬  
(宮城理事)

日薬会報6月号より都道府県の薬剤師会紹介ページ「都道府県薬剤師会～こんな事をやっています～」が設けられることになり、神村会長にインタビューをしながら打ち合わせを行った。沖縄県は7月号に掲載されるのでぜひ読んで欲しい。

27. 沖縄県薬業連合会 監事監査 5月11日(月) 県薬

28. 個別指導 5月14日(木) 県庁

29. その他  
(幸地理事)

報告25の都道府県会長協議会資料にある文部科学省「土曜学習応援団」とはどのようなものか。  
(神村会長)

土曜日を利用して、子供達に様々な内容の授業を行う事業である。

(亀谷常務理事)

また偽造処方箋が発生しているので、医薬品事故・過誤対策委員会の中で、以前作成した啓発ポスターを再度薬局に配布した方が良いとの意見が出たが、配布して良いか。

この件に関しては、却って処方箋の偽造を誘発される可能性もある、逆にはっきりと犯罪であることを周知することも必要、等の意見が出たが、協議の結果配布することが了承された。

(神村会長)

「アッセンハイマー慶子氏来日記念講演」及び「薬剤師のための症例検討入門研修会」(5/31 於：県薬)について、アッセンハイマー慶子氏はドイツの薬学、薬局の現状等について講演されており、著名である。来日すると聞き、今回の講演会を依頼した。症例検討入門研修会と同日開催である。今回病薬の参加費を今回5,000円としているが、見直す方向で良いだろうか。

議論の結果、病薬会員は1,000円で検討することとした。

報告（薬連）

1. 「名簿管理システム」説明会

4月16日（木）日薬 <資料配布>

（山城課長）

来年7月に参議院選挙（藤井基之議員出馬）に伴う講演会名簿の管理についてシステムの説明及び、来年に向けてのスケジュール等が報告された。沖縄県薬剤師連盟でも総務会を予定しており、段取りよく進めていきたいと考えている。

2. 宏池会と語る会

5月13日（水）東京プリンスホテル

（神村会長）

日薬都道府県会長会議の後に開催された。総理大臣や官房長官も参加する盛大な会であった。

3. 沖縄県薬剤師連盟 若手フォーラム

6月6日（土）シーメンズクラブ <資料配布>

（山城課長）

藤井選挙に向けて、6月6日（日）に沖縄県若手薬剤師フォーラムを開催する。講師には日薬連副会長兼幹事長の岩本研氏を予定している。

（神村会長）

今回は若手に任せており、青年部会の石川理事を中心に企画している。当日は岩本幹事長に話してもらう。また明日から宮城、前濱両常務理事が薬連の女性部会に派遣されるので、その報告をする予定である。

日薬通達

日本薬剤師会 会員の皆様

## 会員向け 見舞金制度について

掛け金は  
不要です！

**制度概要（補償内容）**

日本薬剤師会全会員を対象として、日本国内において「業務」を遂行することによって、本人の死亡及び重度後遺障害が起こった場合に定額の見舞金をお支払いする新たな会員サービスを開始しました。

**補償限度額**

本人死亡	166,000円	
後遺障害（等級により違いあり）	最高 166,000円まで	
・1級 … 両上肢をひじ以上で失ったもの等	→ 166,000円	
・2級 … 両目の矯正視力が0.02以下になったもの等	→ 147,740円	
・3級 … 両手の手指の全部を失ったもの等	→ 129,480円	

《注》  
**疾病による死亡、  
後遺障害は  
対象外です！**

※働いている会員が日本国内において「業務」を遂行することによって、事故に遭われた場合に見舞金が支払われます。

※事故の発生の日からその日を含めて180日以内に、死亡または重度後遺障害（後遺障害1～3級限定）が生じた場合、166千円を限度に見舞金をお支払します。

**事故事例**

患者等への訪問途中で車と衝突（死亡事故）。	→ 166,000円
業務中に階段から転落。両足に後遺障害（2級）を負った。	→ 147,740円

◆◆◆ 見舞金のご請求について ◆◆◆

見舞金をご請求される方は、会員または法定相続人より、速やかに所属の都道府県薬剤師会あてご連絡ください

日本薬剤師会 会計・厚生課  
TEL: 03-3353-1190

引受保険会社：損保ジャパン日本興亜株  
TEL: 03-3593-6435

## 平成27年度 第3回定例理事会 議事概要

日時：平成27年6月13日(土) 19:00～22:00

場所：沖縄県薬剤師会館 研修室

### <出席者>

会 長：神村武之

副 会 長：松山朝雄、吉田洋史

理 事：田場英治、江夏京子、山里勇、亀谷浩昌、宮城敦子、前濱朋子、玉城純、新垣秀幸  
幸地良信、下地仁、笠原大吾、村田美智子、我喜屋美香、石川恵市、川満直紀（代理）

欠 席：外間惟夫、川上善久

事 務 局：山城英人、金城みどり

### 議 題

#### 1. 平成27年度医療通訳ボランティア養成講座講師のご推薦について

（田場専務理事）

先月の理事会で吉田洋史理事に講師をお願いすることで了承いただいていたが、公務で都合が合わなくなったため、あらためて推薦を求めたい。他にいないようであったら、坂本崇彰先生を推薦したい。彼は、南部医療センター・こども医療センター病院を退職後、あにも薬局に勤務し、大阪の予備校で週1回の講師を務めており、県薬として若手発掘を踏まえてお願いしたい。

以上のとおり承認された。

#### 2. 薬局の構造規制の緩和に反対する決議文について

（神村会長）

現在、規制改革会議では、医薬分業における規制の見直しとして、医療機関と薬局の構造的独立を確保するための規制が緩和されようとしている。これまでの規制は、医師と薬剤師が適切に業務を分担し安全で安心な薬物治療の提供を実現するための原則であり、それを確かなものとするには、薬局は医療機関から「経済的」「機能的」「構造的」に独立していることが不可欠である。資料のとおり日本薬剤師会と本会の連名で薬局の構造規制を緩和することに強く反対する旨の決議文を規制改革会議に提出したい。同様に全国の都道府県薬剤師会も取り組んでいる。

以上のとおり説明され、満場一致で承認された。

#### 3. 子どもによる医薬品の誤飲事故防止啓発ポスターについて

（亀谷常務理事）

子どもによる医薬品の誤飲事故は、全国的に少なくないということで、保健所等より県民へ注意喚起をしてほしい旨の依頼を受けて、医薬品事故過誤対策委員会でポスターを制作している。ポスター下部に県医師会、県歯科医師会、県看護協会の名称を入れて協賛ということにしたい。

協議後承認された。

#### 4. 第48回日本薬剤師会学術大会 座長推薦について

（田場専務）

第48回日本薬剤師会学術大会における分科会「薬剤師が担う生薬の過去から未来」の座長の

推薦依頼があり、内容が各地に自生する薬草等についてということで、県薬会報に女性薬剤師部会が「暮らしの中の薬草学」を連載していることから、部会長の村田美智子先生を推薦したい。

満場一致で承認された。

#### 5. 新理事候補者及び第72回通常総会に提出する関係資料について

(亀谷常務理事)

新理事候補者を次のとおり提案したい。五十音順で、荒井千春先生(在宅)、新垣秀幸先生(南部地区)、石川恵市先生(青年部会)、江夏京子先生(医薬分業)、我喜屋美香先生(実務実習)、笠原大吾先生(地域保健開局)、川満直紀先生(医療保険)、幸地良信先生(八重山地区)、下地仁先生(宮古地区)、成川賢一先生(北部地区)、姫野耕一先生(那覇地区)、外間惟夫先生(病院薬剤師部会)、前濱朋子先生(学校薬剤師部会)、宮城敦子先生(広報)、村田美智子先生(女性薬剤師部会)、山里勇先生(卸勤務薬剤師部会)、吉田洋史先生(災害対策)、吉富弓江先生(医療安全対策)、そして私亀谷で合計20名の定数内となっている。

満場一致で承認された。

#### 6. 第72回通常総会 地区代表質問について

<資料配布>

地区から出された代表質問の内容を確認し、それに対する回答者を選出した。

回答者は、回答を幹事会に提出し幹事会にて精査することとする。

#### 7. 各種委員会の委嘱について

現時点での各地区薬剤師会等から選出された次期委員会委員名簿が提出され、今後新体制における各委員会担当理事が就任し、委員会でその他の委員を推薦していくことになる。

(神村会長)

同じ人に偏らずに専門性を活かしつつ、若手を育てていってほしい。

提出された各種委員会委員について承認された。

#### 8. 沖縄県学校薬剤師会会則→沖縄県薬剤師会学校薬剤師部会規定への改正

(前濱理事)

これまでの沖縄県学校薬剤師会から県薬の部会として組織編成されたので名称を沖縄県薬剤師会学校薬剤師部会規定とし、本文についても「会」から「部会」に文言等を改訂する。また役員の会計担当を1名から2名に増員する。これらのことは明日開催する学校薬剤師部会の総会で承認いただく予定になっている。

(吉田副会長) 部会員に関する事項等の明記されていないが、どのようになっているのか。

(前濱理事) それ以外でも再確認して検討していきたい。

(村田理事)

女性薬剤師部会は、部会則がない。部会則があると活動がしにくくなるのではとの理由で存在しなかったのではと考える。今後、青年薬剤師部会則と学校薬剤師部会則を参考に検討してみたい。

(吉田副会長)

会則等の重要な部会事項については、各部会の総会で決定し、本会理事会には報告でよいと思われる。

#### 9. その他

(神村会長)

県薬会館ホールの舞台が傷み始めているため、固定された舞台として新規に制作したい。1週間程度で完成するため、準備を進めていきたい。

(神村会長)

6月27日、28日に日本薬剤師会代議員総会が開催される。今回の九州ブロック代表質問は沖縄県担当で、吉田副会長が発表することになっている。

(吉田副会長)

代表質問では、11ブロック中、九州ブロックは9番目の質問となっている。7つの質問を準備している。

- (1) 薬学生について（今後どのように薬学生会員を拡大し、関わっていくのか）
  - (2) 認定実務実習指導薬剤師の更新について（更新対象者への周知方法について）
  - (3) 日薬版電子お薬手帳について（具体的にはどのような機能を検討しているのか。また今後の展望・普及についてどのように考えているのか）
  - (4) 門内薬局等規制緩和について（規制改革会議での「医薬分業における規制の見直し」に対して厚生労働省の「かかりつけ薬局の推進」。2局化している考えに、今後日薬はどのように働きかけていくのか）
  - (5) 会館建設問題について（自前の会館構想が出てから今日に至るまでどれほどの時間がかかっているのか。90坪の手狭の土地に本当に建てるのか。今後隣の土地を買う交渉を続けるのか）
  - (6) 指導大綱見直しについて（日薬としては特定の薬局「技術料だけではなく薬剤料を含めた処方せん1枚あたりの平均点数が高いところ」にしか指導が当たらないということに疑問は無いのか）
  - (7) 健康情報拠点薬局（平成25年までにその数を1万カ所とするなど様々な事項が検討されているが、そのなかで拠点薬局に選ばれる要件とはどのようなことが想定されるのか、また認定はどこがするのか）
- となっている。

## 報告（会）

1. 会営薬局の調剤保険料等（5月分）及び病院別院外処方せん発行状況 <資料配布>
2. なんみん祭 5月17日（日）波上宮
3. 沖縄県産業・雇用拡大県民運動推進本部会議 5月19日（火）自治会館  
(田場専務理事)  
沖縄の雇用の現状と課題についての説明会であった。浦崎副知事が参加していた。
4. 薬と健康の週間 打ち合わせ 6月2日（火）那覇保健所  
(田場専務理事)  
薬祖際は10月19日（月）10時より波の上宮で、服装はスーツで統一すること。  
街頭キャンペーンは、開催せずに那覇市役所のロビーにてパネル展示を行うこと。  
くすりと健康フェア会場はパレット市民劇場を10月22日付けで仮押さえしていること。  
県民公開講演会の講師については、1位 中井宏次氏 2位 吉田貞夫氏 3位 松本ハウス氏の  
順番で交渉していくこと。等が話し合われた。
5. 平成27年度試験検査センター連絡協議会

6月4・5日（木・金）ホテルメトロポリタン高崎・群馬県薬剤師会 環境衛生試験センター  
(田場専務理事)

滋賀県薬剤師会の試験検査センターが民間に譲渡された。規制緩和による民間機関の参入による入札制度での価格下落で、ここ数年の事業損益の累積赤字が増大した。

(神村会長)

全国の試験センターにおいても赤字経営の末に閉めていく県が増えている。本県の試験検査センターにおいても同様な状況であるが、会営薬局の収益で補い運営している状況である。

6. 那覇地区薬剤師会総会及び特別講演会・懇親会 5月17日(日) 県薬

(川満理事)

総会終了後に特別講演として「在宅医療において工夫できること」と題して沖縄県がん診療連携協議会緩和ケア部会で県薬会員でもある伊藤昌徳先生に、症例や体験談を交えながら講演をしていただいた。

7. 平成27年度沖縄県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会 5月20日(水) サザンプラザ海邦

(神村会長)

当実行委員会委員長選出について継続で銘苅会長が就任した。今年度の事業も例年通りとなっている。その中、パレット久茂地前で開催している街頭キャンペーンについて、パレット久茂地前および国際通りの通行人は、ほとんどが観光客であることから県民への普及に役立っているのか疑問であるため、開催場所の変更を提案した。委員会からの報告では全国的にも沖縄県内における危険ドラッグの販売店舗数は多かったが、行政機関等の努力により摘発され、現在の店舗数はゼロとなった。

8. 九州ブロック日薬代議員予備会議 6月1日(月) 福岡県薬

(神村会長)

第48回日本薬剤師会学術大会が鹿児島県で開催される。学会への参加を積極的にお願したい。

9. 沖縄県薬業連合会代表者会議 6月3日(水) 沖縄都ホテル

(神村会長)

6月24日に沖縄県薬業連合会総会を開催する。終了後に懇親会があるため、副会長、常務理事の皆様に参加をお願いしたい。

10. 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部幹事会

6月10日(水) 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部

11. 神殿制作等に関する収支報告

(神村会長)

神殿制作の収支を報告する。制作費用および祭祀費用842,261円、現時点の寄付金収入が877,206円となっている。今後、薬にまつわる歴史資料等を神殿近くに展示していきたい。

皆様の協力をお願いしたい。

12. 平成27年度那覇市政功労者表彰 5月20日(水) パレット市民劇場

(笠原理事)

今年度は、西登貴世先生が受賞された。

13. グッジョブおきなわ推進事業「未来の人材育成事業」医療産業講話 5月29日(金) 浦西中学校

(前濱常務理事)

グッジョブおきなわ推進事業「未来の人材育成事業」の一環で、医療産業分野として、学校薬剤師についての紹介で浦西中学校において、会営薬局とよみ勤務で学校薬剤師の松尾はつよ先生に講師をお願いした。好評であった。

14. 沖縄県自然保護課・緑化推進課より来訪 5月21日(木) 県庁

15. 自然環境保全審議会温泉部会 5月27日(水) 県庁

16. 平成27年度第1回沖縄県自然環境保全審議会 5月27日(水) 県庁  
(宮城常務理事)

(14) (15) (16) をまとめて報告する。5月27日に開催される自然環境保全審議会温泉部会および平成27年度第1回沖縄県自然環境保全審議会の事前説明として県の担当者が来訪した。

5月27日の会議本番での、審議会内容の1つ目は、温泉部会関連で沖縄県の温泉の土地掘削の許可申請についてで、今回は竹富町西表島のマティータ西表リゾートとうるま市の伊計島のアイランドリゾート伊計島の件であった。2つ目は、鳥獣部会関連で鳥獣保護法の変更によりカモシカ、キジがすごく繁殖し、捕獲するハンター不足で、ハンター育成と摘要年齢の引き下げること等を審議した。

17. アッセンハイマー慶子氏 来日記念講演会 5月31日(日) 県薬  
(宮城常務理事)

広報委員会主催で、司会は広報委員の伊差川サヤカ先生、座長は前濱先生で「ドイツの薬局に学ぶ地域に根ざした薬局づくり」という演題で講演いただいた。参加者は82名で盛況であった。

18. 平成27年度第1回広報委員会 6月2日(火) 県薬  
(宮城常務理事)

今年の熟年の集いは、8月2日(日)に場所は沖縄都ホテル、そして特別余興に魅川憲一郎、じゅん選手、仲田幸子、古謝美佐子の方々が候補に上がっている。

しごとミュージアムの出店の依頼があり、7月8日(水)12時から沖縄コンベンションセンターで開催する。青年部会と実務実習薬学生に参加を呼びかけている。

また、グッジョブサマースクールが7月4日(土)午後からは市民活動支援センターで開催される。対象是那覇市内の小学生でこちらも青年部会にご協力をお願いしたい。

会報誌の表紙を次号より海外の薬局シリーズにする。第一弾とし、先日ご講演いただいたアッセンハイマー慶子先生のドイツの薬局を表紙に飾りたい。

19. 会報取材 Spot Light 武内尚子氏 6月11日(木) eclat女性専用トレーニングジム

20. 会報取材 Spot Light 上原繁猛氏 6月12日(金) 与那原家

21. 会報取材 Spot Light 我喜屋啓氏 6月13日(土) (株)沖明

(宮城常務理事)

11日に武内尚子先生取材で、薬剤師でありながら女性専用のトレーニングジムを運営されている。そして12日に昔、薬局を運営されていて今は飲食業を営んでいる上原繁猛先生を取材する。本日に取材予定していた動物薬専門の卸業社経営の我喜屋啓先生の取材は都合により延期となった。

22. 個別指導(2薬局) 5月21・28日・6月3・11日(木) 県庁・那覇第一地方合同庁舎

23. 沖縄県在宅医療連携体制推進委員会 第6回在宅医療連携システム構築に係る小委員会

5月25日(月) 沖縄県医師会館

(吉田副会長)

現在、沖縄津梁ネットワーク在宅医療連携システムの開発に遅れが出ており、その評価を6月の末頃にしたいとのこと。また運用フローについて、多職種も参加できるようにシステム利用者のアクセス制限についても検討する必要性がないかとのことだった。

24. おきなわ津梁ネットワークを活用した医療連携に関する意見交換会 6月15日(月) 沖縄県医師会  
(吉田副会長)

県医師会より、おきなわ津梁ネットワークシステムを活用した医療連携を本会と最初に行う

上で、調印式を交わしたいとの提案があり、早速6月15日（月）に予定している。

実際のシステムの運用開始は、6月下旬から7月にずれ込みそうとのことで、まずテスト運用で、個別に病院、診療所とその門前の薬局からスタートしてマンツーマンで事例を収集してから本スタートしてくとのことである。

## 25. 医療保険委員会

6月8日(月) 県薬

(吉田副会長)

昨年度日薬指示のもと、薬歴未記載について、薬局に対して自主点検報告を依頼し、集計を行った結果、沖縄では26薬局から未記載有りの報告があり、合計件数は28,825件であった。

来年の調剤報酬改定等説明会の開催日程が決まった。沖縄本島は3月21日(月)の祝日、てだこホールにおいて2部構成で考えており、一部に（南部・北部・中部地区）2部に（那覇地区）と予定している。

## 26. 平成27年度第1回健康長寿おきなわ復活県民会議

6月11日(木) 県庁

(吉田副会長)

神村会長が公務で出張の為、代理出席した。健康長寿沖縄復活に向け、昨年4月に健康長寿おきなわ復活県民会議を設立し、県民行動指針及び県民宣言の承認、そして健康長寿復活に向けたロードマップ作成に向け取り組んでいること等が説明された。また公益社団法人沖縄県トラック協会、沖縄県保健医療福祉事業団、沖縄県学校栄養士会、沖縄婦人連合会から健康に関わる各団体における取り組みについて発表していた。

## 27. 沖縄県医師会・沖縄県薬剤師会 おきなわ津梁ネットワークを活用した医療連携に関する協定調印式

6月15日(月) 沖縄県医師会<資料配布>

## 28. 琉球新報からのコラム執筆の依頼について

(吉田副会長)

琉球新報社から琉球新報の「南風」のコーナーへの執筆依頼があった。内容は各専門分野の立場からの情報や体験談等のコラム形式となる。7月から半年間の2週間に1回のペースでの掲載。各掲載前に会長に目を通して頂きたいと思う。

## 29. 宮古地区薬剤師会総会

5月23日(土) 宮古地区薬剤師会事務所

(下地理事)

神村会長に宮古まで出向いていただき、現在の日薬、県薬の活動内容を交えたご挨拶を頂いた。

## 30. 中部地区薬剤師会総会

5月24日(日) 沖縄市産業交流センター

(江夏常務理事)

30名の参加があり、平成27年度の事業経過報告・会計予算報告が行われ、中部地区FAXコーナー無人化に伴う職員を削減することについて議論され、地区薬剤師会の活動が財政的に厳しい状況になっていることなどが説明された。また役員改正があり、伊佐常隆先生が会長に就任した。

## 31. 医療介護総合確保促進法に基づく都道府県計画に対する地域の関係者の意見聴取

6月12日(金) 県庁

(江夏常務理事)

医療介護総合確保促進法に基づく都道府県計画の作成に当たっては、公平性・透明性を確保するために必要な措置を講じるよう努めることになっている。今回はその関係者間の意見交換会となっていた。意見として補助金確保事業申請している中、その進捗状況や結果等へ明確な理由が示されていないこと等が出された。また当会においては提案している平成26年度分の薬剤師確保事業について年度末の1ヶ月足らずで実施しないといけない状況があったことに対する異議申し立てをした。

32. 薬学生実務実習（学薬） 5月25日（月） 県薬

（笠原理事） 例年通り県薬での学薬の集合研修に薬学生9名中8名の参加があった。

33. 平成27年度第1回スポーツファーマシスト委員会 5月29日（金） 県薬

（笠原理事）

これまでのスポーツファーマシスト委員会は、今後、薬事情報センター委員会が担当することになる。

平成26年度のドーピングホットライン件数は30件で、これを4人で対応している。今後正確かつ迅速に対応するには増員が必要である。

34. 管理者会議 5月26日（火） 県薬

35. 九州山口地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関運営委員会 4月22日（水） 福岡県薬

（我喜屋理事）

九州山口薬剤師会9県と九州地区の8大学から27名の参加があった。

平成26年度事業報告の中では、ふるさと実習が増えてきていることなど報告されていた。協議事項では、次年度の実習生を受け入れ薬局を調整するためのマッチングスケジュールについて等が議論された。

36. 実務実習オリエンテーション 5月11日（月） 県薬

（我喜屋理事）

今回の実習生は9名で、北部に3名の実習生が入る。初めて実習生を受け入れる薬局が2薬局となっている。

37. 平成27年度第1回九州・山口地区実務実習調整機構会議 5月15日（金） 博多都ホテル

（我喜屋理事）

42名の参加者であった。沖縄県に対しての拠出金が175,000円となっており、算出方法は、指導薬剤師の人数ではなく、保険薬局数となっている。

モデル・コアカリキュラムのロードマップが開示された。

38. 実務実習指導薬剤師養成講習会・更新認定講習会 5月31日（日） 県薬

（我喜屋理事）

更新認定の実施要項がぎりぎりになって定まったため、今年度は新規認定と更新認定講習会を同日開催とした。そのような中に、日病薬認定指導薬剤師（認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップの参加を必須条件としない）の更新を目的とする受講もあった。

39. 会営薬局うえはら、とよみの薬剤師の状況について <資料配布>

（我喜屋理事）

会営薬局とよみに関しては、協力薬剤師のおかげでとても助かっている。しかし遅番や日曜祝日において、少数の薬剤師職員ではシフトが難しい状況である。

（山城課長）

会営薬局とよみに関しては、引き続き薬剤師を募集している。業者を通じた求職では高い給与額を提示され成立しない状況が2件程あった。この度、会営薬局の休日夜間について管理薬剤師の兼務が許可されたため、会員に呼びかけていく。

40. 第1回薬剤師のための症例検討入門研修会 5月31日（日） 県薬

（田場専務）

大澤友二先生による「臨床力をつけよう 入門編 高血圧」と題して講演した。142名の多くの参加者があった。

(神村会長)

今後、第4回まで大澤友二先生にお願いしている。これからの薬剤師には臨床力が必要である。

41. 平成27年度「健康づくり支援事業」第1回推進委員会 6月4日(木) 沖縄県総合福祉センター  
(前濱常務理事) 吉田久子先生が出席した。
42. 南部地区薬剤師会総会 6月7日(日) 県薬  
(新垣理事) 議題7項目の提案があり、全てについて承認された。
43. 会計監査 6月9・12日(火・金) 県薬
44. 「第6回世界のウチナーンチュ大会」第1回実行委員会 <資料配布>  
6月12日(金) ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー
45. 平成27年度沖縄県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6.26ヤング街頭キャンペーン <資料配布>
46. 理事会出席状況について <資料配布>

(神村会長)

理事会出席状況は、理事の任期が終了する時期に報告している。地区代表理事、部会代表理事については、やむを得ず欠席する場合には代理出席が認められているため、責任のある立場として必ず代理を出して欲しい。

47. 沖縄県子ども医療費助成制度の対象年齢拡大について <資料配布>  
(山城課長)

こども医療費助成制度の対象年齢拡大について、沖縄県保健医療部健康長寿課から説明があった。通院年齢の拡大に伴い、那覇市をはじめとする10市町村の対象年齢が現在の通院3歳から就学前に拡大予定とのことである。

48. 沖縄県薬剤師会 第72回通常総会懇親会について
49. その他

## 報告(薬連)

1. 全国女性薬剤師の集い2015 5月17日(日) グランドプリンスホテル新高車輪  
(宮城総務)  
前濱先生と私宮城が参加した。各都道府県2名ずつの参加で、100名余りが集まった。グループに分かれて、来年の参議院議員選挙の藤井もとゆき必勝に向けてのディスカッションを行った。
2. 沖縄県薬剤師連盟総務会 5月27日(水) 県薬  
(神村会長)  
沖縄県薬剤師連盟評議員会に提出する平成26年度事業経過報告、決算及び平成27年度の事業計画、予算案について確認した。
3. 沖縄県薬剤師連盟 若手薬剤師フォーラム 6月6日(土) シーメンズクラブ那覇<資料配布>  
(石川総務)  
40名余りの参加があり、北部から南部まで広範囲から集まった。単独で参加した方が数名いた。今後につながっていくことが非常に期待できるフォーラムであった。9月頃に北部地区で若手薬剤師フォーラムを開催したい。
4. 県選出国會議員訪問(琉大への薬学部設置要望書の提出)  
6月6日(土) 島尻安伊子氏、國場幸之助氏、比嘉奈津美氏、西銘恒三郎氏 各事務所  
6月8日(月) 宮崎政久事務所

(神村会長)

琉大への薬学部設置要望書の提出とともに、規制改革会議において議論されている医薬分業規制緩和に関する敷地内薬局について、日本薬剤師会および日本薬剤師連盟からの依頼を受けて、薬剤師会として強く反対する旨を県選出自民党国会議員に対してお願いしてきた。

5. 平成27年度第1回全国会長・幹事長拡大会議

6月11日(木) ANAインターコンチネンタルホテル東京

6. 自由民主党 薬剤師問題議員懇談会・日本薬剤師連盟合同懇親会

6月11日(木) ANAインターコンチネンタルホテル東京

## 平成27年度 第4回臨時理事会 議事概要

日時：平成27年6月21日(土) 16:20～16:30

場所：沖縄県薬剤師会館 会議室

<出席者> 亀谷浩昌、江夏京子、前濱朋子、外間惟夫、山里 勇、村田美智子、我喜屋美香  
宮城敦子、川満直紀、成川賢一、姫野耕一、新垣秀幸、下地仁、幸地良信、吉田洋史  
笠原大吾、石川恵市、吉富弓江

<欠席者> 荒井千春、佐藤雅美

事務局： 山城英人

### 議 題

1. 会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定について

<資料配布>

(山城課長)

定款の第24条第2項「会長、副会長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する」となっている。各役職について立候補および推薦により選出していただきたい。会長候補者の亀谷理事に進行をお願いしたい。

(亀谷理事)

各役職について立候補および推薦を求めたい・・・では、あらためて私が会長として立候補させていただきたい。また、私の各役職案を述べさせていただくと、副会長に江夏京子理事、前濱朋子理事、外間惟夫理事、常務理事に山里勇理事、村田美智子理事、我喜屋美香理事、宮城敦子理事、川満直紀理事を推薦したい。専務理事については、置かずに、私が常勤として考えているため、専務職も兼ねて務めたい。

(山城課長)

亀谷理事の立候補および役職案について意見が求められ、特になかったため、決議に入り、会長に亀谷浩昌理事、副会長に江夏京子理事、前濱朋子理事、外間惟夫理事、専務理事は置かない。常務理事に山里勇理事、村田美智子理事、我喜屋美香理事、宮城敦子理事、川満直紀理事が満場一致で承認された。なお、被選定者は、席上その就任を承諾した。

## 平成27年度 第5回定例理事会 議事概要

日時：平成27年7月11日(土) 19:00～21:30

場所：沖縄県薬剤師会館 研修室

### <出席者>

会 長：亀谷浩昌

副 会 長：江夏京子、外間惟夫

理 事：山里勇、下地仁、笠原大吾、我喜屋美香、村田美智子、幸地良信、新垣秀幸  
吉田洋史、荒井千春、吉富弓江、佐藤雅美、石川恵市、川満直紀、成川賢一

監 事：大城桂子

事 務 局：山城英人、稲福文隆

### <欠席者>

副 会 長：前濱朋子

理 事：宮城敦子、姫野耕一

### 議 題

#### 1. 警察官友の会 会費納入について

(大城監事)

「警察官友の会」は警察官と県民との懸け橋として、活動している。去る7月2日に総会が開催された。県内の交通事故、万引き、振込詐欺等の犯罪状況が報告され、特に飲酒運転は全国で一番多い。危険ドラッグ絡みによる交通事故について質問し、昨年に県内販売業者を摘発したことにより発生してないとのことであった。しかしインターネット経由の入手が可能のため、注意喚起が必要である。会費納入について(2万円)了承された。

#### 2. 「女性の翼 国際交流2015」講演会チケット販売協力について

(亀谷会長)

沖縄県女性の翼の会(団体)が薬剤師会に来訪、講演会への協力依頼があった。講師は、医師・作家の鎌田實先生で(チケット2,000円)希望者は事務局で購入していただきたい。収益金は、沖縄平和賞、沖縄県青少年育成県民会議、沖縄県女性海外セミナー派遣への助成金として寄付される。海外女性セミナー派遣に村田常務理事を推薦している。

#### 3. 血圧脈波検査装置の購入について

(笠原理事)

毎年「なごみ会」の県民健康フェアと各地区開催のお薬相談会で使用している。3年前に1台購入したが、「なごみ会」県民健康フェアでの人気が高く、1台だけでは検査に時間を要し、長時間待っていただく状態である。追加で1台購入を提案した。

(下地理事)

高額な器材を年に一度の県民健康フェアだけのために追加購入していいのか。各地区相談会等で稼働しているか確認した上で再検討していただきたい。また当測定待ち時間に体脂肪測定、血圧測定等をしていただくとか、待たさない工夫を考案してはとの意見があった。

(亀谷会長)

購入賛成の多数に至らない、高額でもあり再度検討することにしたい。

#### 4. アスマン通風乾湿計の購入について

(笠原理事)

県教育委員会より、教室内適正温度の測定データについての問い合わせがあるが、検査機器がないため、回答できない状況であると説明された。学校保健法に基づき測定しなければならない項目であり、各市町村教育委員会からのデータ要請があれば速やかに提出すべきものである。1台の購入を希望すると報告された。

購入費は110,000円で高価でなく、必要機器でもあるため承認された。

#### 5. 旅費手当支給の件について

(山城課長)

当会役員、職員等の出張時の場合、旅費支給規定に準じて支給しているが、出張に日薬補助金支給がある場合においては、当会から支給はせず、航空費・宿泊費などの実費分を日薬補助金より差し引き支払いをする。残額については旅費日当として本人へ支給したい。しかし残額が当会規定額を下回る場合は当会規定の日当額を支給すると説明され、承認された。

#### 6. 代議員補欠選挙（5人）について

(亀谷会長)

現代議員が本会を退会したこと、また理事に就任することにより、両方を兼ねることができないことにより、欠員となる。そのため補欠選挙を行う。「(告示:7月13日(月))」「(立候補締切:9月11日(金))」日程等について了承された。詳細については、告示以降に本会ホームページに掲載する。

#### 7. 各種委員会委嘱について

(亀谷会長)

別添資料に各委員会委員名簿を掲載している。委員を選出してない地区は7月末日までに選出いただきたい。各担当理事(委員長)は早々に委員会を開催して、専門的人材等必要であれば追加増員の検討もしていただきたい。

#### 8. その他

### 報告(会)

#### 1. 会営薬局の調剤保険料等(6月分)及び院外処方せん発行状況

#### 2. 第43回学校薬剤師部会総会・講演会

6月14日(日) 県薬

(笠原理事)

事業報告、会計報告、監査報告、事業計画、予算案、会則改正、役員改正、会費について報告された。講演会は「薬物乱用について」講師:かいクリニック院長の稲田隆司先生に依頼をした。

#### 3. 沖縄県医師会・沖縄県薬剤師会 おきなわ津梁ネットワークを活用した医薬連携に

関する協定調印式

6月15日(月) 沖縄県医師会

(吉田理事)

津梁ネットワークとは県医師会が健診データを各病院で確認できるよう構築したものである。県薬と協定を交わすことで、更に調剤薬局の処方・調剤情報等を集積及び共有し、相互に協力可能な事業を推進するために調印式を行った。

#### 4. なごみ会主催県民健康フェア県薬実行委員会 合同打ち合わせ会議について

(笠原理事)

8月9日(日)開催の県民健康フェアに向けて、相談薬剤師を募っている。

打ち合わせ会議は7月30日(木)に開催する。

5. なごみ会主催県民健康フェア第5回実行委員会 6月17日(水) 沖縄県医師会  
(笠原理事)

県医師会での第5回実行委員会を終えた。7月29日に健康フェアに向けて最終会議を行う。

6. 平成27年度沖縄県薬物乱用防止協会総会・表彰式 6月18日(木) 県薬  
(亀谷会長) 資料を提出しているので確認いただきたい。

7. 平成27年度日本薬剤師会 薬局実務実習担当者全国会議 6月19日(金) 日本薬剤師会  
(我喜屋常務理事)

薬学実務実習に関するガイドラインについての伝達が義務付けられている。会議内容として実務実習を4期制にする、病院と薬局を連携したものにする。

ガイドラインはすでに出来ていて各実習受入薬局へ配布される。

実務実習指導薬剤師の更新申請の受付方法についても説明があった。

8. 北部地区薬剤師会定時総会・懇親会 6月20日(土) ホテルゆがふいんおきなわ  
(成川理事)

役員改選で、新会長として浅沼健一氏(病院前薬局)に引き継がれ、前会長の神山えり子氏(名護中央薬局)は顧問となった。役員も数名変更になった。

FAX料金の値下げと共に応能会費の課金方法の変更を行った。

9. 沖縄県薬剤師会第72回通常総会・懇親会 6月21日(日) 県薬  
(亀谷会長) 理事承知のため報告終了。

10. 沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊 6月23日(火) ひめゆりの塔構内  
(亀谷会長)

ひめゆりの塔に隣接している沖縄戦殉職医療人之碑を参拝した、吉田久子薬連幹事長、前濱朋子副会長、宮城敦子常任理事が同行した。

11. 戦後70年沖縄全戦没者追悼式 6月23日(火) 平和祈念園  
(亀谷会長) 医療人之碑参拝後、引き続きこの式典に参加した。

12. 日本薬剤師会有功賞伝達授与 6月23日(火) サザンビーチホテル&リゾート沖縄  
(亀谷会長)

毎年県薬通常総会懇親会にて伝達授与式を行っているが、大城清吉先生は欠席したため、出向いて授与を行った。

13. 沖縄県薬業連合会理事会・総会・懇親会 6月24日(水) 沖縄都ホテル  
(吉田理事)

薬剤師会、医薬品卸業協会、医薬品登録販売者協会、医薬品配置協議会の4団体で構成されており、総会・懇親会が開催された。

(亀谷会長)

輪番制(2年間)である幹事団体については、以前に各団体から業務上、幹事を引き受けるのは厳しいとの意見があり、各団体の要望で、神村会長の就任期間(10年間)に限り薬剤師会が幹事を引き受けた経緯がある。今回の神村会長退任にあたり、輪番制を再度取り入れるか、継続で薬剤師会を幹事団体とするか、新執行部で検討することとなった。

14. 個別指導 6月25・7月2日(木) 那覇第一地方合同庁舎・県庁

15. 第85回日本薬剤師会定時総会 6月27・28日(土・日) ホテルイースト21東京  
(吉田理事)

内容は、①定款改正による副会長選挙を行うことについて。当初は会長候補者の選挙で、会

長指名制の副会長であったが、副会長も選挙制がいいとなった。②薬剤師年金制度については、当分健全化を図り加入促進を図るとの報告に対し監事からは将来本会計上負担を抱えて問題になるとの苦言があったと報告された。③日薬会館建設については、土地購入はしたが狭すぎる。東京オリンピック開催に向けて資材が高騰していることで当分は駐車場として貸し出していくこととなったが、これからの課題として隣の土地を購入して建てるか、あるいは別の場所に土地を購入するか等これから検討して行くとの報告であった。他、議案として①会員増強について、②薬局チェーン店開設の規制が必要等であった。九州地区より代表質問者として沖縄県が当番となり7項目の質問を準備したが、時間の都合上 1. 薬学生について 2. 認定実務実習指導薬剤師の更新について 3. 日薬版電子お薬手帳について 4. 指導大綱見直しについて質問した。詳しくは日薬誌に掲載されるので一読いただきたい。

16. 九山懇親会（日薬総会後） 6月27日（土）北大路 八重洲茶寮  
総会後懇親会が開催された。

17. 平成27年度沖縄県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6.26街頭キャンペーン 6月27日（土）  
パレット久茂地前広場・イオン名護店・北谷町美浜多目的広場・マックスバリューとよみ前  
サンエーショッピングタウン宮古島店前・サンエー石垣店前  
（亀谷会長）

各地区で開催しているが、当会はパレット久茂地前広場で街頭キャンペーンを行った。北部地区では実習中の薬学生も参加した。毎年開催するので各地区の参加協力をお願いしたい。

18. 実務実習指導薬剤師養成・更新講習会 6月28日（日）県薬  
（我喜屋常務理事）

2会場で新規、更新講習会を開催した。更新講習については、薬学実務実習に関するガイドラインについて説明をした。来年3月31日までに全国で認定実務実習指導薬剤師の更新者が1万人もいる。講習会だけで更新に対応するのは厳しい状況なので、費用はかかるがeラーニングで更新のための講習が可能になった。

19. 琉球大学医学部再生医療研究センター オープニングセレモニー・内覧会  
6月28日（日）再生医療研究センター  
（亀谷会長）

ロート製薬の寄付で琉球大学医学部に再生医療研究センターが完成した。完成式典に招待された。

20. 琉球大学医学部再生医療研究センター 完成祝賀会 6月28日（日）がじゅまる会館

21. 健康とおくすり相談会 6月28日（日）サンエーメインプレイス  
（川満常務理事）

相談薬剤師7名、薬学実習生2名の参加で相談者は約30名であったと報告された。

22. しごとミュージアム&グッジョブ・サマースクール事前打ち合わせ会議 6月29日（月）県薬

23. 地域医療構想の策定に係る取り組み等についての説明会 6月30日（火）県庁  
（江夏副会長）

2025年の病床数がどのように変わっていくかの推定を全国各県集計されている。団塊の世代が2025年頃には75歳以上の後期高齢者となることで、それを見据えて計画案を立てていく。2025年には中部地区と南部地区の病床が不足するが、北部地区、宮古地区、八重山地区は余る事が予想される。それを見据えて地域検討委員会を8月に立ち上げる。各保健所単位であるため、各地区会長も委員会委員として求められることが想定される。

24. 沖縄県歯科医師会 訪問 7月2日(木) 沖縄県歯科医師会  
 (亀谷会長) 就任あいさつに出向いた。
25. 会計監査 7月2日(木) 県薬  
 税理士による毎月の会計監査
26. 沖縄県医師会 訪問 7月2日(木) 沖縄県医師会  
 (亀谷会長) 就任あいさつに出向いた。
27. 平成27年度沖縄県警察官友の会役員会・懇親会 7月2日(木) サザンプラザ海邦
28. 薬学生実務実習 7月3日(金) 会営薬局医療センター前  
 (我喜屋常務理事) 会営薬局医療センター前にて、夜間・救急の実務実習を行った。
29. 青年薬剤師部会 第10回通常総会 7月3日(金) 和民 那覇新都心店  
 (石川理事)  
 総会は役員含め10名参加。平成26年度会計、平成27年度の事業計画を報告。  
 懇親会へ移り新たに参加者6名が加わった。初めて病薬からも若手薬剤師(1名)の参加があり、青年部会の発展に繋げるため後日、本人とお会いして今後も青年部会に参加していただきたいとのお願いをした。
30. 未来を広げよう! グッジョブ体験inなは 7月4日(土) なは市民活動支援センター  
 (亀谷会長)  
 前濱副会長が欠席の為、亀谷会長より報告。  
 薬剤師職の人气が高く、終了時間となっても大盛況であった。小学生には白衣を着せて、保護者と一緒に体験でき、大好評であった。
31. 平成27年度新任・新人薬剤師研修会 7月5日(日) 県薬  
 (外間副会長)  
 研修内容は1. 医薬品情報業務について、2. 薬歴の書き方について、3. フィジカルアセスメントについて、4. 学校薬剤師について、5. 青年薬剤師部会紹介であり、講演内容も実践的で参加者も70名と盛会であった。
32. 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 薬局長訪問  
 7月6日(月) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター  
 (亀谷会長)  
 新任・新人薬剤師研修会時に、南部医療センター・こども医療センター薬局の施設見学にご協力いたので、長田薬局長を訪ねてお礼を申し上げた。
33. 支払基金より来訪 7月6日(月) 県薬
34. 会営薬局へのあいさつ 7月7日(火) 会営うえはら・とよみ
35. 女性の翼 会長来訪 7月7日(火) 県薬
36. 生涯学習フェスタ「しごとミュージアム」 7月8日(水) 沖縄コンベンションセンター  
 (亀谷会長)  
 高校生を対象に仕事紹介をするフェスタで全国専修学校各種学校総連合会の主催。薬剤師ブースを出展、実習中の薬学生にもご協力していただき薬剤師職能の啓蒙活動を行った。大盛況だった。
37. 沖縄県保健医療部長 訪問 7月9日(木) 県庁  
 (亀谷会長) 会長に就任し、新体制になったことで挨拶に伺った。
38. グッジョブ「未来の人材育成事業」医療人講話 7月9日(木) 糸満市立高嶺小学校  
 (亀谷会長) 台風接近により中止となった。

39. 独立行政法人 国立病院機構 琉球病院 新病棟完成記念式典・記念講演及び内覧会

7月9日(木) 琉球病院

(亀谷会長)

台風の影響で県外講師による記念講演会が中止となったが式典は予定どおり行われた。

40. なごみ会主催県民健康フェア 打ち合わせ

7月9日(木) 県薬

(亀谷会長) 台風接近により中止となった。

41. 平成27年度医療通訳ボランティア養成講座 7月11日(土)(公財)沖縄県国際交流人材育成財団

(亀谷会長) 通訳者に薬剤師業務の説明をする養成講座で、坂本嵩彰先生が講師として参加した。

42. 琉大薬学部設置要望のため琉大学長訪問

43. 県薬学術大会 演題募集について

(外間副会長)

開催日は11月1日(日)に決定した。演題締切は9月4日(金) 要旨締切は10月2日(金)。

44. 会営薬局うえはら、とよみの薬剤師の状況について

(我喜屋常務理事) 管理薬剤師の休日輪番制について進めていく。

(山城課長)

現在の会営薬局とよみの状況について、正職員とパート含めた6名と輪番薬剤師のご協力で業務をこなしている。以前から比べると、だいぶ良くなったが、厳しい状況であり、あと2名程の常勤薬剤師が必要と考えられる。

45. 第48回日本薬剤師会学術大会について(沖縄県へ大会参加依頼人数120名、懇親会30名)

(亀谷会長)

今年は鹿児島県での開催。日薬大会が九州地区での開催のため、九州山口薬学大会は開催されない。九山大会参加者に充てていた助成金を日薬大会参加者に充てたい。多くの会員が参加していただくようお願いをした。

(吉田理事) 地方での開催時は宿が取れなくなる。事務局は早めに宿を押えていただきたい。

46. その他

(亀谷会長)

子どもによる医薬品の誤飲防止対策啓発ポスターの作成について、前回理事会で作成の承認を得ている。医師会、歯科医師会、看護協会、県保健医療部から名義使用の承諾を得た。印刷業者より見積もりを取っており、安い業者へお願いをする。発行部数1,500部、名義掲載団体へ配布すると報告し承認された。

報告(薬連)

1. 八重山地区薬剤師フォーラム

6月19日(金) 大濱信泉記念館

(幸地理事)

神村先生、前濱副会長より、来年7月に行われる参議院選挙等についての説明をしていただいた。参加者は約10名程であった。

2. 沖縄県薬剤師連盟評議員会

6月21日(日) 県薬

(亀谷会長) 県薬通常総会の前に開催したと報告。

3. 西銘恒三郎衆議院議員 来訪

6月22日(月) 県薬

(亀谷会長)

神村先生と2人でお会いし、門内薬局反対のため分業の実情を説明し協力を要請した。

4. 島尻あい子 女性の会  
(亀谷会長)

7月10日(金) ロワジールホテル那覇

参議院議員島尻あい子氏の自由民主党沖縄県支部連合会会長就任激励会の前に開催された。吉田久子監事、前濱朋子副会長が参加した。

5. 参議院議員島尻あい子 自由民主党沖縄県支部連合会 会長就任激励会

7月10日(金) ロワジールホテル那覇

(亀谷会長)

県内選出国會議員とお会いして挨拶することができた。西普天間地区が返還され、琉球大学附属病院が移転し、医療拠点構想が計画されている中で、島尻議員に強力を要請した。薬剤師のために協力いただける政治家の存在は会の目的達成に不可欠である。

神村武之先生より、別紙にて連盟報告があったのでご覧いただきたい。

**会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について**

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。  
(香典・生花等の手配があります)

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしく申し上げます。

【連絡先】 県薬事務局 (前原・大城) : 098-963-8930

**慶弔規定 (一部抜粋)**

昭和59年4月1日 実 施

昭和62年4月1日 一部改正

平成27年10月10日 一部改正

(死 亡)

第2条 会員・役員・職員およびその家族が死亡したときはつぎの区分に基き新聞広告、香典および生花を贈る。

(1) 役員・会員・職員

新聞広告、香典5,000円 (三役10,000円)、生花1対

(2) 役員・会員・職員の配偶者および実父母子

香典5,000円、生花1対

(3) (1)以外の新聞広告については希望により喪主側の経費負担で掲載することができる。但し配偶者および一親等の範囲とする

(4) 関係団体・元正副会長・顧問・相談役等については会長が決める

2 第一項でいう役員とは定款の定めるところによるものとする。

**平成27年12月**

- 1火○平成27年度第10回定例幹事会 県薬会議室
  - 健康拠点事業打合せ会議 県薬研修室
- 2水○女性薬剤師部会主催第17回漢方講座 県薬ホール
- 3木○平成27年室内環境学会学術大会（4日迄） 沖縄コンベンションセンター会議棟 小泉試験検査センター主任検査技師
  - 薬学生への沖縄県U・Iターンガイダンス（薬剤師確保事業） 九州保健福祉大学 大城なつき氏、大城係長
  - 個別指導 沖縄県八重山合同庁舎 社会保険医療担当：宮城幸枝氏
  - 平成27年度在宅医療支援薬局限定無菌調製の実践講座－TPN・麻薬・抗がん剤－ 県薬ホール
  - 糖尿病療養支援実践セミナー第10回コメディカル勉強会 ちばなクリニック 共催：日本イーライリリー（株）
- 4金○平成27年度道府県薬剤師会スポーツファーマシスト担当者合同研修会 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 笠原理事、吉田典子（薬事情報センター）
  - 集団的個別指導 沖縄県八重山合同庁舎 山城専八重山地区会長
- 6日○石垣市健康福祉まつり（薬剤師体験学習） 石垣市健康福祉センター 八重山地区薬剤師会
- 7月○第3回九州山口各県代表者会議 福岡県薬剤師会館 亀谷会長、山里常務理事
- 8火○薬学生実務実習受入委員会 県薬研修室
- 9水○沖縄県薬業連合会代表者会議 沖縄都ホテル 亀谷会長、稲福係長
  - 薬学生への沖縄県U・Iターンガイダンス（薬剤師確保事業） 岐阜薬科大学 前濱副会長、津波昭史氏（薬務疾病対策課技師）、大城係長
  - 豊見城薬局との打ち合わせ 会営薬局とよみ 我喜屋常務理事、島袋陽子（会営薬局とよみ管理薬剤師）、上野邦子（会営薬局とよみ主任医療事務）、山城課長
- 10木○防火管理・防災管理「新規講習」（11日迄） カルチャーリゾート・フェストーネ 山城課長
  - 平成27年度試験検査センター技術研修会（11日迄） 日薬 小泉試験検査センター主任検査技師
  - 個別指導 那覇第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重氏、吉田理事
  - 平成27年度第1回「健康なは21」 歯科保健推進会議 那覇市保健所 大城恭子
  - レミッチ効能追加記念講演会～慢性肝疾患患者におけるそう痒症改善～ ホテル日航那覇グランドキャッスル 共催：大日本住友製薬（株）
- 11金○八重山地区薬剤師会研修会「石垣島糖尿病学術講演会」 ホテル日航八重山
  - 北部地区薬剤師会学術研修会（2016年度調剤報酬改定に向けて） 北部地区薬剤師会館
- 12土○沖縄県感染症薬剤師研究会 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 共催：MSD（株）
  - 平成27年度第10回定例理事会 県薬研修室
- 13日○神村武之先生沖縄県薬剤師会会長退任慰労会 沖縄都ホテル
- 14月○平成27年度第3回医薬分業対策委員会 県薬会議室
- 15火○薬学生への沖縄県U・Iターンガイダンス（薬剤師確保事業） 名城大学 前濱副会長、大城係長
  - 第2回中部地区薬剤師会「代謝病と血管病診療フォーラム」 ちばなクリニック
- 16水○財務に関する打合せ会議 県薬会議室 亀谷会長、山里常務理事、前原信照財務委員会委員長
  - 宮古地区薬剤師会「プライマリーケアのための不眠症セミナー」 沖縄県立宮古病院

- 17木○ 集团的個別指導 那覇第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：宮城幸枝氏
- 地域医療支援病院運営委員会 豊見城中央病院 亀谷会長
  - 第73回那覇地区薬剤師会臨床講座 県薬研修室
  - 試験検査センター委員会 県薬会議室
  - 臨床薬剤師育成研修会 (株)ダイコー沖縄
- 18金○ 薬学生への沖縄県U・Iターンガイダンス (薬剤師確保事業) 北陸大学 川満常務理事、大城係長
- 会計監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局金城・前原・上原
  - 沖縄県医療推進協議会 沖縄都ホテル 前濱副会長
  - 第2回沖縄県医師会医療事故調査等支援団体連絡協議会並びに第2回沖縄県医師会医療事故調査支援委員会 (合同会議) 那覇市医師会館 吉富理事、吉田典子氏 (薬事情報センター)
  - 薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点事業研修会 県薬ホール
- 20日○ 平成27年度高度管理医療機器継続研修会 県薬ホール
- 22火○ 地域保健開局委員会 県薬研修室
- 24木○ 沖縄県医師会より来訪 (おきなわ津梁ネットワーク運営協議会説明) 県薬会長室
- 医療保険委員会 県薬研修室
- 25金○ 平成27年度第1回沖縄県公害審査会 県庁 我喜屋常務理事
- 実務実習伝達講習会打ち合わせ 県薬会議室 我喜屋常務理事、佐藤理事、事務局松堂
- 28月○ 御用納め

## 平成28年1月

- 6水○ 沖縄県高齢者介護福祉課より来訪 県薬会長室 亀谷会長、山城課長
- 社会保険診療報酬支払基金幹事会 サザンプラザ海邦 亀谷会長
- 7木○ 沖縄刑務所所長来訪 県薬会長室 亀谷会長、大城係長
- 第1回おきなわ津梁ネットワーク運営協議会 沖縄県医師会館 亀谷会長
- 8金○ 平成28年沖縄県警察年頭視閲式 北谷町営駐車場 大城監事
- Glinido Renaissance in 沖縄 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ 共催：大日本住友製薬(株)
  - スピオルト新発売記念講演会 ホテル日航那覇グランドキャッスル 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム(株)
  - 平成28年公益社団法人沖縄県小児保健協会新年会 ホテル日航那覇グランドキャッスル 亀谷会長
  - 薬学生実務実習受入委員会 県薬研修室
- 9土○ 沖縄県看護協会受賞祝賀会及び新年会 ホテル日航那覇グランドキャッスル 亀谷会長
- 平成28年沖縄県医師会新年会及び医事功労者表彰式 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 亀谷会長
- 12火○ のあちゃんを救う会への募金贈呈 のあちゃんを救う会事務所 亀谷会長、山里常務理事、大城係長
- 平成27年度第11回定例幹事会 県薬会議室
- 13水○ 平成27年度第4回都道府県会長協議会 日薬 亀谷会長
- 日本薬剤師会新年賀詞交歓会 明治記念館 亀谷会長

- 14木○平成27年度第2回沖縄県後期高齢者医療制度運営懇話会 沖縄県後期高齢者医療広域連合  
江夏副会長  
○沖縄県歯科医師会新年会及び叙勲・大臣表彰等受賞合同祝賀会 ザ・ナハテラス 亀谷会長
- 15金○沖縄県教育長表敬訪問 県庁 亀谷会長、浜元朝孝氏、吉田久子氏、大城係長  
○八重山地区学術講演会 ホテル日航八重山  
○第14回 Total Management of Hypertension 沖縄県医師会館 共催：第一三共(株)
- 16土○平成27年度第11回定例理事会 県薬会議室・会長室
- 17日○平成27年度日本薬剤師会薬局実務実習担当者全国会議伝達講習会 県薬研修室  
○実務実習指導薬剤師更新講習会 県薬研修室  
○サプリメント・健康食品関連研修会の企画・運営に関する会議 県薬会議室 亀谷会長、  
盛本直也氏、玉城武範氏、阪本崇彰氏、大城係長  
○平成27年度沖縄県薬業連合会主催薬事功労受賞者合同祝賀会・新年会 沖縄都ホテル
- 19火○会計監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局前原
- 20水○平成27年度中部地区糖尿病標準治療推進委員会第5回講義 中部地区医師会
- 21木○社会保険支払基金理事長来訪 県薬会長室 亀谷会長  
○臨床薬剤師育成研修会 (株)ダイコー沖縄  
○北部地区薬剤師会学術研修会(高リン血症と食事療法について) 北部地区薬剤師会館
- 22金○会計監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局上原  
○講師派遣(日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部研修会) (株)スズケン沖縄薬品 荒井  
理事(講師)  
○平成28年沖縄県スポーツ新春のつどい パシフィックホテル沖縄 笠原理事・吉田典子(DI)  
○薬業連携講演会 in 沖縄 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ 共催：田辺三菱製薬(株)  
○エクメット配合錠発売記念講演会 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 共催：  
ノバルティスファーマ(株)  
○沖縄県南部地区薬剤師会講演会 県薬研修室
- 23土○沖縄県インфекションコントロール研修会 浦添市産業振興センター・結の町 共催：  
沖縄県インフェクションコントロール研修会  
○沖縄県栄養士会創立50周年記念式典・祝賀会 沖縄都ホテル 亀谷会長
- 26火○平成27年度第2回健康長寿おきなわ復活県民会議 県庁 亀谷会長  
○管理者会議 県薬研修室
- 27水○平成27年度第5回広報委員会 県薬会議室
- 28木○個別指導 那覇第一地方合同庁舎 吉田理事  
○薬と健康の週間に関する打合会議 県庁 亀谷会長、稲福・大城両係長  
○第5回沖縄県地域医療構想検討会議 県庁 亀谷会長  
○平成27年度中部地区糖尿病標準治療推進委員会第6回講義 中部地区医師会  
○第16回沖縄「全人的医療」研究会 ホテル日航那覇グランドキャッスル 共催：(株)ツムラ
- 29金○勝山病院薬局長来訪 県薬会長室 亀谷会長、大城係長  
○宮古地区研修会「宮古島・認知症講演会」 ホテルアトールエメラルド宮古島
- 30土○第4回九州山口各県代表者会議 熊本県薬剤師会館 亀谷会長・山里常務理事  
○医薬分業対策委員会主催研修会「日薬版電子お薬手帳等について」 県薬ホール
- 31日○平成27年度高度管理医療機器等継続研修会(八重山地区) 石垣市健康福祉センター

沖縄県薬剤師連盟会務報告

平成27年12月

- 6日○次期調剤報酬改定に向けての陳情活動 西銘恒三郎事務所 亀谷会長、山城（事務局）
- 7月○次期調剤報酬改定に向けての陳情活動 國場幸之助事務所 山城（事務局）
  - 次期調剤報酬改定に向けての陳情活動 島尻安伊子事務所 山城（事務局）
- 10木○第1回「佐喜真アツシを支援する」市外企業・各種団体実務者会議 宜野湾市の未来をつくる市民の会 稲福（事務局）
- 15火○沖縄県知事就任1周年オナガ雄志激励会 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ 亀谷会長
- 17木○第2回「佐喜真アツシを支援する」市外企業・各種団体実務者会議 宜野湾市の未来をつくる市民の会 山城（事務局）
- 21月○宜野湾市長佐喜真アツシ激励会 JA宜野湾ジュビランス 吉田幹事長、新城光枝総務、山城（事務局）
- 24木○第3回「佐喜真アツシを支援する」市外企業・各種団体実務者会議 宜野湾市の未来をつくる市民の会 山城（事務局）
- 25金○宜野湾市長選に伴う薬局まわり（宜野湾市） 宜野湾市内薬局 亀谷会長、山城（事務局）

平成28年1月

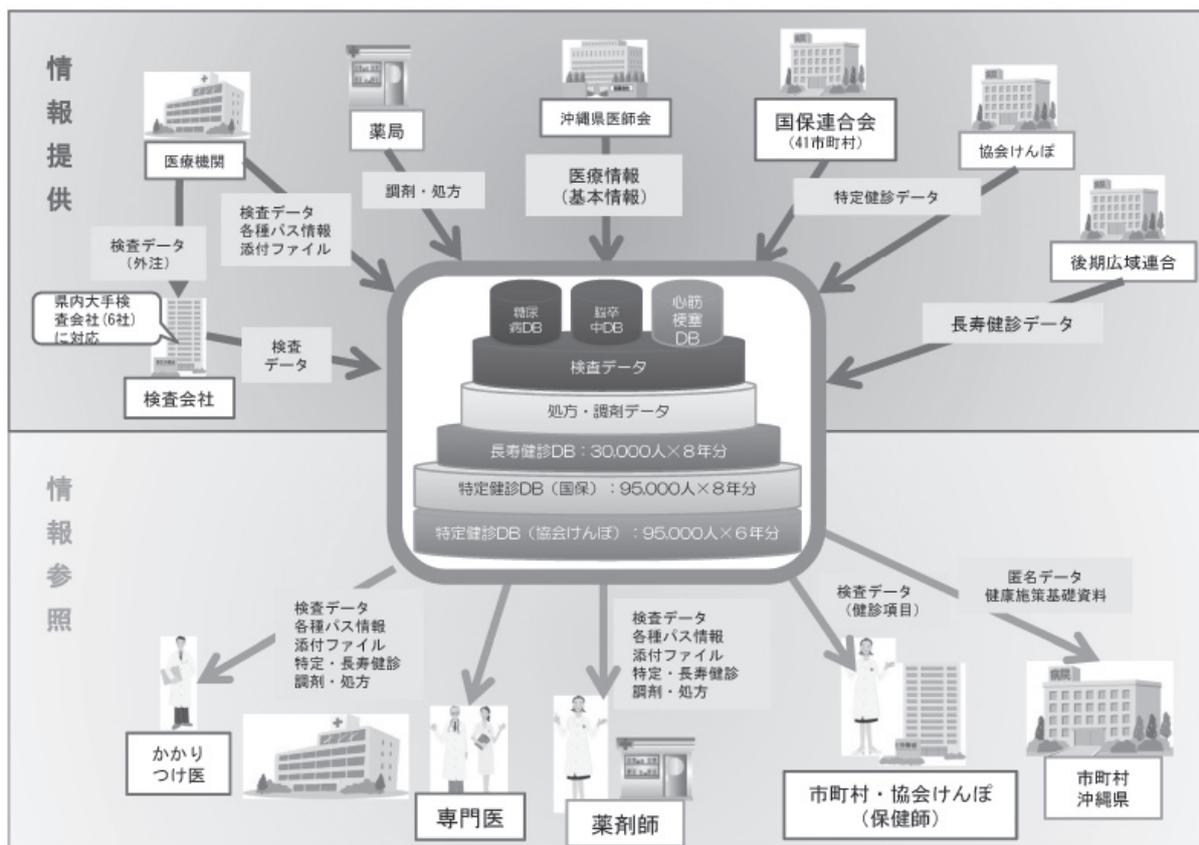
- 5火○2016公明党沖縄県本部賀詞交歓会 自治会館 江夏副幹事長
- 8金○第4回「佐喜真アツシを支援する」市外企業・各種団体実務者会議 宜野湾市の未来をつくる市民の会 山城（事務局）
  - 衆議院議員額賀福志郎先生を囲む会 in 宜野湾 カルチャーリゾート・フェストーネ 亀谷会長、神村顧問、吉田幹事長、城間盛光総務、新城光枝総務、山城・大城（事務局）
- 9土○平成28年自民党沖縄三区支部・新春の集い 沖縄市産業交流センター 神村顧問、山城（事務局）
- 10日○衆議院議員國場幸之助2016年新春の集い 沖縄都ホテル 亀谷会長、神村顧問、吉田幹事長、山城（事務局）
- 14木○第5回「佐喜真アツシを支援する」市外企業・各種団体実務者会議 宜野湾市の未来をつくる市民の会 山城（事務局）
  - 佐喜真アツシ必勝総決起大会 宜野湾市民会館 吉田幹事長、新城総務、山城・稲福・大城（事務局）
- 15金○渡嘉敷奈緒美衆議院議員宜野湾市長選応援 宜野湾市内薬局、各医薬品卸 亀谷会長、渡嘉敷奈緒美衆議院議員、山城（事務局）
- 16土○衆議院議員西銘恒三郎新春の集い JAおきなわ南風原支店 神村顧問、城間盛光総務
- 20水○第6回「佐喜真アツシを支援する」市外企業・各種団体実務者会議 宜野湾市の未来をつくる市民の会 山城（事務局）
- 21木○Vロード（朝のお手振り）運動 宜野湾市上原～長田区間 山城（事務局）
- 23土○宜野湾市長選挙打上げ式 佐喜真アツシ選対本部前 新城光枝総務、山城（事務局）
- 24日○平成27年度日本薬剤師連盟九州ブロック協議会 ホテル日航福岡 石川副幹事長、上原総務、名嘉紀勝（青年部）、山城（事務局）
  - 九州ブロック・山口県藤井もとゆき国政報告会 ホテル日航福岡 石川副幹事長、上原総務、名嘉紀勝（青年部）、山城（事務局）

# 沖縄の新しい医療のカタチ！ 『おきなわ津梁ネットワーク』

セキュリティの高い特定の端末より、インターネットを介して、以下の医療情報を参照または関係機関と共有し、効果的かつ効率的な診療等に役立つシステムです。

沖縄県医師会は、おきなわ津梁ネットワークというツールを用い、県民の健康推進・健康長寿復活を目指しております。

- 特定健診(市町村国保、協会けんぽ)や長寿健診の結果
- 各医療機関における臨床検査結果
- 糖尿病・脳卒中・急性心筋梗塞に特化した専門病院と診療所による地域医療連携パス情報
- 薬局より提供いただく処方・調剤情報
- 多職種より提供いただく患者さんの情報(在宅・介護情報等)



おきなわ津梁ネットワークに参加する医療機関のリストは、健康推進を目的に保険者と共有されます。



# システム利用に必要なもの

## 1.インターネット回線 ※利用者負担

- 既存回線が利用可能
- 光ネクスト、光プレミアム、Bフレッツ、フレッツADSL、YahooBB、ケーブルTVなど

## 2.インターネットに接続できるPC又はiPad ※利用者負担

- 既存端末が利用可能(但しスペック制限あり)
- Windows (Vista,7,8)、iOS (6.0以降)  
Macintosh (X10.7以下)※ ※調査中



## 3.ウイルス対策ソフトの導入 ※利用者負担

- 安全なものであればソフトの種類は問わず

## 4.VPNソフトの導入 ※沖縄県医師会より配布

## 5.利用料金(平成28年4月分より徴収) ※薬局5,000円/月

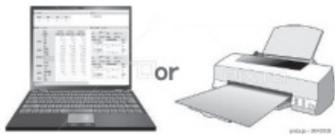
	(表)	(裏)
利用者カード原寸大		<p>ご利用方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• おきなわ津梁ネットワーク連携医療機関(以下、連携医療機関)を受診した際に、本カードをご提示いただきますと、過去に連携医療機関で受けた健康情報等が参照できるようになります。</li> <li>• 本カードはおきなわ津梁ネットワーク参加同意説明書に署名されたご本人様のみご利用できます。</li> <li>• 本カードは大切に保管してください。万一盗難、紛失、破損等した際は直ちに連携医療機関または沖縄県医師会にお届け下さい。</li> </ul>
	<p>利用者(患者さま)名記入欄</p> <p>シン リョウコ</p> <p>利用者番号</p> <p># 1 a A 2 b B 3</p>	<p>おきなわ津梁ネットワーク 一般社団法人 沖縄県医師会</p> <p>〒901-1105 沖縄県南風原町字新11218-9</p> <p>TEL: (098) 888-0087 FAX: (098) 888-0089</p> <p><a href="http://www.shinryo.okinawa.med.or.jp/">http://www.shinryo.okinawa.med.or.jp/</a></p>



〔お問合せ先〕  
 沖縄県医師会業務2課(與那嶺・知念・徳村・平良)  
 おきなわ津梁ネットワーク事務局  
 TEL: 098-888-0087 / FAX: 098-888-0089  
 E-mail: okinawa-shinryo@okinawa.med.or.jp

# おきなわ津梁ネットワークの活用(例)

## 〔特定健診結果の活用〕

<b>初診患者さん 同意説明</b> 	<b>津梁ネット登録 健診受診を確認</b> 	<b>健診結果参照</b> 	<b>要医療者への介入 健診受診勧奨</b> 
①問診票記入後、津梁ネットワークの趣旨を説明し参加同意取得	②自院の患者としてシステムに登録 ③健診受診の有無について確認	④健診結果を直接端末より参照もしくは紙出力し、診察前に医師へ提供	⑤健診結果より、その場で適切な治療開始 ※重症化予防！ ⑥健診未受診の場合、健診受診勧奨 ※健診受診率向上！

## 〔救急外来診療時の活用〕

<b>救急外来受付時 津梁ネット登録</b> 	<b>フェイスシート 紙出力</b> 	<b>アレルギー情報</b> 	<b>救急診療の充実</b> 
①利用者カードの提示 ②自院の患者としてシステムに登録(初回のみ)	③フェイスシート(医療基本情報)を紙出力し、診察前に医師へ提供		

## 〔調剤薬局での活用〕

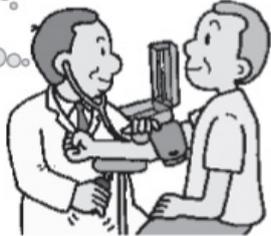
<b>受付時 津梁ネット登録</b> 	<b>健診結果・他薬局 調剤情報参照</b> 	<b>健診結果を基にした 服薬指導・健康相談</b> 	<b>他薬局調剤情報を 基にした適正処方</b> 
①利用者カードの提示 ②自局の患者としてシステムに登録(初回のみ)	端末参照 or 紙出力		



〔整形外科での活用〕

白衣  
高血圧？

仮面  
高血圧？



リハビリ前の  
血圧測定

健診結果参照  
端末 or 紙出力

〔健診結果：血圧〕  
H25: 170/110  
H26: 165/108  
H27: 166/102



リハビリ可否判定  
(参考資料)

リハビリ中止基準  
収縮期: 70以下、200以上  
拡張期: 120以上

可否判定

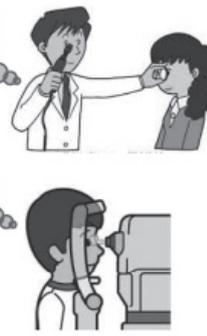


〔眼科での活用〕

眼底・眼圧検査

視神経  
乳頭所見

眼圧  
所見



健診結果参照  
端末 or 紙出力

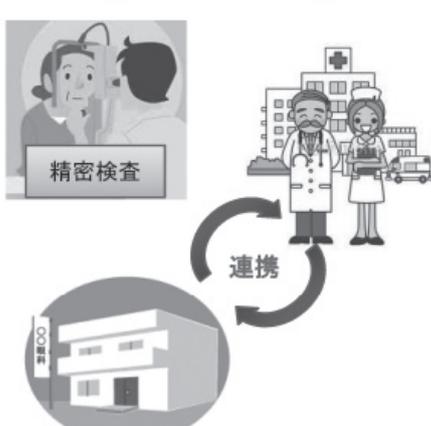
〔健診結果：血糖〕  
H25: 7.0%  
H26: 7.4%  
H27: 7.7%



精密検査・  
専門医との連携

精密検査

連携



〔産婦人科での活用〕

妊婦健診

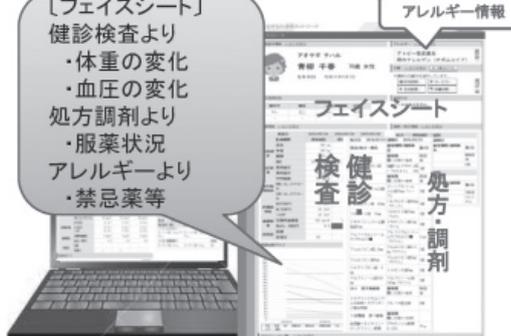
妊娠  
中毒症？



医療基本情報参照  
端末 or 紙出力

〔フェイスシート〕  
健診検査より  
・体重の変化  
・血圧の変化  
処方調剤より  
・服薬状況  
アレルギーより  
・禁忌薬等

アレルギー情報



状態に応じた  
適切なケア







## 参加(利用)申請書 (関係機関用)

一般社団法人 沖縄県医師会長 殿

おきなわ津梁ネットワークの趣向、利用者規程を理解した上で、おきなわ津梁ネットワークを利用(変更又は停止)したいので下記のとおり、申請致します。

### 【参加施設記入欄】

申請日	平成 年 月 日						
申請区分	<input type="checkbox"/> 新規利用 <input type="checkbox"/> 一部変更(追加) <input type="checkbox"/> 利用の停止						
施設区分	<input type="checkbox"/> 歯科診療所 <input type="checkbox"/> 保険薬局 <input type="checkbox"/> 介護サービス事業所 <input type="checkbox"/> 検査会社 <input type="checkbox"/> 保険者 <input type="checkbox"/> 代行・代理請求機関						
施設コード※1 事務局記載欄	保険医療機関コード ※2						
施設名： 代表者氏名：	(印)						
システム担当管理者 ※施設内のシステム管理者							
施設所在地	〒						
電話番号	(            )            —						
FAX 番号	(            )            —						
Email アドレス							

※1 施設コードは空欄のままにしてください。

※2 歯科診療所、保険薬局のみ、ご記入ください。

上記必要事項をご記入の上、本書類の原本を事務局へ送付下さい。

### 【事務局記入欄】

入会申請受理日：平成 年 月 日

事務局受付

--

# <記入例>

【様式 1-5】



## 参加(利用)申請書 (関係機関用)

一般社団法人 沖縄県医師会長 殿

おきなわ津梁ネットワークの趣向、利用者規程を理解した上で、おきなわ津梁ネットワークを利用(変更又は停止)したいので下記のとおり、申請いたします。

「新規利用」・・・初めての参加の場合  
 「一部変更(追加)」・・・申請内容に変更がある場合、または、利用機能を追加したい場合。  
 「利用の停止」・・・参加を取りやめる場合

### 【参加施設記入欄】

申請日	平成 25年 4月 1日										
申請区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規利用 <input type="checkbox"/> 一部変更(追加) <input type="checkbox"/> 利用の停止										
施設区分	<input type="checkbox"/> 歯科診療所 <input type="checkbox"/> 保険薬局 <input type="checkbox"/> 介護サービス事業所 <input type="checkbox"/> 検査会社 <input checked="" type="checkbox"/> 保険者 <input type="checkbox"/> 代行・代理請求機関										
施設コード※1事務局記載欄						保険医療機関コード ※2					
施設名:	おきなわ薬局										
代表者氏名:	薬局 太郎 <span style="float: right;">(印)</span>										
システム担当管理者 ※施設内のシステム管理者	医療情報課 情報三郎										
施設所在地	〒901-1105 南風原町字新川218-9										
電話番号	(098) 888-0087										
FAX 番号	(098) 888-0089										
Email アドレス	jimusy@okinawa.med.or.jp										

※1 施設コードは空欄のままにしてください。

※2 歯科診療所、保険薬局のみ、ご記入ください。

上記必要事項をご記入の上、本書類の原本を事務局へ送付下さい。

### 【事務局記入欄】

入会申請受理日：平成 年 月 日

事務局受付

## 忙中閑有の一日

師走になると、何だかワサワサして気が落ち着かない。賑わう暮れの町の人の波にのって歩いていると、ふっと気がついた。オヤ！変だぞ、いつもこの時期になると「ジングルベル」や「きよしこの夜」といった音楽が商店街のスピーカーで町に溢れるのに、全く小生の耳に入らないのだ。10月のハロウィンにお株を取られたのだろうか。実は孫の誕生日が12月25日なので、是非、世の中がクリスマス気分で盛り上って欲しいのである。チョット寂しいところである。

クリスマスの当日、娘の抜歯で歯科医師会口腔センターへ行く。治療が済んで、小生は交代の関係で一足早く帰ることになりタクシーを呼んでもらった。到着したタクシーに乗ったら「ワオー！」である。運転手はサンタクロースであった。赤いコスチュームに顔いっぱいの白いヒゲ、手抜きなしの立派なサンタさんが「コンニチハ」と言う。すかさず、「あちらの玄関に立っている私の連れ達に、手を振ってくれませんか？」と言うと、大きなゼスチャーでアピールした。皆も気がついて目を丸くしているようだった。スタートすると直ぐに「これは手作りです」と言って、クリスマスカードと5円玉で作ったお守りを手渡してくれた。これをご縁にと思いがけないプレゼントである。わずか20分くらいの車内の時間だったが、大いに楽しいユンタクに花が咲いた。その夜の孫の誕生会にも余韻を持ち込んで一気に盛り上がったものである。お客様に乗車中は楽しんでもらうために、クリスマス前後一週間はサンタクロースになるという。この心意気はどんな仕事にも相通じるものがあるのだろう。明星タクシーのIさんだった。来年は孫達を連れて呼んでみたいものである。

そんな年末のワサワサしている時に申し訳ないが、小生達のグループ三木会はここ数年、忙中閑有りの一日を実行している。遠足と忘年会の組合わせである。70代、80代のメ

ンバーであるから、この一年間、家族や友人達のお蔭で大過なく過ごすことができた事を喜び、感謝するという。チト、手前味噌の論法のイベントである。今年は12月23日の祝日に実行する。家族は気持ち良く送り出してくれる。イヤ、暮れの貴重な一日だ。家でウロウロされては困る。これが本音かも知れないが、それも良しである。毎度のことながら幹事のHさんがスケジュール、手続き等、訪れる所を詳細に調べている。その場での解説や軽妙なトークは味クーター<sup>\*1</sup>で、これまた大きな楽しみである。蔡温スクエア前広場に集合し、今回はSさんの運転する車で北へ向けて、サァー！出発だ。

まずは北谷の美浜である。ここは全国的にも注目の所であるという。そこに住む知人に言わせると、大型ショッピングモールやホームセンターが多数出店し、生活し易く、映画館、フリーマーケット、町並みもシャレっていてアメリカな雰囲気も混在し、ナウイ空間であるという。ひとしきり、車で回る。基地が解放されると、これ程の町に生まれ変わるのかと感心した。サァー！観覧車に乗るぞ！見ると水車の大親分のようなものがそびえている。テッペンに相当な高さである。小生は高所恐怖症なので、今からチムドンドンが始まっている。観覧車はゆったりと回転している。ゴンドラは乗降口でもピタリと静止はしないから足元がおぼつかない。上昇すると北谷の町は一望である。小生の症状が出る。下を見ると目がくらむ。ならば遠くを見よう。あの海岸が冬場になるとハワイにも負けない位の波が発生することで全国からサーファーが集まる人気スポットである。反対側にはグリーンベルトがある。ハハァ、ここが「丘の一本松」の舞台になった北谷クエーぬメェー（北谷桑江の前）に違いない等とユンタク<sup>\*2</sup>しているうちに終点である。子供達に人気の大観覧車に高齢者達のはしゃいでいる。端から見ると微笑ましい風景に写っただろうか、

どうだろうか？

次は、本部の海洋博公園近くのオリオンホテルへ移動する。ドデカイホテルである。レストランからは公園が眼下に見え、遠くに伊江島タッチューが望める素晴らしい景色だ。夏には家族で来るゾと誰かがひとり言。

お腹を満たしたところで、次に、うるま市の石川へ移動する。実はHさんのメイン企画はここなのであった。1959年6月30日石川市に嘉手納基地から飛び立った戦闘機が上空でトラブルって墜落し、民家をなぎ倒し100mくらい離れた宮森小学校の校舎に激突し爆発、炎上、授業中の子供達が犠牲となった。18名の生命と未来が一瞬にして奪われた。200人余が重症を負った。想像を絶する大惨事だった。その頃、コザ高校に在籍していたSさんは、その日、校長からの校内放送を聞いた。「石川出身の生徒達は直ぐに帰宅しなさい」と繰り返された。翌日になって事故を知ったという。こんな理不尽なことがあっていいものなのか。宮森小学校の中庭に入ると慰霊碑の前に立つ。武者小路実篤さんが寄贈された「仲よし地蔵」で國場幸太郎さんが寄贈した台座

北谷町美浜アメリカンビレッジの観覧車



の上で子供達の霊を慰め平和を祈っている。Hさんの発声で全員が並んで祈りを捧げた。「ここに来て手を合わせたいという思いがやっと叶ったよ」とポツリ。側の校舎の壁に千羽鶴がかかっている。その辺りを笑い声を振りまき、走り回っているのが印象的であった。

しかし、日本の米軍基地の70%が集中する沖縄。嘉手納や普天間基地は動かない。世界一危険な普天間基地周辺の数万人の生命と財産を危険にさらしてはならない。だから辺野古移設だと言う。辺野古の周りにも数千人の人々が住んでいる。その人達を危険にさらしていいのか。人の生命は数で比べるという計算式は無いと思う。一つの生命でも尊く大事にされなければならない。難しい国際情勢も安全保障も絡んで複雑である。ただただ事故が起きぬ事を祈るばかりである。

さて、気分を変えて、Sさんが予約してくれた与那原町東浜のお店に移動する。今年一年、大過なく過ごしたことに喜びと感謝をし、来る年も佳い事があり健康であるように、乾杯をする。

「<sup>サカジチ</sup>盃カミヤビラ<sup>※3</sup>、カレー<sup>※4</sup>」

橋の下



仲よし地蔵

- ※1 なんともいえない深い味わい
- ※2 おしゃべり
- ※3 頭の上に恭しくかかげる
- ※4 嘉例。めでたいこと。めでたい先例。



## 誌上ギャラリー（裏表紙）について

### 平成27年誌上ギャラリー大賞

第279号（平成27年11・12月号）掲載 笠原 大吾氏の撮影写真「ナビィおばあの家」

### 平成27年誌上ギャラリー優秀賞

第276号（平成27年5・6月号）掲載 成川 玲子氏の撮影写真「フラミンゴの大群」

おめでとうございます！これからも会員の皆様からの多くの作品をお待ちしております！！

## 編 集 後 記

プロ野球キャンプがはじまり、私のまわりも賑わってきた。縁あって取材クルーと関わっており、彼らの仕事ぶりに感心しているところだ。最近、「プロフェッショナルとは何か」と考えることが多くなった。先月、女子プロゴルファーの沖縄合宿のアテンドをした際に「プロ根性」なるものに接した。今回も取材クルーと接しながらそのプロフェッショナルを目の当たりにしている。プロは難しいことを簡単にやってしまう。常に前を見ている。自信にあふれている。が、謙虚だ。私も「薬のプロ・薬剤師」として、日々精進したいものだ。（クララ）

私は熱発するのは年に1回くらいだが、まさかその1回が大晦日にきてしまった。普段なら勤務してる薬局近くの病院で診てもらうのだが大晦日なので閉まっている。開いているのは大病院の救急外来くらいだ。家のお薬箱に何か薬あったっけと思いついて箱の中を探すが、あるのは何故か大量の絆創膏…。熱は39℃ある。喉も痛い。どうしよう…。そうだ！、OTCだ！近所のドラッグストアに行ったら大晦日でも営業してた。症状を説明し選んでくれた薬を飲んだら1月2日には復活した。ありがとうOTC！と心から思った年末年始でした。（みつなり）

神村前会長の退任慰労会の宴も多くの関係者の参加で執り行われた。県薬剤師会を振り返る氏の講演の資料は、後輩への最高の置き土産（誰にも残せない）だった。さて、前会長といえば、沖縄県薬剤師会館。随所に前会長の思いがみられる。日本でも初の会館内の薬師様、沖縄県女性画家の重鎮でもある県薬会員の絵画、ほか美術に造詣の深い会員の作品が展示されている。会員で作上げた会館は、他府県の薬剤師を案内するときに、大変誇らしい。でも、前会長のこだわりはこれだけではない。入口の琉球石灰岩の外壁の形、お気づきでしょうか？六角形のベンゼン環。そう、前会長と同窓ならお気づきのはず。我が母校の誇るベンゼン池のオマージュ？そのベンゼン池、校舎改築のため消滅していましたが、年度末の訪ねた我が母校では、場所を移し、美しい化粧を施され（？）復活。学内の同窓生からは無骨なベンゼン池が懐かしいとのこえが聞かれた。学生時代にはベンゼン環に泣かされた私。ベンゼン環(化学)を知る薬剤師による服薬指導が現場では求められている今、ベンゼン環に泣かされる日々は続く…（TOMO）

先日、関東より友人がやってきました。関東と沖縄の薬局事情について意見を交わす、というのは建前で初めての沖縄を堪能するのが主な目的と本人。暖かな沖縄で、リラックスしたいなあ、などと話していましたが、いざ沖縄に着いてみると、40年ぶりの寒波の直撃を受け、雪(?)のちらつく天候。私も、以前より、冬でも暖かな沖縄をアピールしていただけない、シャツだけの格好の彼には申し訳なさでいっぱいでした。去り際、沖縄は初めてなので、いつもこんな天気！と言われればこんなもの、と思うことにする、と本人。…タイミング、悪すぎです(;\_;)。（松）

「決断」というとちょっと大げさではあるが、人生の中での大きな決断はさておいて、日々の生活、日々の業務の中で決断の場面が多々ある。例えば多数の処方薬が羅列された想定外の広域病院等からの処方箋応需は、零細薬局にとってはリスクを受け入れる覚悟と決断が必要となる。「小分け」か「新しく仕入れる」か「郵送」か「配達」となるのでその労力は2倍・3倍に跳ね上がるが、日々悩みながら決断している。先日県菓の方々と福岡へ日帰り出張があったが、当日は大寒波の襲来で、九州各地は雪のため交通混乱を起こしているという情報が飛び交っていた。予定の時刻をだいぶ過ぎて搭乗案内がアナウンスされたが「当機は状況によっては熊本空港ないしは伊丹空港に降りる可能性があります」とのこと。決断は早かった。一人が「行くのは止めましょう」と言うと言葉を待っていたかのように即意見が一致。引き返すことになった。前に進む決断は得意ではあるが、後退する決断は苦手としているので、リスク管理の面から素早く後退する決断が練習出来て大変良かった。(ピアノ)

広報委員の私には、特権がある。会員の皆様よりも会報誌の原稿を早く読めること、だ。中でも楽しみなのがリレー随筆。今号のリレー随筆はハイジア薬局の廣川先生が「旅行って素敵!!」の後編を掲載されているが、前号も原稿が届いた時点で、会議をそっちのけで読みたい程に胸が躍った。活動範囲の狭い私だが、こうやって、まだお会いしたことのない先生方も、随筆を通して勝手に身近に感じている。今年も様々な先生の原稿、お待ちしております。(いさ吉)

年末年始の暴飲暴食によるツケが溜まってきており、そろそろ体調&体形をリセットせねばと考えている今日この頃・・・1月末にスーツ着用での出張があり、久々ということもあって出発の2日前に試着してみたら・・・な、なんていうことでしょう！ムッチムチのパツパツで上下ともボタンがギリギリで届かないではないか～。腹部をドローイン（引っ込める）させればどうにかボタンは留められるが、ずっとドローインしたままなんて不可能であり、なにより不自然である。慌てて『洋服の青山』まで走らねばと思ったが、いや待てよ・・・ここでスーツを新調してしまえば、現状に甘えて体形が戻らないではないか！考え抜いた末、スーツは現行のまま。苦渋の決断でズボンのボタンは留めずにベルトで上から隠して誤魔化した。いつ「ビリッ」と破れる音が聞こえるのかとヒヤヒヤしながらの出張であった。痩せるにはやっぱり『ライザップ』！？いやいや！その前にまずは、暴飲暴食を控えてからの『自己管理』が先ですわな～(ごり)

何と☆論文☆ができました(砂川智子他、沖縄県病院薬剤師会所属施設における糖尿病教室活動の実態調査。くすりと糖尿病 4(2): 197-203, 2016)。病院薬剤師会の糖尿病分科会のメンバー皆で力を合わせ、企画から調査結果の集計、論文発表に至る全てを行いました。糖尿病領域は、他の領域に比べ学会発表や論文発表を行いやすいと考えています。保険薬局の先生方も私たちと一緒に勉強し、連携しませんか？気軽にお声掛けください。(三郎)

## 沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp  
 ■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 ■薬事情報センター TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937  
 ■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 ■試験検査センター TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932  
 ■会営薬局うえはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原241-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567  
 ■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-3415

## おきなわ薬剤師会報 第280号 平成28年2月12日発行

◇次号は、平成28年4月中旬発行予定です。

発行人：沖縄県薬剤師会 会長 亀谷浩昌

編集：広報委員会 委員長／宮城敦子 委員／亀谷浩昌・池間記世・前濱朋子・砂川智子・鈴木一徳  
 石川恵市・伊敷松太郎・伊差川サヤカ 久米島通信員／山城晶 宮古地区通信員／前里由紀子  
 八重山地区通信員／宮良善朗 事務局／大城喜仁

印刷：有限会社 Skill

## 平成27年 誌上ギャラリー大賞



「ナビィおばあの家」 photo by 笠原 大吾  
279号(平成27年11・12月号)掲載

## 平成27年 誌上ギャラリー優秀賞



「フラミンゴの大群」 photo by 成川 玲子  
276号(平成27年5・6月号)掲載